

集合住宅用セキュリティシステム デジタルペア線式マンションシステム(アギーオ)用

取付工事説明書



中央制御装置	VG-C101DA
OLCユニット	VG-C987D
3LCユニット	VG-C984DA
増設ユニット用ケース枠	VG-C988

共同玄関子機	VG-K547CD「J」、K548CD「J」
	VL-575A「J」、576A「J」
	VL-545C「J」、546C「J」

管理事務室親機	VG-E485A
変換器	VG-R300DA
カラーモニター室内親機	VG-M376D
	VG-M377D
拡張アダプター	VG-J608D
集住回線転送アダプター	VG-J609D

●機器の取付と配線工事

※プログラム設定は、別冊「プログラム表の作成と登録」を参照願います。

工事をなさる方へのお願い

1 AC電源、コンピューター、テレックス等の配線と中央制御装置からの各種接続ケーブル（管理事務室親機との配線、共同玄関子機との配線等）は30cm以上離して配線してください。

同一配管内で通線したり、近接していると、機器の動作に障害を与えます。

2 中央制御装置のシグナルグランド端子は、コンピューター、テレックス等のOA機器との同一アースを避け、専用アースとしてD種（100Ω以下）接地してください。

3 住戸番号は、室内親機側の自動登録方式で登録・変更の設定が可能です。

条件：①室内親機と制御装置間の接続配線完了のこと。

②制御装置のプログラムボードにより、プログラム番号90、11～18の設定が正しく行われていること。

③室内親機、制御装置にAC電源が供給されていること。

④制御装置のプログラムボードは、運用側であること。

（※設定側では、住戸番号の自動登録不可。

制御装置のプログラムボードによる住戸番号の登録設定は不要です。

住戸番号以外のプログラム設定は、制御装置側のプログラムボードにより設定します。）

⑤室内親機は、住戸番号の自動登録可能タイプであること。

（自動登録可能タイプでない場合、制御装置のプログラムボードで行います。）

⑥室内親機のハンドセットは、かけた状態であること。

⑦セキュリティが作動していないこと。

4 変換器にアドレス設定は不要です。

ただし、共用部機器に接続するか住戸機器に接続するかを変換器内部のSW1にて設定してください。

5 共用部機器は1系統～8系統の全ての端子に接続可能です。

ただし、1つの系統に接続した室内親機と共用部機器の合計接続台数が64台（配線条件により減ります）以下になる様に接続してください。（共用部機器の台数分だけ、室内親機の接続台数を減らしてください。）

6 本書は、プログラム設定記録保存用としてご使用願います。

工事完了後、動作テスト確認、仕様の変更（プログラム変更登録）、経歴、各種検査、定期点検、増改築工事等の際に必要な為、保管願います。

7 OLCユニットの実装状態に合わせてプログラム番号90を速やかに設定してください。

設定内容と実装状態が異なる場合、制御装置が定期的リセットされ設定ができない場合があります。また、システムは停止状態となります。

8 テレビカメラ付共同玄関（アナログ映像）を用いる場合は…

詳細は「13. アナログ映像線路の配線（専用に1Pが必要）」を参照願います。

テレビカメラ付共同玄関と室内親機のモニターテレビユニット（VL-847TVAC、VL-V848X）間の配線には、アナログ映像路用に別配線で1Pが必要です（通話路映像信号重畳方式は不可）。

※カラーカメラ付共同玄関子機（デジタル映像）を用いる場合は映像路用別配線は不要です。

目 次

1	工事作業安全上のご注意	5~11
2	工事完了後のお願い	12
3	点検・サービス時のお願い	12
4	機器構成とシステム図	13~16
5	システム系統図および配線系統図	17
6	24V電源への接続台数について	18
7	配線距離と使用する線材について	19~24
8	配線工事上の注意	25~27
9	配線の圧着接続子について	28
1.	中央制御装置 VG-C101DA	29~33
1.	中央制御装置の取付方法	29~31
2.	各種ユニットの配置について	32
3.	端子配置および雑音防止コアの取付方法	33
2.	OLCユニット VG-C987D	34~35
1.	概要	34
2.	OLCユニットの外観	34
3.	OLCユニットの取付方法	35
3.	3LCユニット VG-C984DA	36~37
1.	概要	36
2.	3LCユニットの外観	36
3.	3LCユニットの取付方法	37
4.	増設ユニット用ケース枠 VG-C988〔別売〕	38
1.	概要	38
2.	増設ユニット用ケース枠の取付方法	38
5.	共同玄関子機 VL-575A, VL-576A, VL-545C, VL-546C, VG-K547CD, VG-K548CD	39~50
1.	共同玄関子機の種類（全部で24種類あります）	39
2.	概要	39
3.	取付工事説明書について	40
4.	共同玄関子機の取付方法	41~44
5.	共同玄関子機の接続方法	45~46
6.	カメラ切替器の接続方法	47~48
7.	電気錠制御部の接続方法	49
8.	共同玄関子機機器番号等の設定	50

6.	管理事務室親機 VG-E485A	51～72
	1. 管理事務室親機の取付方法	51～53
	2. 管理事務室親機の接続方法	54
	3. モニターテレビユニットの接続	55～56
	4. 警報出力端子の接続・増設警報音停止、警報消去スイッチの接続	57
	5. ハンドセットの取り付け方法	58
	6. 管理事務室親機の設定方法	59～70
	7. エプソン製（VP-700）プリンタへの接続方法	71～72
7.	変換器 VG-R300DA	73
	1. 変換器の取付方法	73
	2. 変換器の接続方法	73
8.	カラーモニター室内親機 VG-M376D VG-M377D・拡張アダプター VG-J608D・集住回線転送アダプター VG-J609D	74～96
	1. 室内親機と周辺機器の種類	74
	2. カラーモニター室内親機の取付位置	74
	3. カラーモニター室内親機の取付方法	74～75
	4. 拡張アダプター、集住回線転送アダプターの取付方法	75
	5. カラーモニター室内親機と周辺機器・各種センサー等の接続方法	76～85
	6. カラーモニター室内親機の工事設定について	86～96
9.	その他の室内親機	97～98
10.	集住映像伝送アダプター VG-R900D	99
11.	IP変換器 VG-C104D	100～101
12.	工事後の点検およびサービスについて	102～114
	1. 各端末～中央制御装置間デジタル通信線路の配線チェック方法	102
	2. 中央制御装置のメイン基板MPU部のLEDについて	103
	3. 3LCユニットおよびOLCユニットのLEDについて	103
	4. 変換器のLEDについて	104
	5. 室内親機点検方法	105～106
	6. 点検不具合時のチェックポイント	107～109
	7. 異常表示内容と主な対応処置箇所	110～112
	8. 中央制御装置のメモリーバックアップ用電池の交換方法	113
	9. 絶縁抵抗試験（500Vメガテスト）／耐電圧試験（AC1kV）について	113
	10. 共同玄関子機について	113
	11. 管理事務室親機のメモリーバックアップについて	114

13.	アナログ映像線路の配線（専用に1Pが必要）	115～127
	1. 概要	115～116
	2. 系統図	116～119
	3. 配線図	120～122
	4. シールド付ツイストペアケーブルの接続方法	123
	5. 取付方法	124～127

各種アダプターの接続

データ入出力アダプター（VL-M887） 宅配ロッカーアダプター（VL-M889） 通報機アダプター（VL-4852XB）	}	他、各種アダプターの接続についてはそれぞれ添付の取 付工事説明書を参照してください
---	---	--

1 工事作業安全上のご注意

必ずお守りください

工事作業時の事故防止と、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った工事作業をした時に生じる危害や、損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵で区分し説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

■AC100V電源接続について

電源はAC100Vを使用する。



指定以外の電圧や電源で使用すると、火災や感電の原因となります。

・電源配線工事には、電気工事士の資格が必要です。販売店に相談してください。

指定以外の端子に電源 (AC100V) を接続しない。



ショートして火災や感電の原因となります。

禁止

電源電圧 (AC100V) 直結端子の所に指定以外の電圧 (例AC200V) を接続しない。



指定以外の電圧や電源で使用すると火災や感電の原因となります。

禁止

・電源配線工事には、電気工事士の資格が必要です。販売店に相談してください。

たこ足配線はしない。



過熱してショートや火災の原因となります。

禁止

中央制御装置内部の電源ユニットに触れると感電の恐れがあります。



また、電源ユニットは、通電中非常に高熱になりますので、電源を「OFF」にした直後も注意してください。

警告

■配線工事について

電源コードの上に重い物を乗せたり傷をつけたり、無理に曲げたり引っ張ったりしない。



ショートして火災や感電の原因となります。

禁止

- ・コードが損傷した場合は、ただちに電源プラグを抜いて、販売店に相談してください。

電源（AC100V）を入れたまま配線工事をしない。



感電や故障の原因となります。

禁止

- ・電源配線工事には、電気工事士の資格が必要です。販売店に相談してください。

床上配線でふまれる恐れのある場合は、ワイヤープロテクターで保護する。



ショートし火災、故障の原因となります。

屋外配線は、雷サージ保護の保護器を使用する。



雷によって周囲破損や火災の原因となります。

アースを取付ける。D種接地（100Ω以下）
（アース端子設置規定機器）



故障や漏電のときに感電の原因となります。

アース線接続

- ・ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線に接続しないでください。（法令で禁止されています）
- ・取付けは販売店にご相談ください。

雷のときは架空配線工事をしない。



雷によって感電や火災の原因となります。

禁止

警告

■配線工事について

付属品または専用品以外を接続しない。



指定品以外の機器を使用すると火災や感電の原因となります。

禁止

誤配線やショート等がないことを確認してからAC100Vを接続してください。



感電や火災の原因となります。

チャイム線など既設の配線を利用する場合は、AC100Vが通電されていないことを確認する。



そのまま使用すると、感電、破損の原因となります。

■機器の設置について

据置設置時、指定の固定方法で据置する。



ゆるみやはずれで転倒し、事故の原因となることがあります。

壁取付時、質量に耐える指定の取付方法で取付ける。



ゆるみやはずれで落下し、事故の原因となることがあります。

高所設備（2m以上）の取付時、必ず安全装置を使用する。



落下によりけがの原因となります。

放熱のための通風孔はふさがない。



内部に熱がこもり、火災の原因となります。

禁止

- ・周囲30cm以内に物を置かないでください。

警告

■電池その他について

電池は＋と－を正しく入れる。



電池の発熱や液漏れにより、火災やけが、周囲汚損の原因となります。

指定以外の電池を使ったり違う種類の電池を使用しない。



電池の発熱や液漏れにより、火災やけが、周囲汚損の原因となります。

禁止

指定以外のヒューズは使用しない。



指定以外のヒューズを使うと火災の原因となります。

禁止

・電源配線工事には、電気工事士の資格が必要です。販売店に相談してください。

接続を行うとき以外は、本体をあけたり、分解・改造しない。



感電や火災の原因となります。

分解禁止

・内部の点検や修理などは、販売店に相談してください。

充電、ショート、分解、変形、加熱、火に入れるなどしないでください。



この電池は、リチウム、有機溶媒など可燃性物質を内蔵しており、発火、発熱、破裂の原因となります。

禁止

電池は幼児の手の届かない所に置いてください。



強制

・万一飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。

⚠ 注意

■ 機器の設置場所について

浴室などの湿気が多い場所やホコリの多いところに置かない。



火災や感電の原因となります。

禁止

直射日光、暖房設備、ボイラーなどの特に温度の上がる場所に置かない。



機器表面が変形・劣化するほか、故障の原因となります。
(室内温度:0℃～40℃以内
(非結露)にて使用してください。)

禁止

水や薬品のかかる場所に置かない。



感電や火災の原因となります。

禁止

振動・衝撃のある場所に置かない。



破損や故障の原因となります。

禁止

不安定な場所に置かない。



バランスがくずれて倒れ、事故の原因となります。

禁止

硫化水素、リン、アンモニア、硫酸、炭素、酸、塵埃、有害ガス等の発生する場所に置かない。



機構および接点部に悪影響を与えるほか故障の原因となります。

禁止

磁石などの磁気を帯びたものの近くに置かない。



雑音の発生や故障の原因となります。また、映像のある機器では、画像のみだれなどの原因となります。

禁止

高周波マシン、電気溶接機など電磁波発生源のある場所に置かない。



電磁波の輻射ノイズにより、故障や誤動作の原因となります。

禁止

⚠ 注意

■ 機器の設置場所について

ラジオ、ラジオ放送（短波放送含む）アンテナ、テレビ、コンピュータ、OA機器、電子レンジ、エアコンなどから2m以上離す。
（CB等の電波影響がないことを確認してください）



機器からの輻射ノイズにより悪影響をあたえる原因となります。

中央制御装置の周囲30cm四方には、物を置かないでください。



周囲30cm以内に物を置くと放熱効果が妨げられ、火災や故障の原因になります。

禁止

中央制御装置の平置は絶対にしない。



禁止

中央制御装置は壁掛け（2方向指定）を前提として設計されています。著しく寿命が低下し、故障の原因となります。

セキュリティ機器の検知器は、もれたガスが外気で薄められる場所に置かない。



禁止

正常に発報できない原因となります。

・給気口などの近くに設置しないでください。

■ 配線工事について

土中埋設配線する場合は、土中での接続はしない。



禁止

絶縁劣化により、感電や故障の原因となります。

土中埋設配線する場合は、保護管を使用する。



絶縁劣化により、感電や故障の原因となります。

■ セキュリティ機器について

セキュリティ機器の検知器は、燃焼器の真上、または、シンナー・殺虫剤・排気などが直接あたる場所に置かない。



禁止

誤報や故障の原因となります。

セキュリティ機器の検知器は、もれたガスが流通しにくい場所に置かない。



禁止

正常に発報できない原因となります。

・厨房設備や家具などの影にならない場所に設置してください。

お願い

●配線工事及び機器取付工事には下記の資格が必要です。

- (1) 電気配線工事…「電気工事士」
- (2) 自火報工事……「消防設備士」甲種4類

●電気設備技術基準189条による施工を行う。

- ・使用する埋込みボックスに、堅牢な隔壁を設ける。
- ・金属ボックスを使用する場合はD種接地を行う。
- ・線材は600V以上の絶縁電線を使用する。

●電源について:電源コードは必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続する。

- (1) 電源コンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）に容易に手が届くこと。
- (2) 接点距離が3.0mm以上有する分電盤のブレーカーに接続する。

ブレーカーは保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。

2 工事完了後のお願い

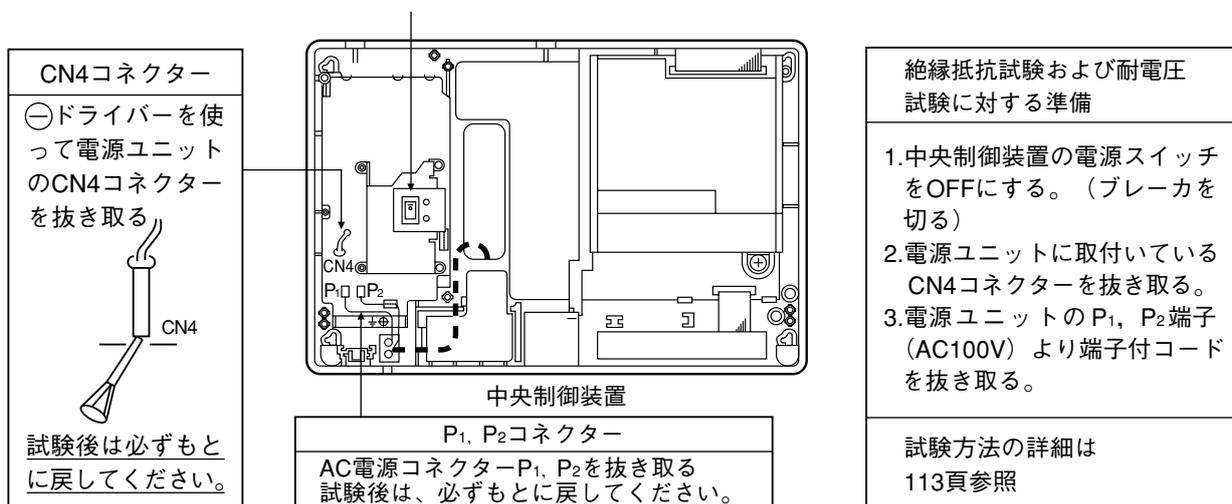
必ずお守りください

1. 誤配線やショート等がないことを確認してからAC電源を接続してください。
2. 取扱説明書にもとづいて、動作確認をしてください。
3. 「プログラム表の作成と登録」を参照し、必ずイニシャルセット（初期設定動作）を実施し、その後必要とする新規プログラム設定を行ってください。
4. 工事が完了したら、必ず次の内容をお客様へ説明してください。
 - ・中央制御装置に装備している停電用電池は7年に1回交換する必要があります。
（ただし中央制御装置の電源SWを頻繁に入・切するような使い方や長時間電源SWを切のままにするような使い方をした場合は、1年以内に寿命となることがあります。）
 - ・停電時の取扱い方（取扱説明書を参照）
 - ・移設などで中央制御装置を移動する場合は、勝手に移動させないこと。
 - ・その他、取扱いの禁止事項や注意事項の徹底。
 - ・万一トラブルが発生した場合の連絡先。
5. 制御装置の周囲は他の物で塞がないでください。
また天井の中等見えない所には絶対に取り付けないでください。
(保守点検、プログラム変更、また放熱の注意上)

3 点検・サービス時のお願い

必ずお守りください

1. 中央制御装置の各ユニットの取付け/取外しは、必ずAC電源スイッチを「OFF」にして約10秒以上経過後に行ってください。中央制御装置内部の電源ユニットに触れると感電の恐れがあります。また、電源ユニットは通電中非常に高熱になりますので「OFF」にした直後も十分気をつけてください。
2. 各ユニット内の電子部品（IC、マイコン等）や導電部には直接手を触れないでください。点検・サービス時は、静電破壊防止のため静電バンドを手首に装着し、リード線を中央制御装置のアース端子に接続してください。（静電破壊により故障や故障しかりといった現象が発生します）
3. 電力会社で絶縁抵抗試験（500Vメガテスト）及び耐電圧試験（AC1kV）を行う時は、中央制御装置の電源ユニットに接続されている落雷対策用のZNRのもれ電流により不良と見誤ることがあります。電源ユニットに取付けられているCN4コネクタを抜いてください。その後、AC電源コネクタP₁、P₂も抜き試験を開始してください。（電源スイッチはOFF状態）



4 機器構成とシステム図

機器構成

	品名	品番	台数	備考				
共用部	中央制御装置	VG-C101DA	1台	2系統128端末用を初実装(注1)(注2)				
	3LCユニット	VG-C984DA	1台	3系統192端末(合計320端末)(注1)				
		(最大2台まで実装)	2台	6系統384端末(合計512端末)(注1)				
	OLCユニット	VG-C987D	1台	集中制御装置への接続時、または系統間のフル交換時に必要				
	増設ユニット用ケース枠	VG-C988	1台	3LC/OLCユニット合計3台実装時に必要				
	管理事務室親機 *1	VG-E485A	合計		(注3)			
	外線アダプター *1	VG-J603A	8台					
	標準共同玄関子機 *1	VL-575AN, 575AY	合計 8台		N:管理事務室呼出表示なし Y:管理事務室呼出表示あり -A:ゴールド調 -S:シルバー調 (注3)			
	逆マスターキー取付用共同玄関子機 *1	VL-576AN, 576AY						
	テレビカメラ付共同玄関子機 *1	VL-545CN, 545CY						
	逆マスターキー取付用 テレビカメラ付共同玄関子機 *1	VL-546CN, 546CY						
	カラーカメラ付共同玄関子機	VG-K547CDN, K547CDY						
	逆マスターキー取付用 カラーカメラ付共同玄関子機	VG-K548CDN, K548CDY						
	データ入出力アダプター *1	VL-M887				8台	合計 8台	RS-232Cまたは、 RS-422Aインターフェース
	宅配ロッカーアダプター *1	VL-M889				8台		
	通報機アダプター *1	VL-4852XB	8台					
	集住映像伝送アダプター	VG-R900D	8台	連動可能カメラ/モニター台数はそれぞれ最大8台				
	集住映像受信カード	VG-R901D		集住映像伝送アダプター1台につき1台				
	自動通報機	VJ-602B	1台	音声専用(株)パナセキュリティオン専用(データ通報)管理事務室親機、またはデータ入出力アダプターに接続				
	映像分配器(系統内)	VL-948	16台					
	映像分配器(系統間)	VL-948	16台					
	住戸分岐器	VL-949, 950	64台	パイプシャフト用・深型ボックス用				
	カメラ切替器	VL-994	4台					
	(白黒)カメラ用電源	VL-712A		(白黒)テレビカメラ付共同玄関子機1台につき1台				
	変換器	VG-R300DA	システムによる	*1の接続時に1台ずつ必要				
	IP変換器	VG-C104D	1台	2PLC(2系統分)を初実装				
		IP3LCユニット	VG-C974D	1台	3PLC(合計5系統分)			
(最大2台まで実装)			2台	6PLC(合計8系統分)				
集中制御装置	VG-C103D	1台						
住戸部	カラーモニター室内親機	VG-M376D, M377D	システムによる	設定により住戸間通話可能				
	集合住宅用室内親機 *1(注4)	VL-M367FA, VJ-M368FA等	システムによる	住戸番号の設定は、自動登録方式				
	集合住宅用室内親機 *1(注4)	VL-365C	システムによる	住戸番号の設定は、プログラムボードで行います。				
	住戸間通話ユニット	VL-M606	システムによる	住戸間通話用に専用の配線は不要				
	変換器	VG-R300DA	システムによる	*1の接続時に1台ずつ必要				
モニターユニット	VL-847TVAC, VL-V848X	システムによる						

(注1) ここで示す端末台数は、共用部機器と室内親機の合計台数です。共用部機器は1系統～8系統の全ての端子に接続可能ですが、1系統当たりの合計が最大64台以下になる様にしてください。(配線条件により接続可能台数が少なくなります)

(注2) 1系統目は必ず使用してください。

(注3) 合計消費電流計算表により合計消費電流が1960mAを越える場合は別途電源が必要です。

(注4) 接続可能室内親機詳細 (下表)

品 番		備 考
住 戸 部 機 器	露出型室内親機	
	VL-365C	自火報なしタイプ
	VL-M366FA	220号共同住宅用自火報／住戸用自火報タイプ
	VG-M369FA	220号SVタイプ
	VL-M366LX	AC24V、220号共同住宅用自火報／住戸用自火報タイプ
	VG-M376D, M377D	220号共同住宅用自火報／住戸用自火報タイプ
	埋込型室内親機	
	VL-M367FA	220号共同住宅用自火報／住戸用自火報タイプ
	VJ-M368FA	220号共同住宅用自火報／住戸用自火報タイプ、電話機接続可能
	VG-M371FA	220号SVタイプ
	VG-J372FA	220号SVタイプ、電話機接続タイプ
	VG-M373A	220号住戸用自火報タイプ
VL-M367LMA	AC24V、220号共同住宅用自火報／住戸用自火報タイプ	

※VL-365C以外の機種は、自動登録が可能です。

※VL-365Cでは、フロア別に一齐放送ができません。

※VL-365Cを用いる場合、他の室内親機は混在できません。

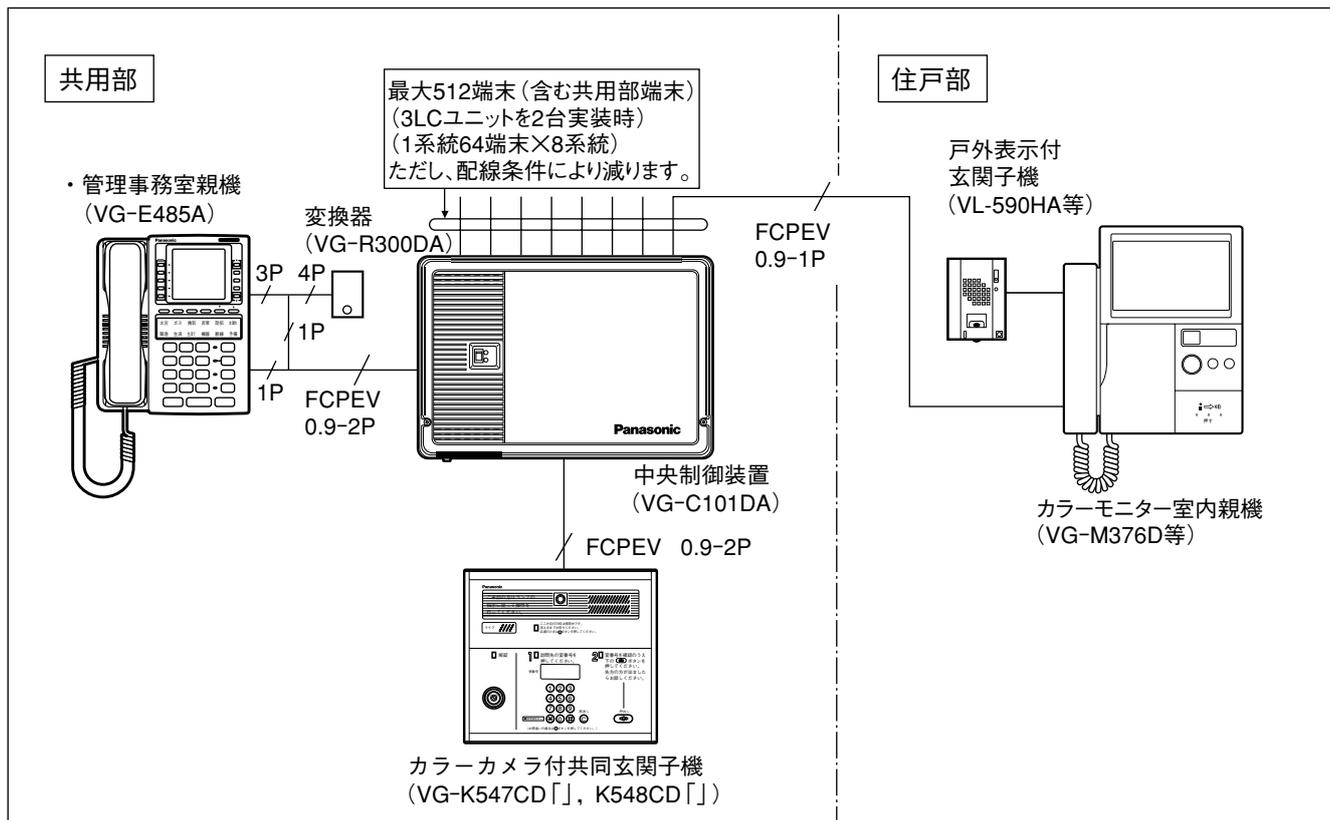
系統に接続可能な台数

品 名	品 番	中央制御装置			
		1つの系統		8系統合計	
管理事務室親機	VG-E485A	合計	最大8台	合計	最大8台
外線アダプター	VG-J603A		(注1)		(注1)
標準共同玄関子機	VL-575AN, 575AY	合計	最大8台	合計	最大8台
逆マスターキー取付用共同玄関子機	VL-576AN, 576AY				
テレビカメラ付共同玄関子機	VL-545CN, 545CY				
逆マスターキー取付用	VL-546CN, 546CY				
テレビカメラ付共同玄関子機					
カラーカメラ付共同玄関子機	VG-K547CDN, K547CDY				
逆マスターキー取付用	VG-K548CDN, K548CDY				
カラーカメラ付共同玄関子機					
データ入出力アダプター	VL-M887	8台	合計	8台	合計
宅配ロッカーアダプター	VL-M889	8台	最大	8台	最大
通報機アダプター	VL-4852XB	8台	8台	8台	8台
集住映像伝送アダプター	VG-R900D	最大8台		最大8台	
IP変換器(IPLC単位)	—	最大1台		最大8台	
室内親機	—	最大64台		最大512台	
合 計		最大64台		最大512台	
		(注2)		(注2)	

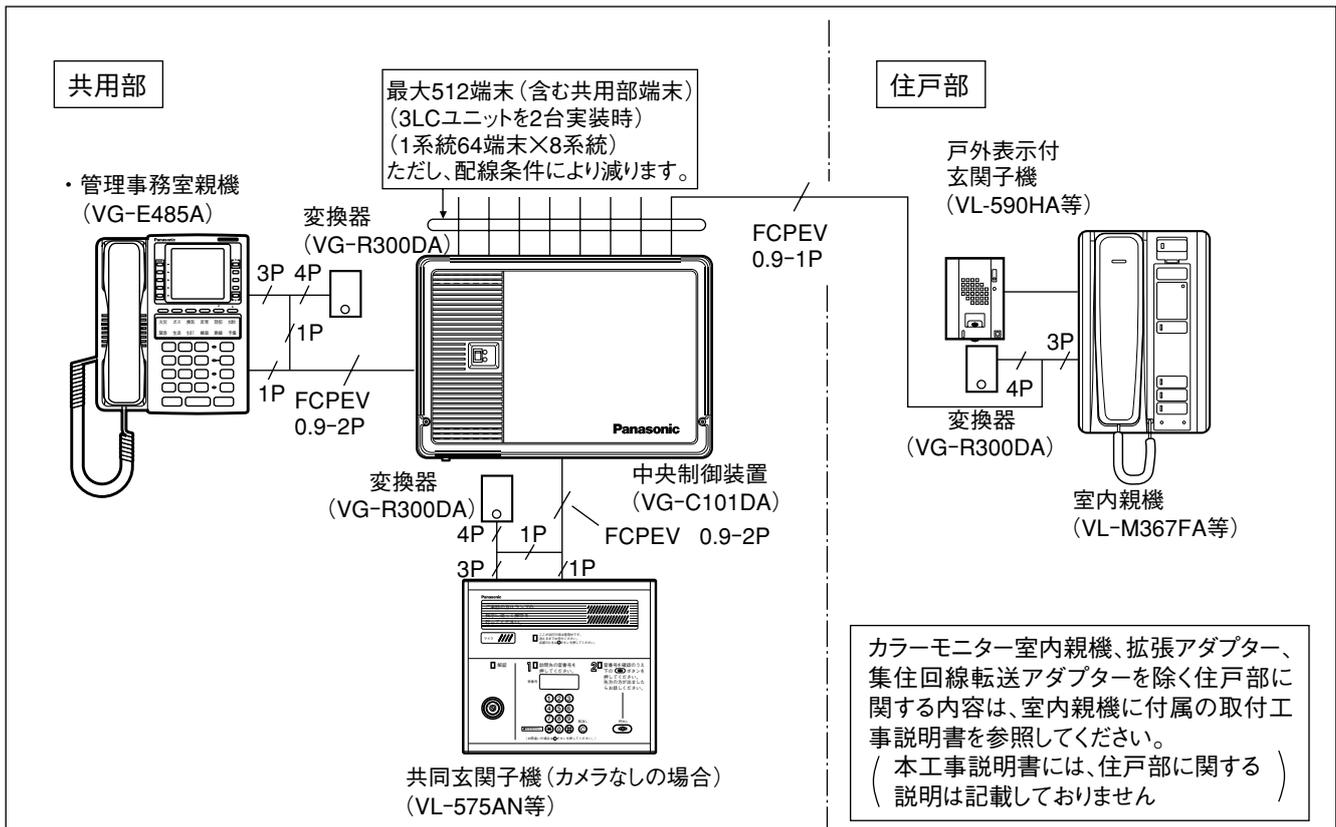
(注1) 合計消費電流計算表により合計消費電流が1960mAを越える場合は別途電源が必要です。

(注2) 1つの系統に接続可能な台数合計は、配線によって制限される場合があります。

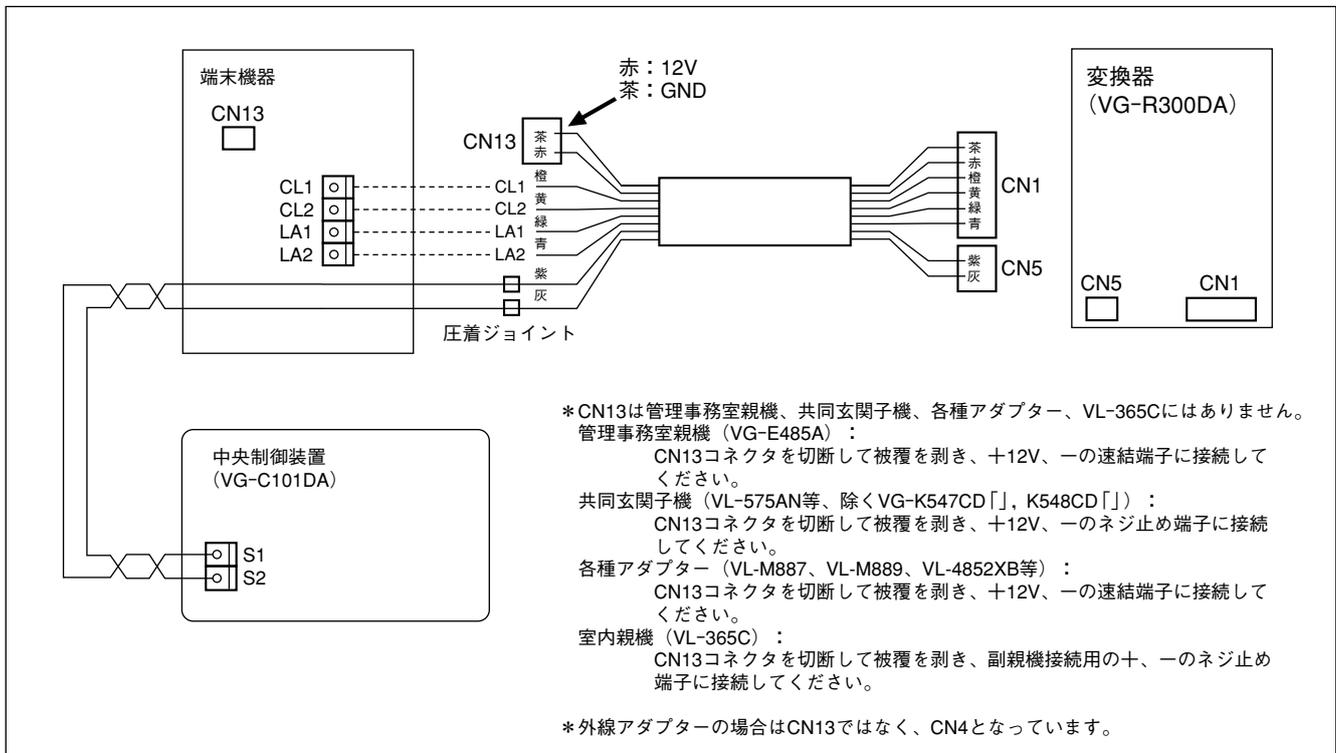
システム図 カラーカメラ付き (例)



システム図 カメラなし（例）

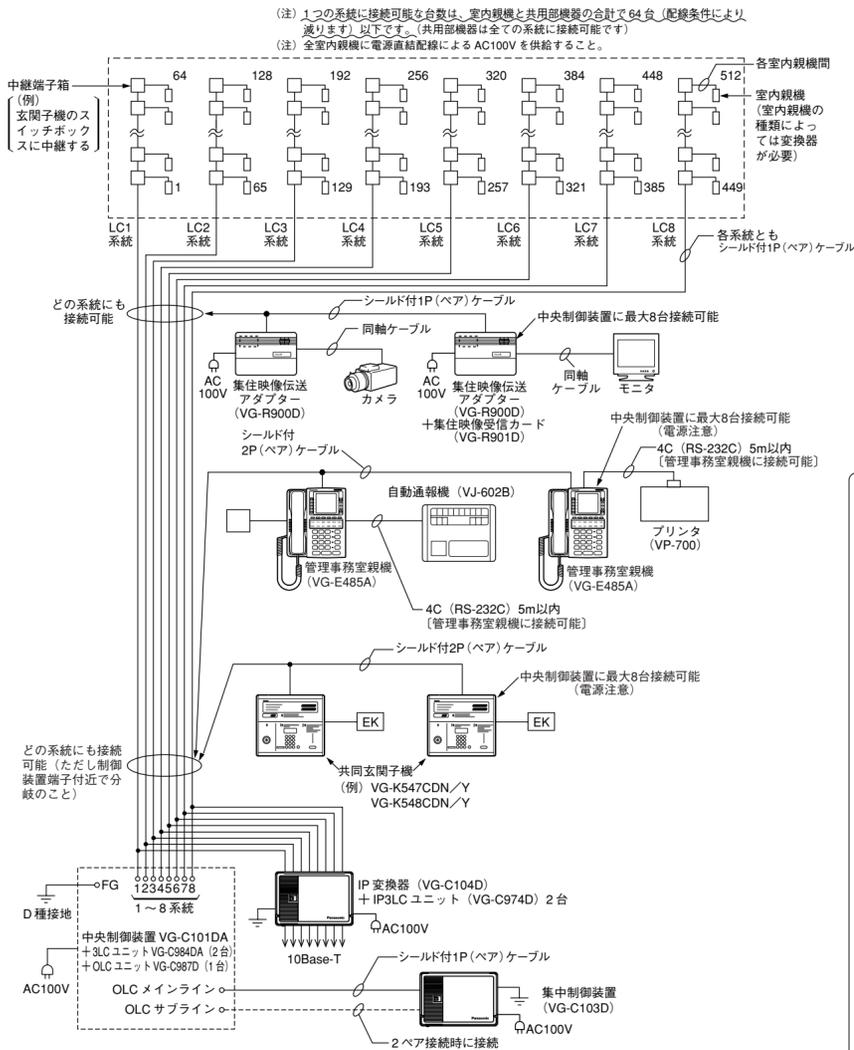


端末機器との変換器の接続図（例）

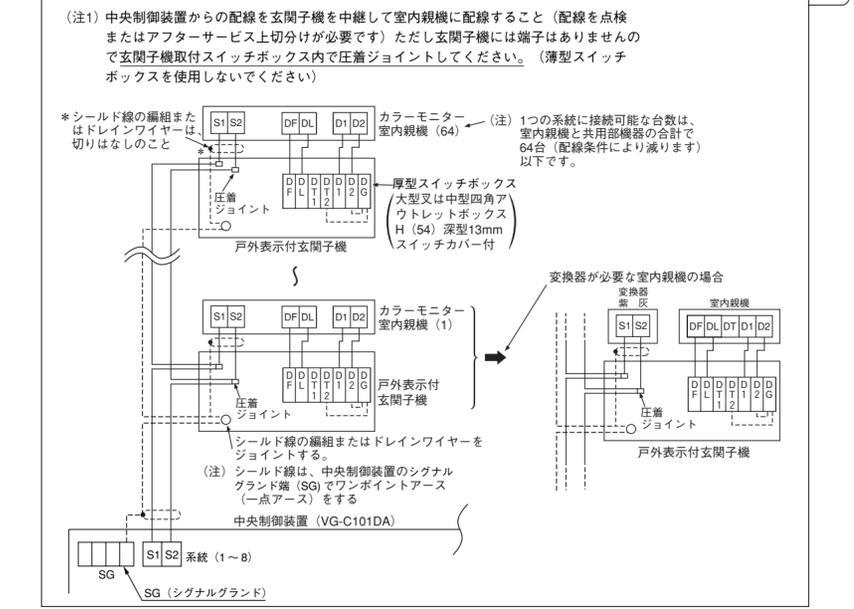


VG-C101DA

5 システム系統図および配線系統図



ご注意

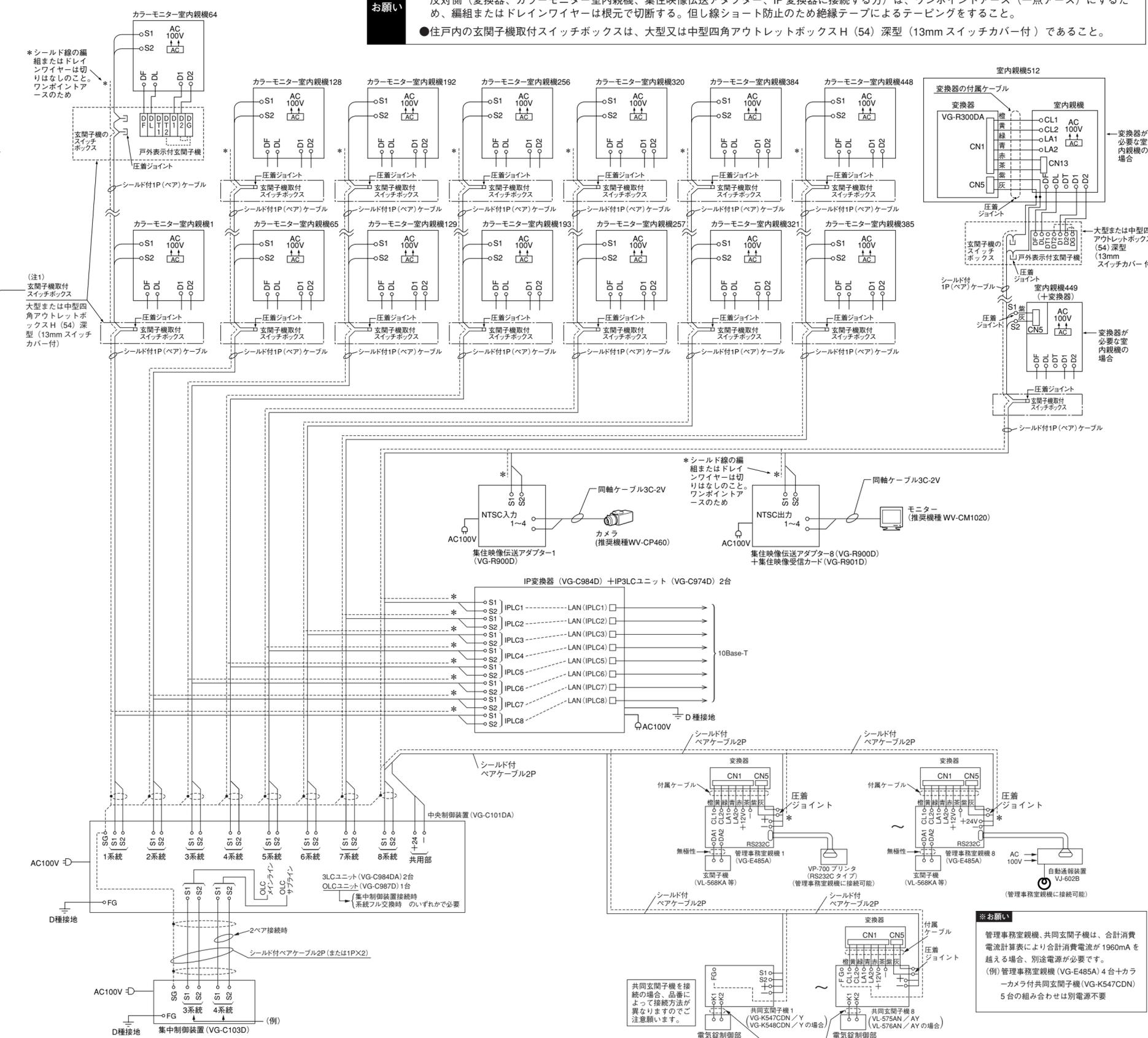


お願い
機器間でシールドペアケーブル使用箇所については接続図を参照し必ず対 (ペア) で正しく配線すること。
(誤動作または通話中ノイズが入ります。)

配線系統図

お願い

- 各シールド線の編組またはドレインワイヤーのアースの取付け方は、中央制御装置側では、該当する [SG] (シグナルグランド) 端子に接続する。反対側 (変換器、カラーモニター室内親機、集住映像伝送アダプター、IP 変換器に接続する方) は、ワンポイントアース (一点アース) にするため、編組またはドレインワイヤーは根元で切断する。但し線ショート防止のため絶縁テープによるテーピングをすること。
- 住戸内の玄関子機取付スイッチボックスは、大型又は中型四角アウトレットボックス H (54) 深型 (13mm スイッチカバー付) であること。



※お願い
管理事務室親機、共同玄関機は、合計消費電流計算表により合計消費電流が 1960mA を越える場合、別途電源が必要です。
(例) 管理事務室親機 (VG-E485A) 4 台 + カラーカメラ付共同玄関機 (VG-K547CDN) 5 台の組み合わせは別電源不要



6 24V電源への接続台数について

制御装置の+24, -に接続可能な台数は下記に示す合計消費電流計算表より算出してください。合計消費電流が1960mAを越える場合は別途電源が必要です。

合計消費電流計算表

品 名	品 番	[mA/1台]	台 数	小計 [mA]
管理事務室親機	VG-E485A	202 *		
標準共同玄関子機	VL-575AN, 575AY	172 *		
逆マスターキー取付用共同玄関子機	VL-576AN, 576AY			
テレビカメラ付共同玄関子機	VL-545CN, 545CY			
逆マスターキー取付用 テレビカメラ付共同玄関子機	VL-546CN, 546CY	230		
カラーカメラ付共同玄関子機	VG-K547CDN, K547CDY			
逆マスターキー取付用 カラーカメラ付共同玄関子機	VG-K548CDN, K548CDY			
合 計				

* 変換器との合計値です。

↑
1960mA以下

(例)

品 名	品 番	[mA/1台]	台 数	小計 [mA]
管理事務室親機	VG-E485A	202	4	808
カラーカメラ付共同玄関子機	VG-K547CDN, K547CDY	230	5	1150
合 計			9	1958

↑
1960mA以下

7 配線距離と使用する線材について

本システムでは、電源線路とアナログ映像線路とデジタル通信線路で、使用できる線材の種類と配線距離、接続台数等に違いがあります。

電源線路とは…

共同玄関子機、および管理事務室親機に供給する24V電源のための線路です。+24, -に接続されます。

アナログ映像線路とは…

テレビカメラ付共同玄関子機 (VL-545CN/CY, VL-546CN/CY) を用い、共同玄関子機の映像を、住戸や管理人室に伝送するための線路です。VI1, VI2, VO1, VO2等に接続されます。

カラーカメラ付共同玄関子機の場合は不要です。

デジタル通信線路とは…

本システムで新開発したデジタル伝送信号を、住戸や管理人室に伝送するための線路です。S1, S2等に接続されます。

(1) 用いることができるケーブル種類

・電源線路に用いるケーブル

0.9φ以上を使用可能です。(ただし速結端子は0.9φまでですので、0.9φを越える場合は速結端子に0.9φを使用し、端子引出し後に圧着してください。)

シールドなしも可能です。ただし線路抵抗により配線距離が変わります。

・アナログ映像線路に用いるケーブル

0.9φのシールド付ツイストペアケーブル以外使用できません。

・デジタル通信線路に用いるケーブル

0.65φ、0.9φのツイストペアケーブル、カッド撚ケーブル、同心撚ケーブルを用いることができます。シールドなしも可能です。ただし、

1. 配線条件によって、最大接続端末台数、許容総延長距離に制約が生じます。
2. 同一シース内は必ずとなり合った芯をペアとして用いてください。
3. アナログ映像線路を用いる場合は、デジタル通信線路も0.9φのシールド付ツイストペアケーブルを使用してください。

注意：複数種類の線路を同一シースで利用する場合は、制約条件の厳しい方のケーブルを選定してください。
新規にケーブルを敷設する場合は、特性に優れた当社指定のシールド付デジタルペア線専用ケーブル (伸興電線製:FCPEV-DP) を推奨します。

(2) 各線路の配線距離

(2-1) 電源線路の配線距離

電源線路は制御装置からの最遠端距離に制限があります。最遠端距離は合計消費電流や線路抵抗により変わりますので、下記に示す最遠端距離計算式より算出してください。

最遠端距離計算式

$$\text{最遠端距離} = \frac{7.5 \times 10^6}{a \times b} \text{ [m]}$$

a:合計消費電流（合計消費電流計算表による）

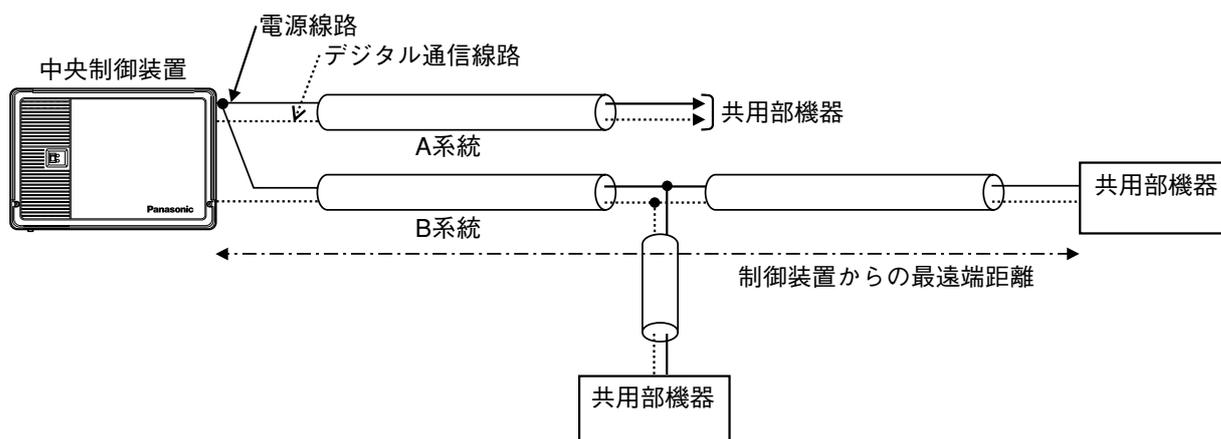
b:線路抵抗 [Ω/km]

線径	線路抵抗
0.9φ	ループ60 [Ω/km]
1.2φ	ループ34 [Ω/km]
1.6φ	ループ19 [Ω/km]

(例) a=1958 [mA]

b=60 [Ω/km] (φ0.9) の場合

$$\begin{aligned} \text{最遠端距離} &= \frac{7.5 \times 10^6}{1958 \times 60} \\ &= \underline{63 \text{ [m]}} \end{aligned}$$



(2-2) アナログ映像線路の配線距離

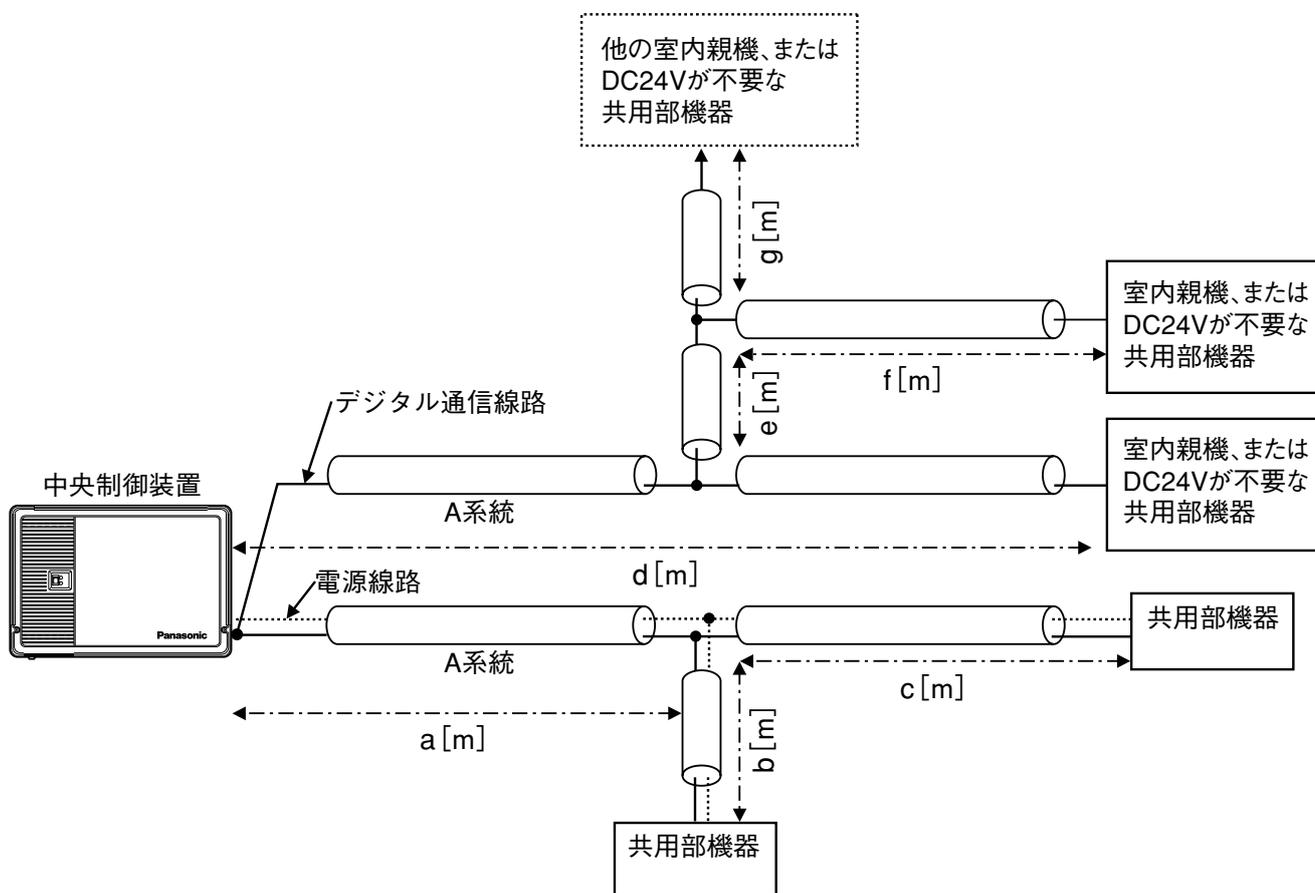
	配線距離	ループ抵抗	備考
テレビカメラ付共同玄関子機～系統間映像分配器	200m以内	12Ω以内	最遠端間の制約
系統間映像分配器～系統内映像分配器	200m以内	12Ω以内	
系統内映像分配器～モニタテレビユニット	225m以内	13Ω以内	

(2-3) デジタル通信線路の配線距離（および台数）

推奨ケーブル:伸輿電線製 FCPEV-DP

許容できる配線の総延長や最大接続端末台数は、配線条件により以下の5つのパターンに分かれます。

項目	配線距離 (1系統当たりの総延長)	接続台数 (1系統当たりの接続台数)	備考
パターン1	1km以内	64台以内	1系統当たりの総配線距離 ただし、各系統共用部機器含む
パターン2	875m以内	56台以内	
パターン3	750m以内	48台以内	
パターン4	625m以内	40台以内	
パターン5	500m以内	32台以内	



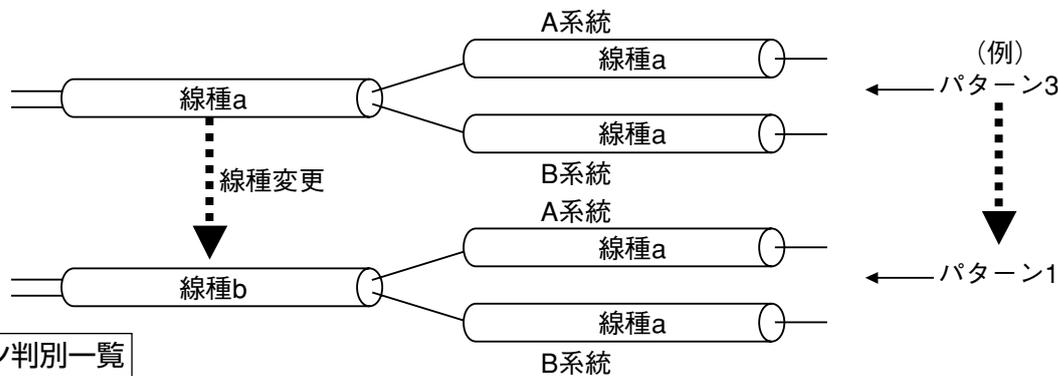
$$\text{総延長} = a + b + c + d + e + f + g \text{ [m]}$$

(分岐線長を含む全ての合計)

パターン判別配線条件（中央制御装置の場合）

※詳細は「パターン判別一覧」、および「パターン判別フロー」をご参照ください。

- 0.65φ未満、および0.9φを越える線径のケーブルは使用できません。
- アナログ映像を使用する場合はデジタル通信線路も0.9φのシールド付ツイストペアとなります。
- 複数のシステムを同一シース配線するいずれの場合でも、同一シースにしたい部分の線種は0.9φ、または0.65φのシールド付きツイストペア線のみで、同一シース内には3P（3系統）までです。
- 複数のシステムを同一シースにしたい場合、その部分の線種を変更することで同一シースにおける許容総延長および最大接続端末台数の条件を良くすることができます。（例:使用不可からパターン5へ、パターン4からパターン2へ、パターン3からパターン1へ）



パターン判別一覧

シールド有り	ツイストペア	φ	FCPEV-DP		同一シース部分 線種変更	FCPEV-DP		FCPEV	パターン		
			同一シース	別シース		φ	パターン				
シールド有り	φ0.9	FCPEV-DP	同一シース	パターン1	同一シース部分 線種変更	FCPEV-DP	φ0.9	パターン3	パターン3		
			別シース	パターン1			φ0.65			パターン4	
		FCPEV等	同一シース	パターン3		同一シース部分 線種変更	FCPEV-DP	φ0.9	パターン2		
			別シース	パターン1				φ0.65	パターン4		
	φ0.65	FCPEV等	同一シース	パターン4	同一シース部分 線種変更	FCPEV-DP	φ0.9	パターン4	パターン4		
			別シース	パターン2			φ0.65			パターン4	
		カッド撚り、 または同心撚り	φ0.9	同一シース		使用不可	同一シース部分 線種変更	FCPEV-DP	φ0.9	パターン5	パターン5
				別シース		パターン5			φ0.65		
φ0.65	カッド撚り、 または同心撚り	FCPEV等	同一シース	使用不可	同一シース部分 線種変更	FCPEV-DP	φ0.9	パターン5	パターン5		
			別シース	パターン5			φ0.65			パターン5	
シールド無し	ツイストペア	φ0.9	同一シース	使用不可	同一シース部分 線種変更	FCPEV-DP	φ0.9	パターン5	パターン5		
			別シース	パターン5			φ0.65			パターン5	
		φ0.65	FCPEV等	同一シース		使用不可	同一シース部分 線種変更	FCPEV-DP	φ0.9	パターン5	パターン5
				別シース		パターン5			φ0.65		
	カッド撚り、 または同心撚り	φ0.9	FCPEV等	同一シース	使用不可	同一シース部分 線種変更	FCPEV-DP	φ0.9	パターン5	パターン5	
				別シース	パターン5			φ0.65			パターン5
		φ0.65	FCPEV等	同一シース	使用不可		同一シース部分 線種変更	FCPEV-DP	φ0.9	パターン5	パターン5
				別シース	パターン5				φ0.65		

- 一覧において
- 別シース : 同一シース内に別系統が混在しないことを示します。
 - 同一シース : 同一シース内に複数の系統が混在することを示します。
 - 使用不可 : システムに使用できないことを示します。

・ 検証済みケーブル一覧表

メーカー名	品番	線径	種類	備考
伸興電線	FCPEV-DP	0.9φ	デジタルペア線ケーブル (シールド有)	デジタルペア線専用 設計 (推奨)
伸興電線	FCPEV	0.65, 0.9φ	市内対ケーブル (シールド有、ツイストペア)	
伸興電線	CPEV-C	0.9φ	市内対ケーブル (シールド有、ツイストペア)	旧品番:生産中止
三菱電線	FCPEV	0.65, 0.9φ	市内対ケーブル (シールド有、ツイストペア)	
フジクラ	FCPEV	0.65, 0.9φ	市内対ケーブル (シールド有、ツイストペア)	
日本電線	FCPEV	0.65φ	市内対ケーブル (シールド有、ツイストペア)	
フジクラ	KP	0.9φ	警報用ケーブル (シールド無、ツイストペア)	
昭和電線	CCP-P	0.9φ	市内ケーブル (シールド無、カッドorツイスト)	
富士電線	FA	0.9φ	FAケーブル (シールド無、同心撚り)	
フジクラ	IEV	0.65φ	インターホンケーブル (シールド無、同心撚り)	

8 配線工事上の注意

通信の品質を守るために、以下の事をお守りください。

(1) 集合住宅システム配線とAC電源等他配線との隔離

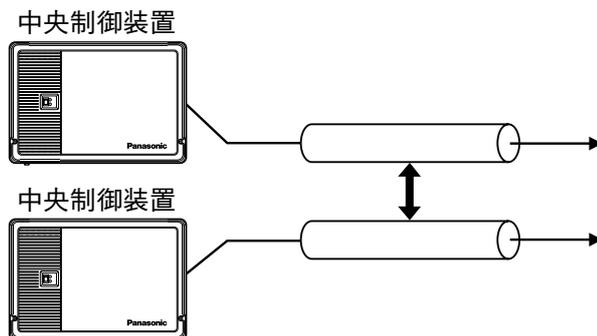
AC電源、コンピューター、テレックス等の配線と中央制御装置からの各種接続ケーブル（管理事務室親機との配線、共同玄関子機との配線等）は、30cm以上離して配線してください。

(2) 異なる中央制御装置間の配線

①線種にかかわらず同一シース不可

更にFCPEV等のシールドされた線種以外の線種をご使用の場合は②もお守りください。

②線間距離を1m以上離す。または、別配管（金属製）



(3) 同一シース（被膜）可/不可について

電源線路とアナログ映像線路とデジタル通信線路の同一シース混在、別系統のデジタル通信線路の同一シース混在には制約があります。

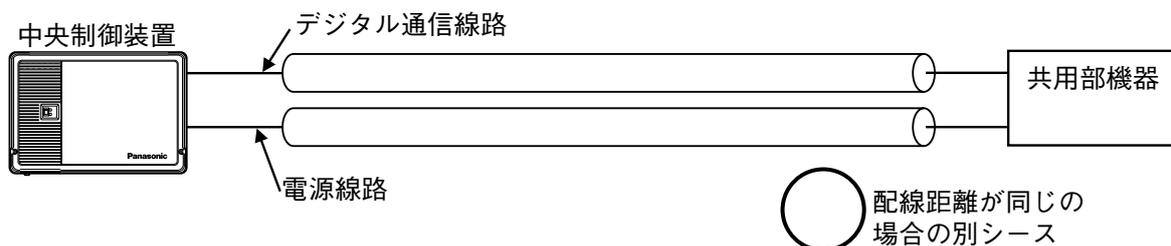
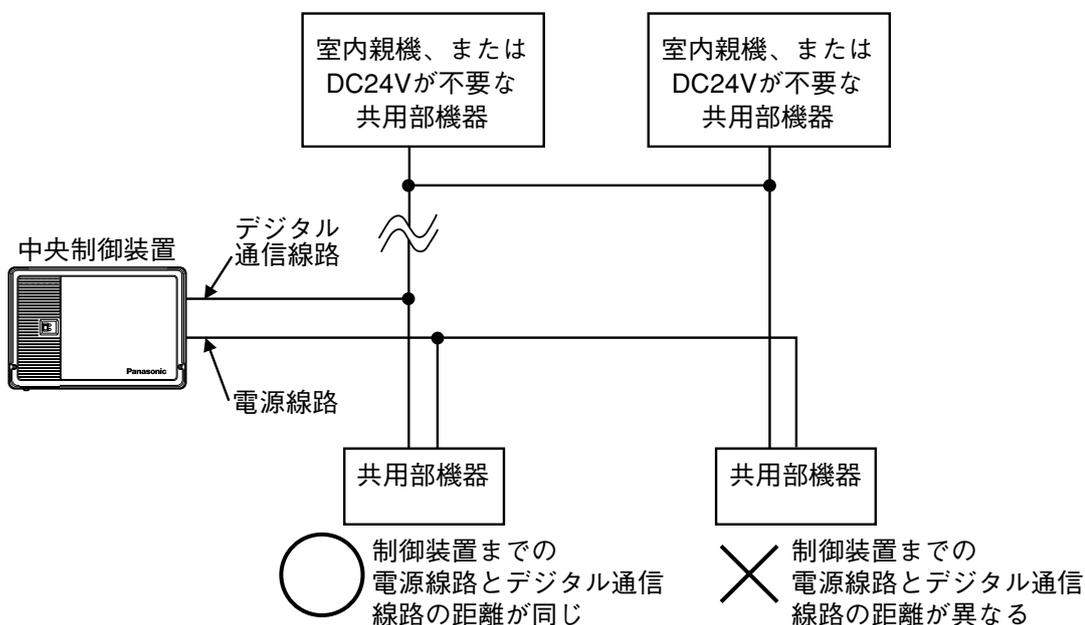
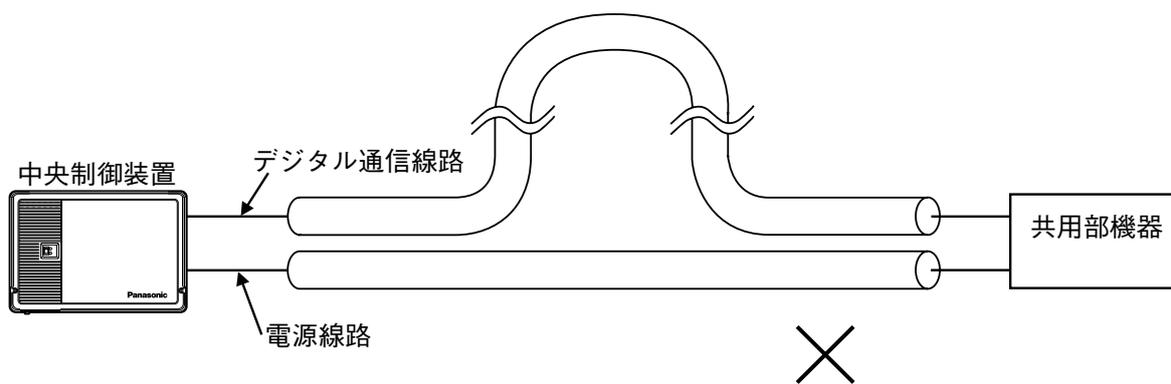
中央制御装置と共同部機器間の電源線路とデジタル通信線路について	
別シース 不可	同一シース 可
 「(5) 電源線路について」を参照してください。	
デジタル通信線路とアナログ映像通信線路について	
別シース 可	同一シース 可
中央制御装置の同一系統のデジタル通信線路について	
別シース 可	同一シース 可
中央制御装置の別系統のデジタル通信線路について	
別シース 可	同一シース 条件付可
	 22～23頁の条件を参照してください。

(4) 雑音防止コアの取付

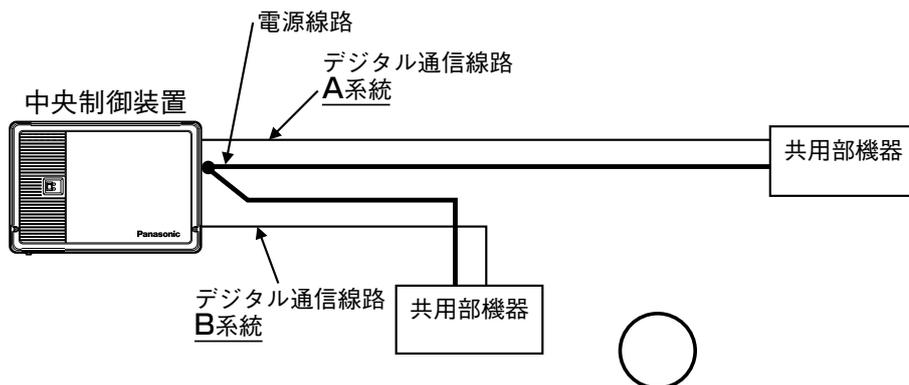
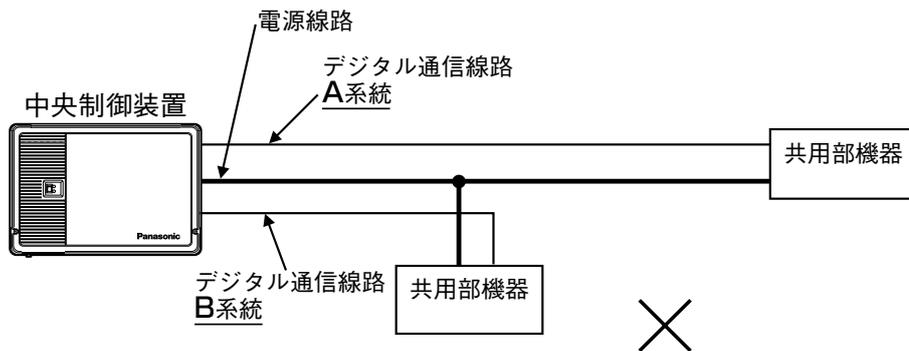
制御装置から不要な雑音を出さない為に付属の雑音防止コアを取り付けてください。（雑音防止コアの取付方法は33頁参照）

(5) 電源線路について

①電源線路とデジタル通信線路の配線距離を同じにしてください。



②異なる系統には電源線を制御装置で分岐させてください。



9 配線の圧着接続子について

通信の品質を守るために、以下の事をお守りください。

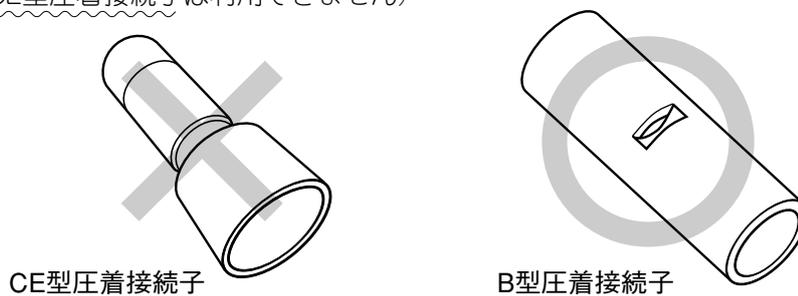
単線と撚線（変換器VG-R300DA付属ケーブルおよびボックス収納タイプ住戸分岐器VL-950）との圧着接続

単線と撚線の圧着には、適応した圧着接続子の選定が必要です。

下記のB型圧着接続子をご使用ください。

型番	適用電線範囲 (mm ²)	適用圧着工具
B1.25	0.25~1.65	YHT-2210
B2	1.04~2.63	

(注:一般的なCE型圧着接続子は利用できません)



CE型圧着接続子

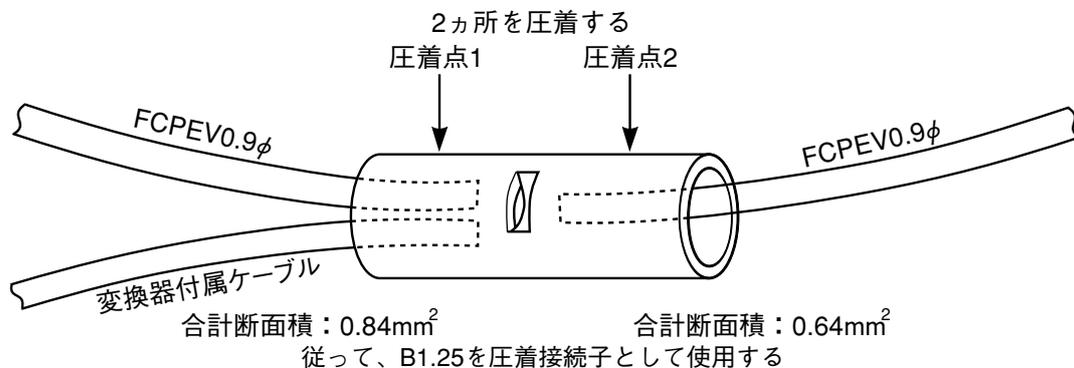
B型圧着接続子

適用電線範囲は、同時に圧着接続する線の断面積の合計です。

各ケーブルのケーブル断面積の換算表は以下に示すとおりです。

ケーブル種類	換算値
線径0.65mm (単線)	0.33mm ²
線径0.9mm (単線)	0.64mm ²
変換器付属ケーブル (撚線)	0.20mm ²
VL-950ケーブル (撚線)	0.20mm ²

圧着例:FCPEV0.9φを2本と変換器付属ケーブル1本とを圧着接続



※お互いのケーブルは、巻きつけたり、よじったりせずに挿入して圧着してください。

※FCPEV0.9φ 1本と変換器付属ケーブル1本とを接続する場合は、圧着点1側に、2本を差し込んで圧着してください。

(圧着点1側と2側、1本ずつに分けると、変換器付属ケーブルが適用電線範囲以下になります)

※絶縁のため、B型圧着接続子用の絶縁カバーか絶縁テープを用いてください。

1. 中央制御装置 VG-C101DA

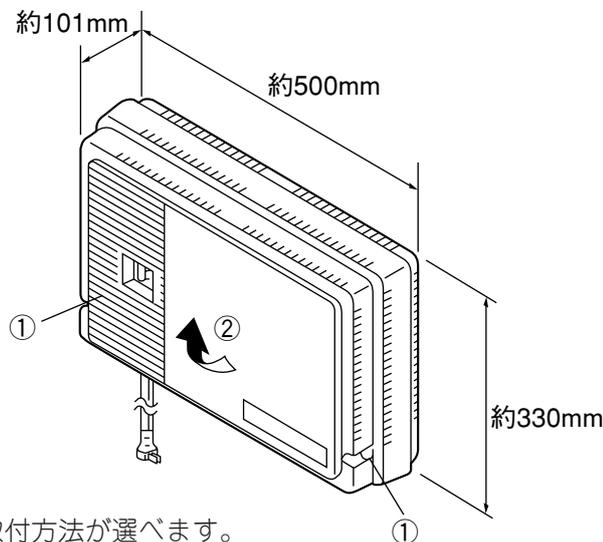
1. 中央制御装置の取付方法

- お願い**
- 中央制御装置の周囲30cm四方には、物を置かないでください。周囲30cm以内に物を置くと、放熱効果が妨げられ故障の原因になります。
 - 指定方向以外に取付けをした場合は著しく電源寿命が低下する恐れがあります。
 - 平置きは絶対に行わないでください。壁掛けまたは床置き金具を使用してください。
(床置き金具:VB-D241製品名“床置きアダプター”)

(1) 上カバーの開け方

手順

- ①ねじ2本をはずす。(抜け防止ねじを使用しています)
- ②上カバーを上を持ち上げてはずす。



(2) 壁取付方法

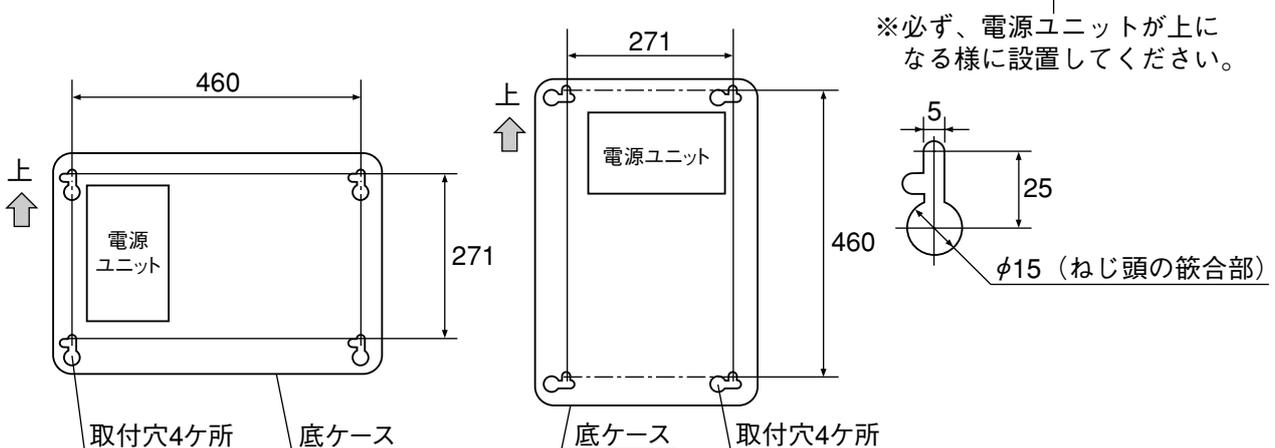
壁取付方法には、横向きと縦向きの取付方法が選べます。

- 壁取付用ねじの取付寸法 (単位mm)

お知らせ 中央制御装置包装箱に同梱の寸法型紙をご活用ください。
(型紙の収縮があるので、あらかじめ寸法を確認してください)

横向きするとき (電源ユニットは左側)

縦向きするとき (電源ユニットは上側)

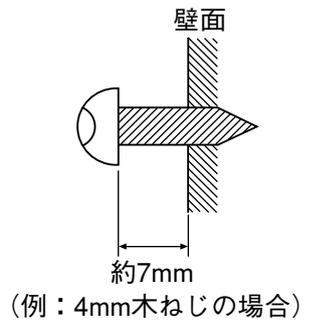


・取付ねじの固定寸法

取付ねじを壁面より約7mm（下ケースを嵌合のため）浮かして止める。

※質量に耐える取付けをしてください。

（内蔵オプションを含む質量:6kg）

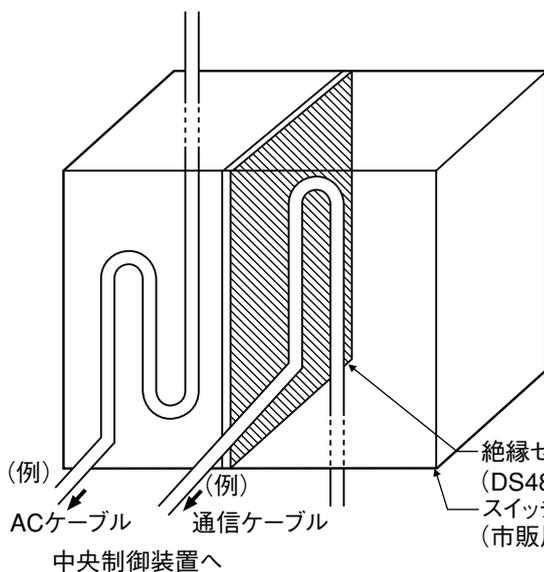
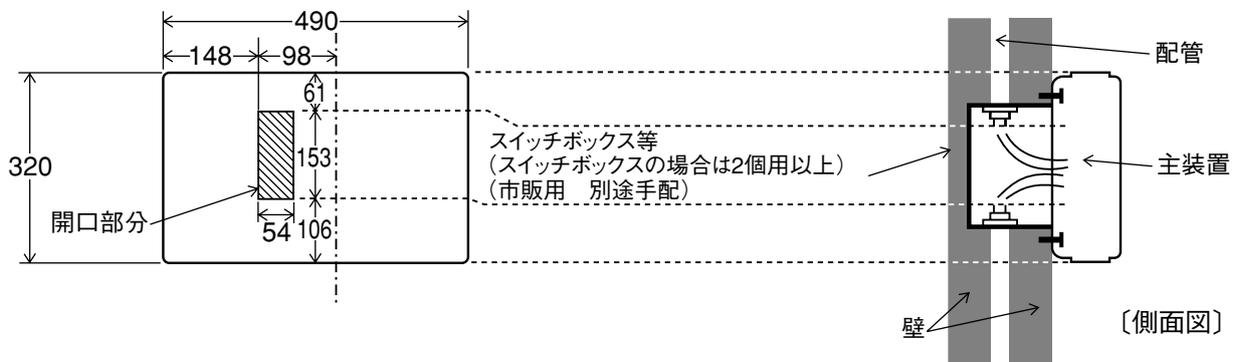


手順

- ①上カバーをはずす（上カバーの開け方を参照）。
- ②壁面に型紙を使用して指定の寸法で4ヶ所にねじ（4mm木ねじまたはボルトアンカー等）を取付ける。
- ③底ケースの取付穴（4ヶ所）にねじを差し込んだ後、底カバーを下へ引き下げる。
- ④4本の取付ねじを完全に締め付ける。



(3) 壁取付の配線引廻し方法



手順

- ①中央制御装置の開口部分より線材を入線し、2個用以上スイッチボックス内で線材の余長処理を行ってください。
- ②電源直結形にする場合は、2個用以上スイッチボックス内で強電側と弱電側を隔離するために、絶縁セパレータ（DS48600）を使用してください。

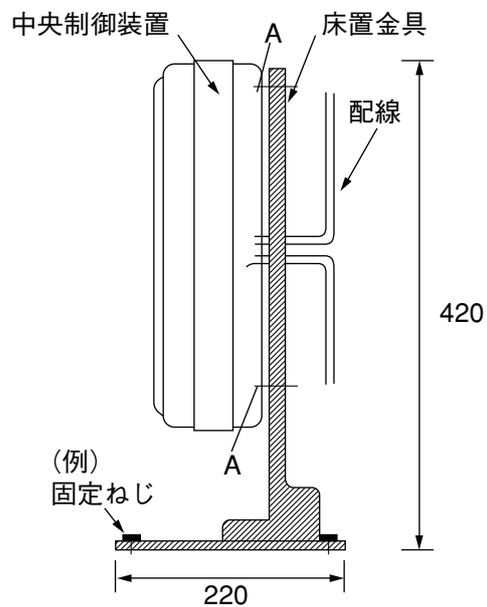
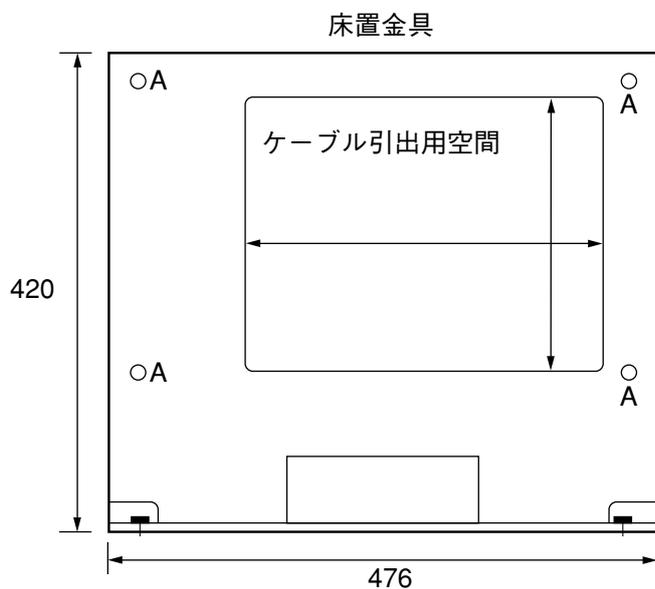
(例)

絶縁セパレータ (DS48600 松下電工(株)製：2個用スイッチボックスの場合) (市販用 別途手配)

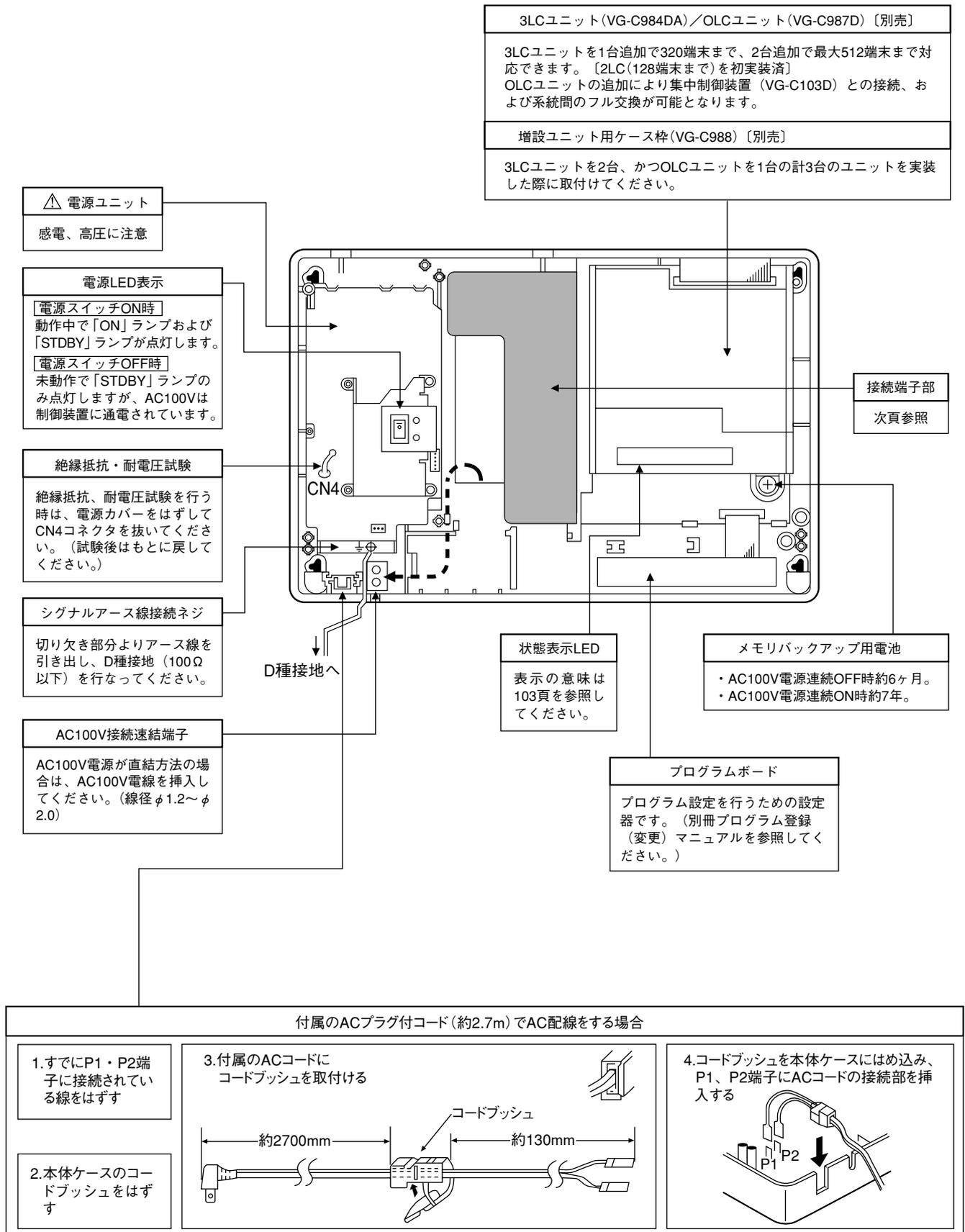
(4) 床置き取付方法

手順

- ①上カバーをはずす。
- ②別売の「床置金具 (VB-D241)」の4ヶ所 (A) にねじを取付ける。
- ③底ケースの取付穴にねじを差し込んだ後、底カバーを下へ引き下げる。
- ④4本の取付ねじを完全に締め付ける。

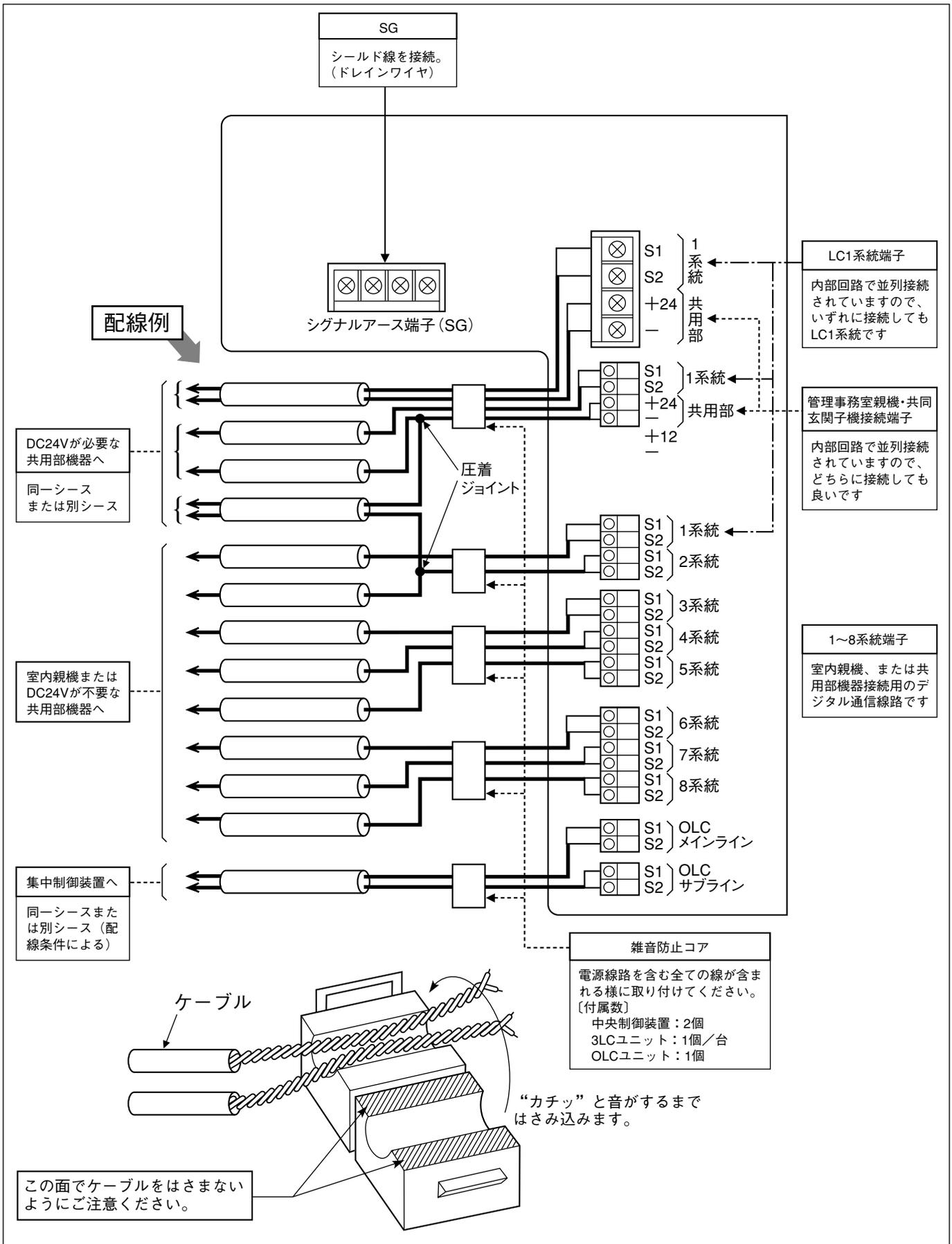


2. 各種ユニットの配置について



3. 端子配置および雑音防止コアの取付方法

前頁の  (アミカケ) 部の端子配置です。



2. OLCユニット VG-C987D

1. 概要

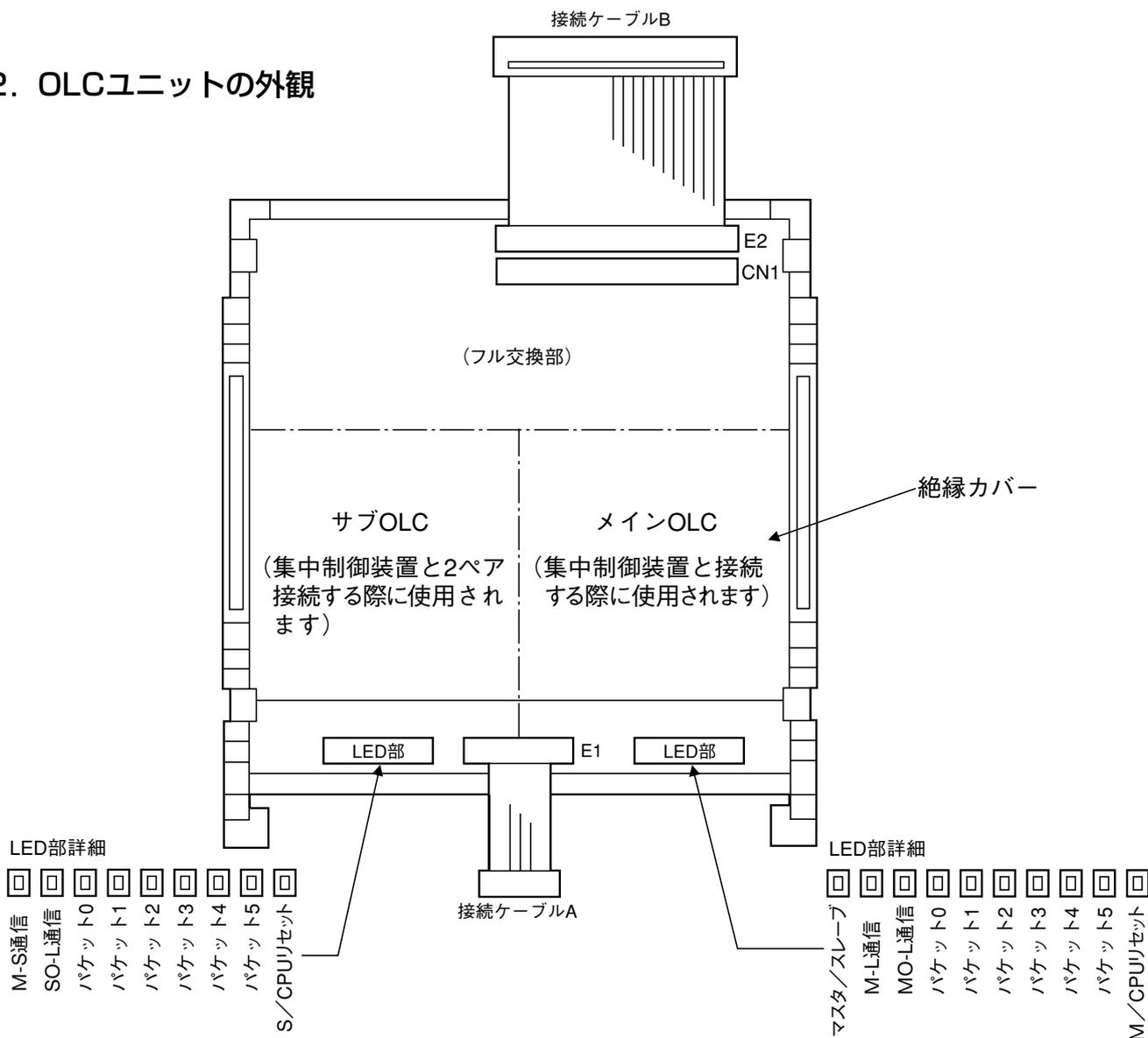
OLCユニットは集中制御装置に接続、または1～8系統のデジタルデータ（音声、映像）をフル交換するためのユニットです。

OLCユニットの取付方法に従って中央制御装置本体との接続を行ってください。

- お願い**
- ・作業時には、アースバンドをつける等、静電防止には十分な配慮をしてください。
 - ・OLCユニットの実装状態に合わせてプログラム番号90を速やかに設定してください。プログラム表を参照願います。
 - ・3LCユニットを実装する場合は、必ずOLCユニットの上に実装してください。



2. OLCユニットの外観



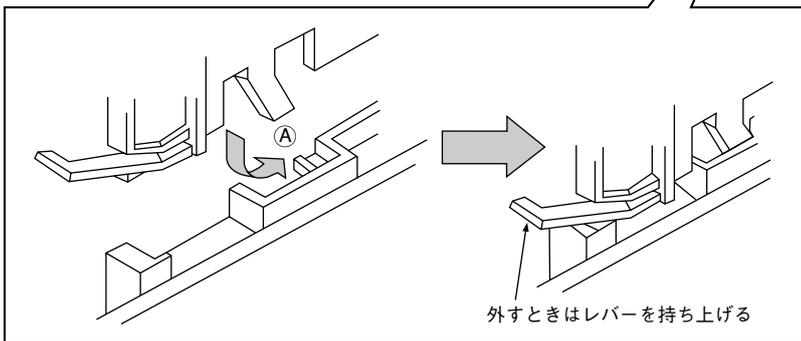
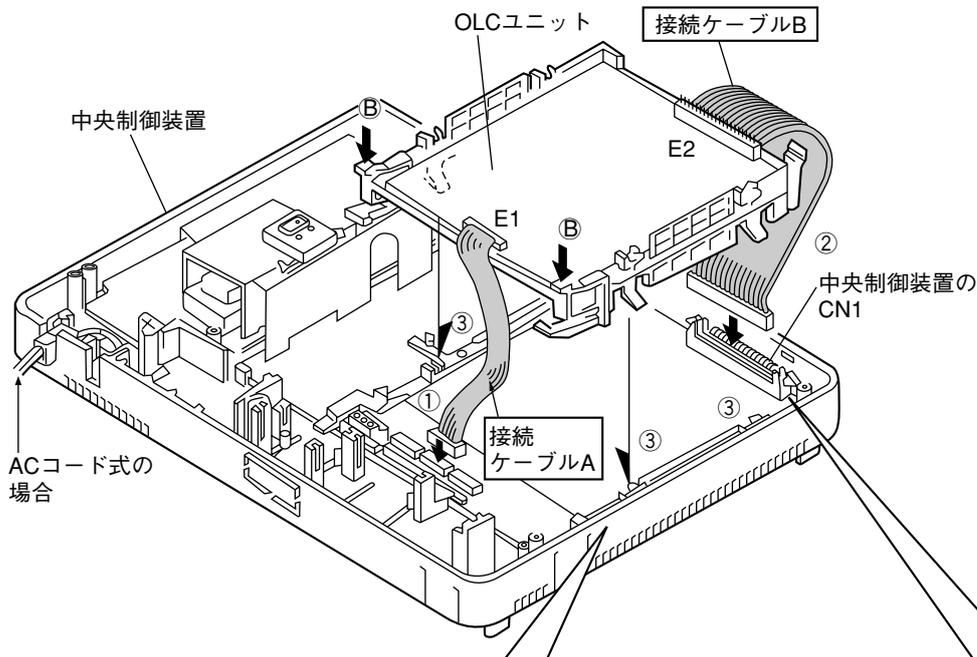
3. OLCユニットの取付方法

取付け、または取外しの際は必ず電源を切った状態で行ってください。

※取付ける前に、OLCユニットによく似た保護ケースを中央制御装置からとりはずしてください。

手順

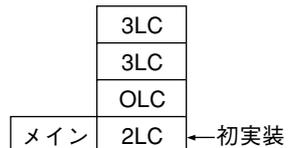
- ①OLCユニットからの **接続ケーブルA** を中央制御装置のOLC (CN104) にしっかりと強く差し込みます。
- ②OLCユニットからの **接続ケーブルB** を中央制御装置のCN1にしっかりと強く差し込みます。
- ③中央制御装置の取付溝にOLCユニットのA部を合わせ、ロックレバーにより固定されるまで(カチッと音がする) Bを押す。
- ④3LCユニットを実装するときはOLCユニットの上に3LCユニットを同様に重ねてください。この時3LCユニットの **接続ケーブルA**、**接続ケーブルB** は下表の接続先にしっかりと強く差し込んでください。最大512端末(ただし配線条件により減ります)まで対応できます。



コネクタの接続手順 [CN1 (50P)]	
(1) コネクタ受けの爪(両方)を開ける(矢印方向に)	(1)
(2) 本体部の接続コネクタを強く確実に挿入する	(2)
(3) コネクタ受けの爪(両方)を閉じる(矢印方向に)	(3)

下表

システム	①~の	②~は	接続ケーブルA	接続ケーブルB
VG-C984DA	3LCユニット (上)		中央制御装置のLC8、LC7、LC6 (CN102) へ	3LCユニット (下) のCN100へ
	3LCユニット (下)		中央制御装置のLC5、LC4、LC3 (CN101) へ	OLCユニットのCN1へ
VG-C987D		OLCユニット	中央制御装置のOLC (CN104) へ	中央制御装置のCN1へ
初実装		2LC		



〔表の見方〕
 ③3LCユニット (上) の②接続ケーブルAは中央制御装置のLC8、LC7、LC6 (CN102) へ接続します。
 ※太枠内は接続先です。

3. 3LCユニット VG-C984DA

1. 概要

3LCユニット（192端末拡張）は初実装2LC（128端末用）システムに対して、端末数を拡張するためのユニットです。3LCユニットの取付方法に従って中央制御装置、または各ユニットとの接続を行ってください。（3LCユニットは最大2台接続（384端末拡張）できます）

- お願い
- ・作業時には、アースバンドをつける等、静電防止には十分な配慮をしてください。
 - ・プログラムの設定が必要です。プログラム表を参照願います。（プログラム番号 13 ～ 18 ）

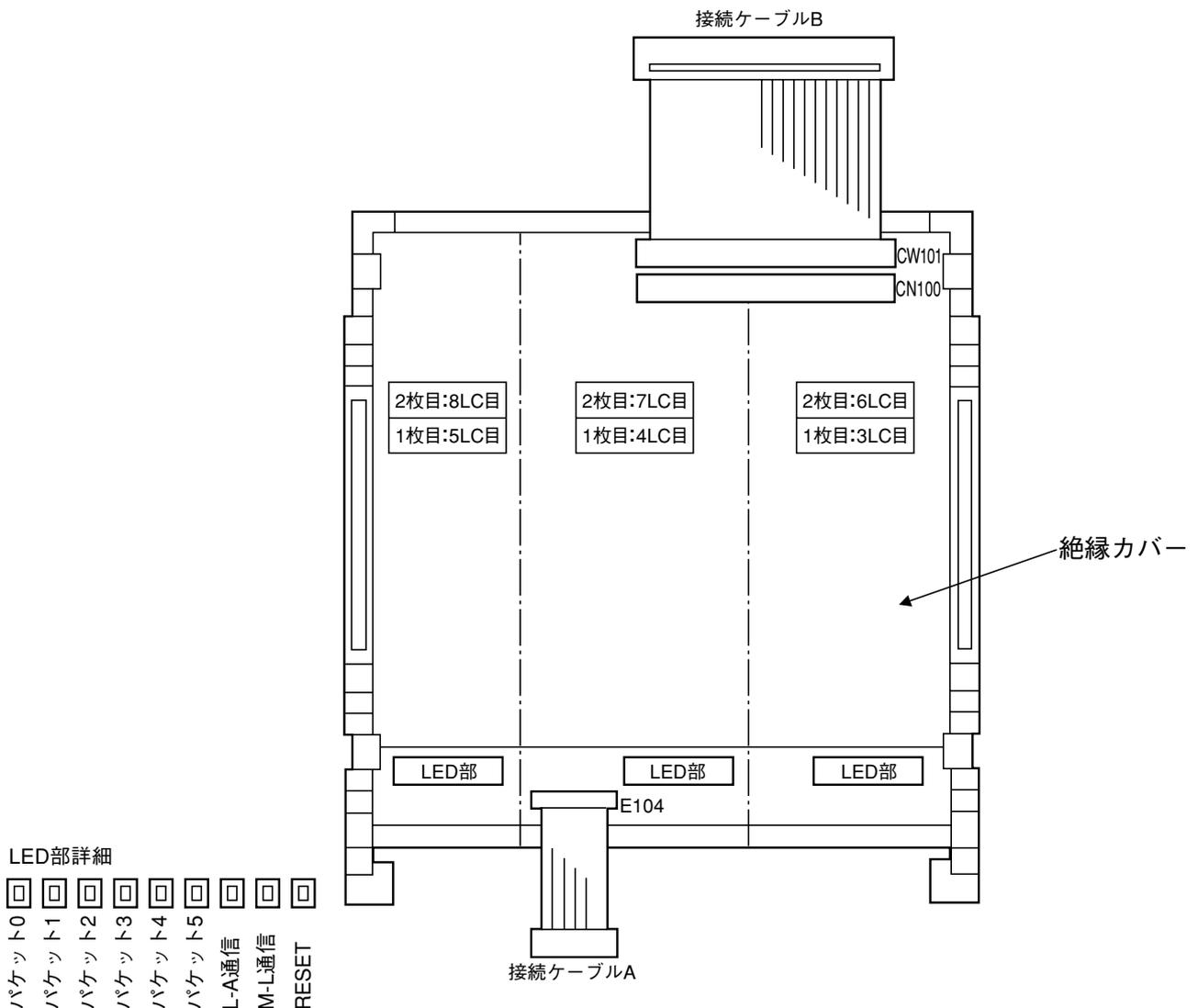


※OLCユニットを実装する場合はOLCユニットの概要を参照してください。

	オプション
128端末まで（初実装）	不要
129～320端末まで	VG-C984DA（3LCユニット）
321～512端末まで	VG-C984DA（3LCユニット）2台目

- ・ただし配線条件により接続台数は減ります。
- ・上表はOLCユニットを実装する場合も同様です。

2. 3LCユニットの外観



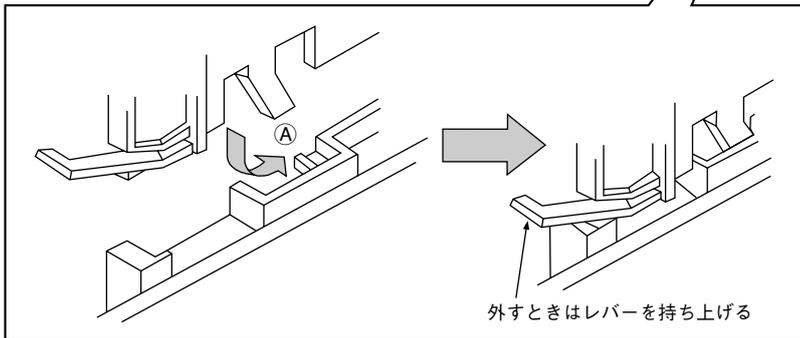
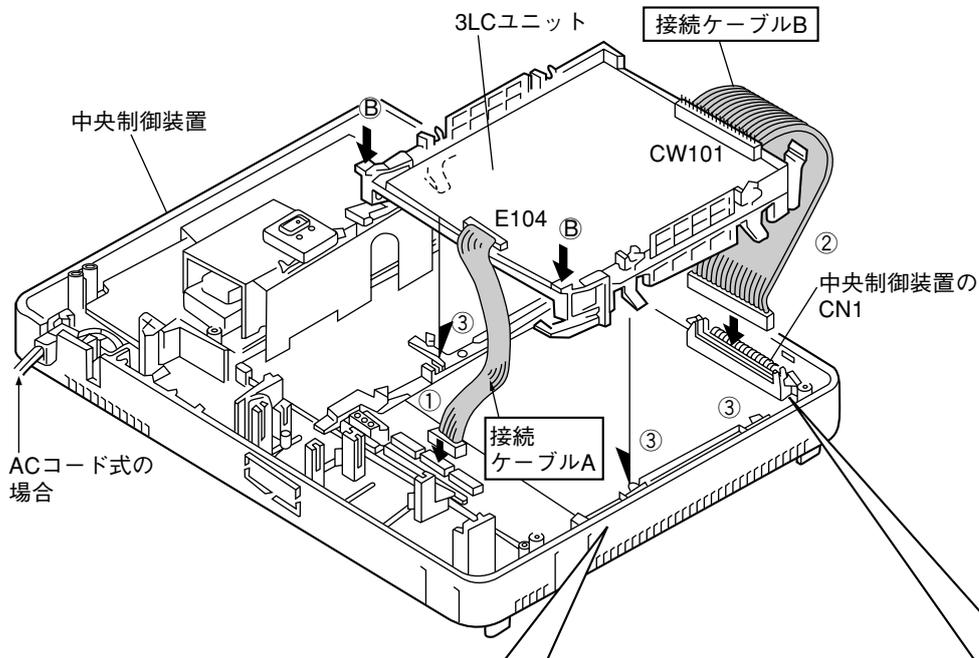
3. 3LCユニットの取付方法

取付け、または取外しの際は必ず電源を切った状態で行ってください。

※取付ける前に、3LCユニットによく似た保護ケースを中央制御装置からとりはずしてください。

手順

- ①3LCユニットからの **接続ケーブルA** を中央制御装置のLC5、LC4、LC3 (CN101) にしっかりと強く差し込みます。
- ②3LCユニットからの **接続ケーブルB** を中央制御装置のCN1にしっかりと強く差し込みます。
- ③中央制御装置の取付溝に3LCユニットのA部を合わせ、ロックレバーにより固定されるまで（カチッと音がする）Bを押す。
- ④さらに拡張するときは3LCユニットの上に3LCユニットを同様に重ねてください。この時 **接続ケーブルA** は中央制御装置のLC8、LC7、LC6 (CN102) に、**接続ケーブルB** は下の3LCユニットのCN100にしっかりと強く差し込んでください。最大512端末（ただし配線条件により減ります）まで対応できます。
- ⑤接続ケーブルA、Bについては、下表を参照してください。



コネクタの接続手順 [CN1 (50P)]	
(1) コネクタ受けの爪 (両方) を開ける (矢印方向に)	(1)
(2) 本体部の接続コネクタを強く確実に挿入する	(2)
(3) コネクタ受けの爪 (両方) を閉じる (矢印方向に)	(3)

下表 (OLCユニットも実装する場合はOLCユニットの取付方法における下表を参照してください。)

システム	a~の	b~は	接続ケーブルA	接続ケーブルB	3LC
					3LC
VG-C984DA	3LCユニット (上)		中央制御装置のLC8、LC7、LC6 (CN102) へ	3LCユニット (下) のCN100へ	← 初実装
	3LCユニット (下)		中央制御装置のLC5、LC4、LC3 (CN101) へ	中央制御装置のCN1へ	
初実装		2LC			

【表の見方】
 a) 3LCユニット (上) のb) 接続ケーブルAは中央制御装置のLC8、LC7、LC6 (CN102) へ接続します。
 ※太枠内は接続先です。

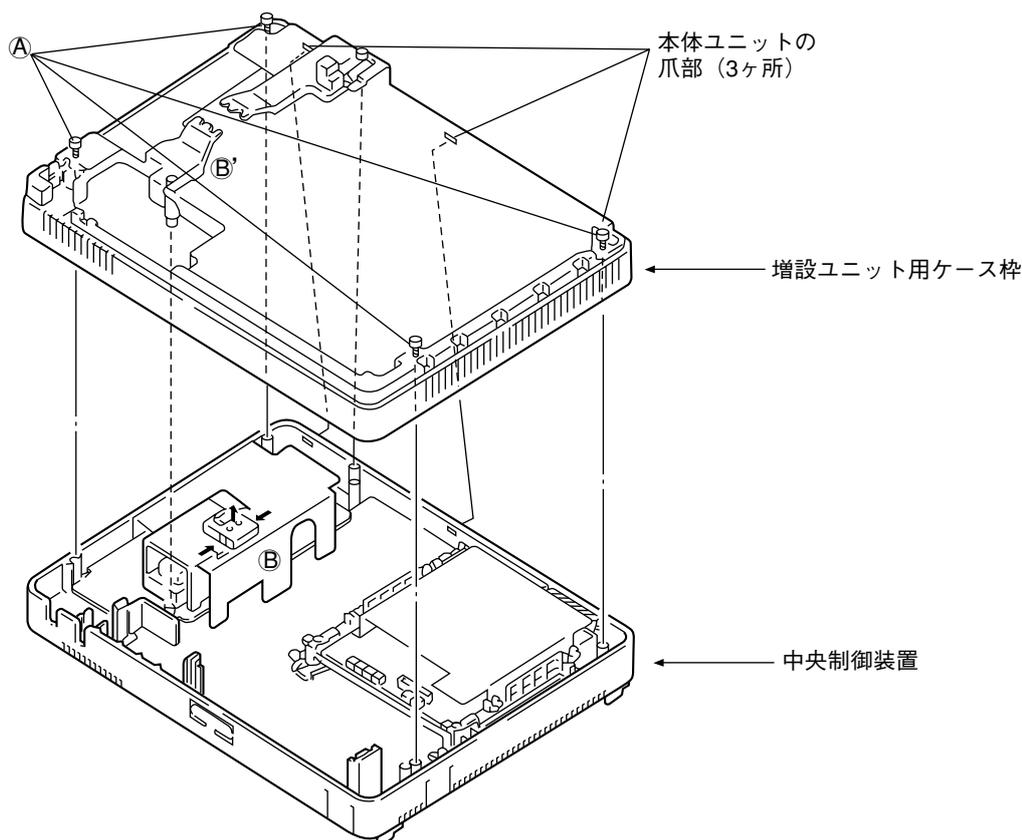
4. 増設ユニット用ケース枠 VG-C988 (別売)

1. 概要

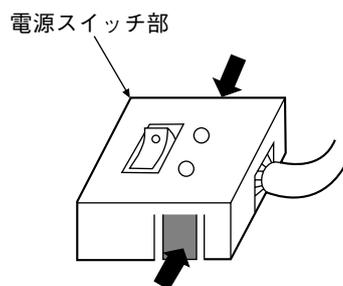
3LCユニットを2台、かつOLCユニットを1台の合計3台のユニットを実装する際に中央制御装置に取付けが必要です。

2. 増設ユニット用ケース枠の取付方法

①中央制御装置の凹部 (3ヶ所) に増設ユニット用ケース枠の爪を合わせながら取付け、ネジ6本(A)で固定する。



①電源スイッチ部を、B部から取り外し、増設ユニット用ケース枠のB'部に取り付けます。
(電源スイッチ部ははめ込み式です。)



矢印部分を押しと電源スイッチ部は、取り外せます。

5. 共同玄関子機 VL-575A, VL-576A, VL-545C, VL-546C, VG-K547CD, VG-K548CD

1. 共同玄関子機の種類（全部で24種類あります）

品名	品番	備考
標準共同玄関子機	VL-575AN VL-575AY	N:管理事務室呼出表示なし Y:管理事務室呼出表示あり {A:ゴールド調 S:シルバー調 → 品番末尾に外観色の記号が付きますが、以降本取付工事説明書では省略します。
逆マスターキー取付用 共同玄関子機	VL-576AN VL-576AY	
テレビカメラ付 共同玄関子機（※1）	VL-545CN VL-545CY	
逆マスターキー取付用 テレビカメラ付共同玄関子機（※1）	VL-546CN VL-546CY	
カラーカメラ付共同玄関子機 （※2）	VG-K547CDN VG-K547CDY	
逆マスターキー取付用 カラーカメラ付共同玄関子機（※2）	VG-K548CDN VG-K548CDY	

※1 アナログ映像による伝送

※2 デジタル映像による伝送（デジタルペア線式マンションシステム専用）

2. 概要

①各住戸の呼出しは、テンキーボタン（3ケタまたは4ケタ）を押すと呼出せます。管理事務室は⊗ボタンを押すだけで呼出しが可能（管理事務室呼出機能付きの共同玄関子機のみ）です。

②共同玄関の電気錠はテンキーボタンの暗証番号操作で解錠可能。

③出入業者用に共同玄関電気錠解錠の暗証番号の設定可能。（ただし、設定時間帯のみ有効）
※中央制御装置での設定が必要です。

④防雨構造（JIS-C0920-1982）

⑤テレビカメラ付／カラーカメラ付共同玄関子機（逆マスター取付用を含む）接続時、訪問者が住戸を呼出すと、住戸のモニターテレビで訪問者の姿を確認可能。

※テレビカメラ付共同玄関子機の台数分カメラ用電源（別売:VL-712A）が必要です。

※カラーカメラ付共同玄関子機はカメラ用電源（VL-712A）は不要です。

※カラーカメラ付共同玄関子機を設置する場合、逆光を避け、被写体の照度は約100ルクスを確保してください。

3. 取付工事説明書について

下記の関連頁に従って工事を行ってください。

①標準共同玄関子機の工事	・ 取付方法……………41～42	・ 電気錠制御部の接続……………49
	・ 共同玄関子機の接続方法…45	・ 共同玄関子機の設定……………50
②逆マスターキー取付用共同玄関子機の工事	・ 取付方法……………41～42	・ 電気錠制御部の接続……………49
	・ 共同玄関子機の接続方法…45	・ 共同玄関子機の設定……………50
③テレビカメラ付共同玄関子機の工事	・ 取付方法……………41～44	・ 電気錠制御部の接続……………49
	・ 共同玄関子機の接続方法…45	・ 共同玄関子機の設定……………50
	・ カメラ切替器の接続……………47～48	・ 映像分配器、住戸分岐器……124～125
④逆マスターキー取付用テレビカメラ付共同玄関子機の工事	・ 取付方法……………41～44	・ 電気錠制御部の接続……………49
	・ 共同玄関子機の接続方法…45	・ 共同玄関子機の設定……………50
	・ カメラ切替器の接続……………47～48	・ 映像分配器、住戸分岐器……124～125
⑤カラーカメラ付共同玄関子機の工事	・ 取付方法……………41～44	・ 電気錠制御部の接続……………49
	・ 共同玄関子機の接続方法…46	・ 共同玄関子機の設定……………50
⑥逆マスターキー取付用カラーカメラ付共同玄関子機の工事	・ 取付方法……………41～44	・ 電気錠制御部の接続……………49
	・ 共同玄関子機の接続方法…46	・ 共同玄関子機の設定……………50

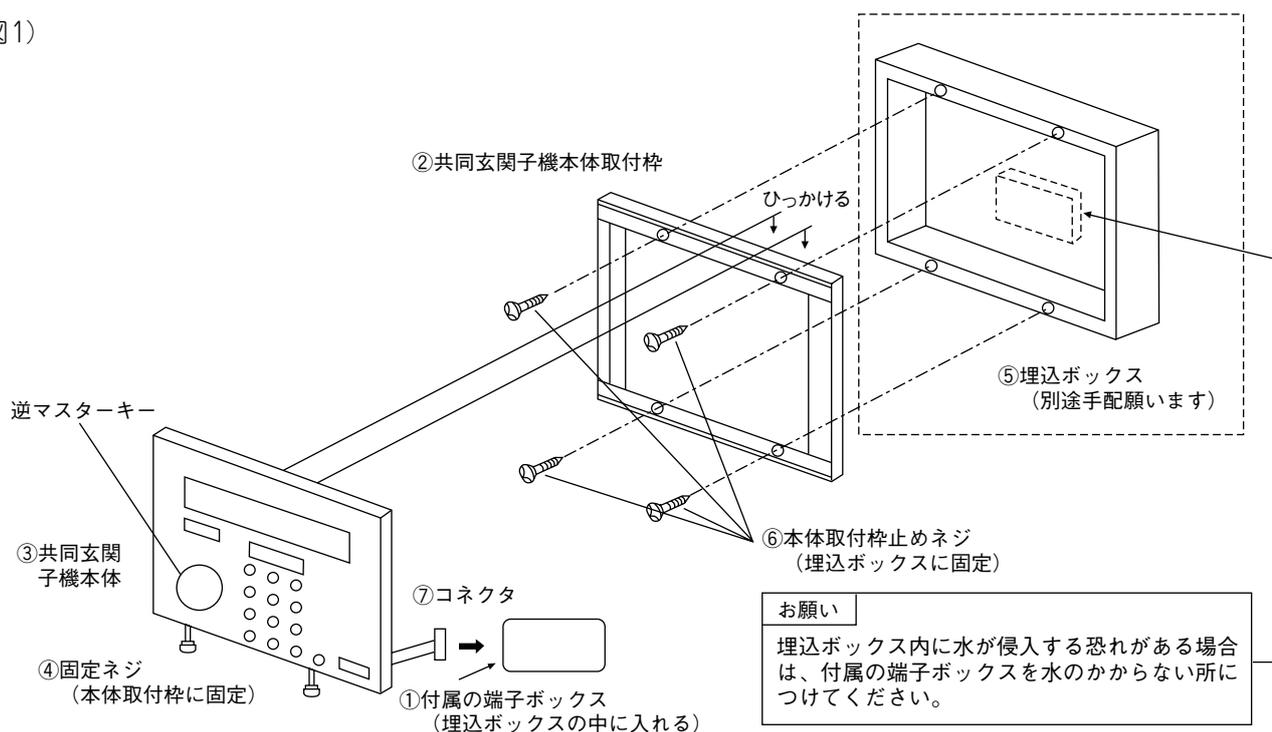
4. 共同玄関子機の取付方法

(1) 取付け順序 (全ての共同玄関子機に共通)

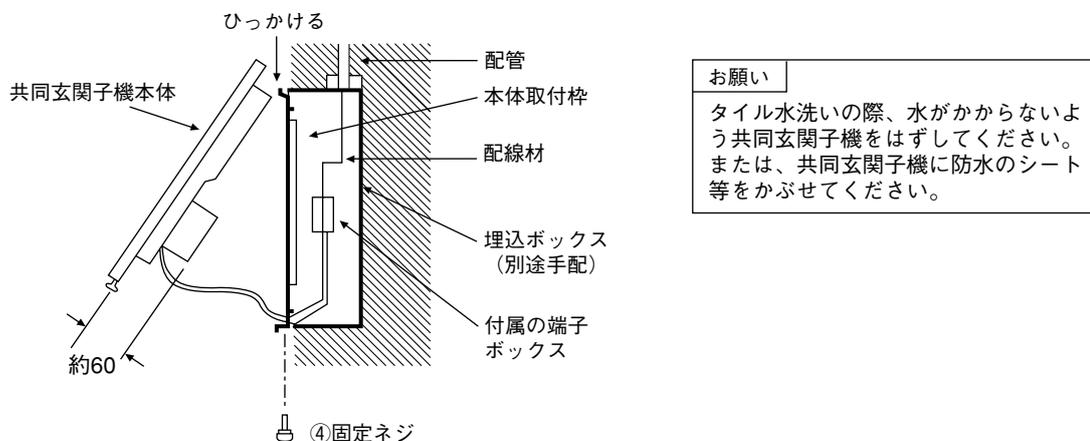
下記の (図1) と (図2) を参照願います。

- (1) 付属の端子ボックス①の上部カバーをはずし、配線材を端子ボックス下部に接続します。
- (2) 共同玄関子機本体取付枠②を共同玄関子機③本体より固定ネジ④をゆるめてはずします。(図1)
- (3) 埋込ボックス⑤に共同玄関子機本体取付枠②を付属の本体取付枠止ネジ⑥で取付けます。
- (4) 共同玄関子機③の上部を共同玄関子機本体取付枠②にひっかけます。ケーブルのコネクタ先⑦を付属の端子ボックス①下部に差し込み、上部を取付けます。共同玄関子機③本体の下部は固定ネジ④で止めます。(図2)

(図1)



(図2)



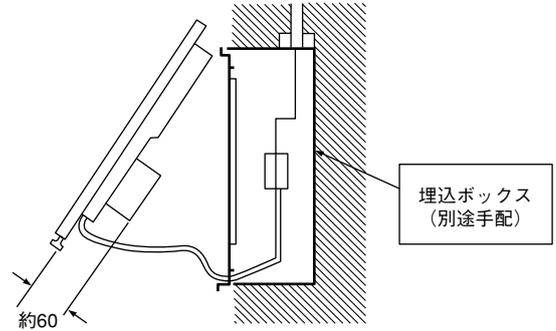
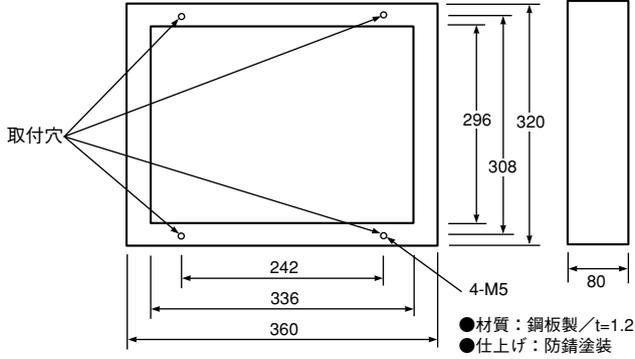
(2) 埋込ボックスの取付け

※逆マスターキー有・無によりどちらかを手配してください。

①逆マスターキー有りの場合

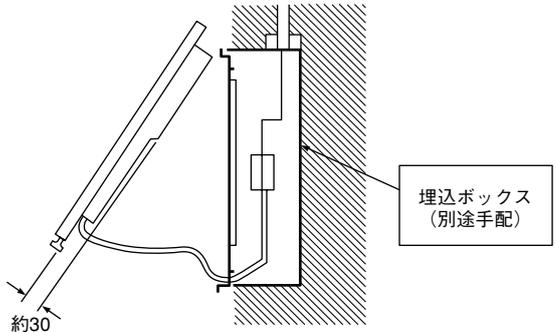
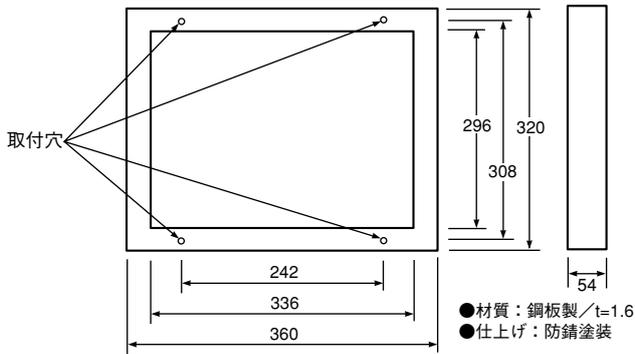
◎AP-HA638B [システム部材センター製]

※ 逆マスターキーの種類により奥行きが異なるため
別途手配願います。



②逆マスターキー無しの場合

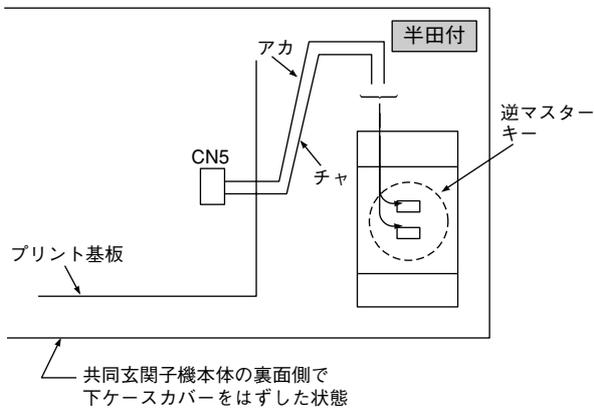
●WR7003 [松下電工(株)製] 受注生産品



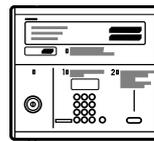
(3) 逆マスターキーの取付について

逆マスターキーの配線方法

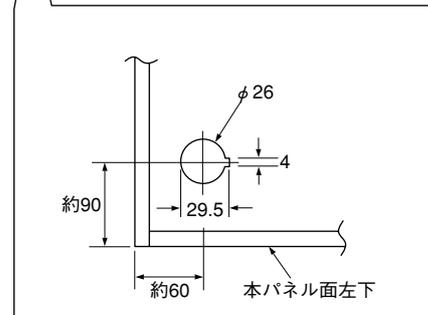
共同玄関子機本体側	逆マスターキー側
CN5コネクタ線 チャ、アカ	キー駆動させた時 メークする端子



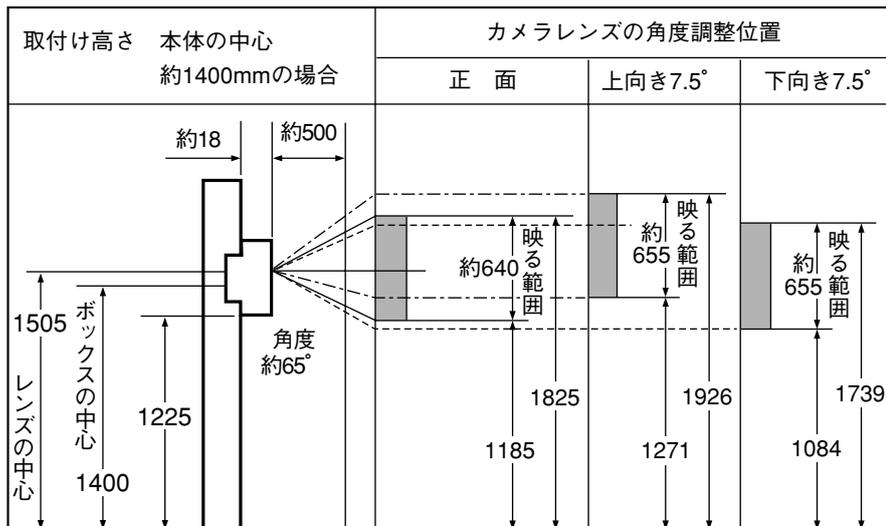
パネル面の逆マスターキー取付け穴寸法



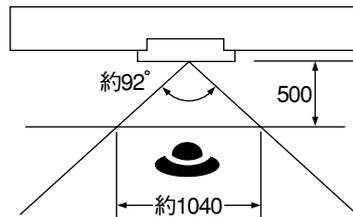
適合機種	
(例) 美和ロック製	KS-112



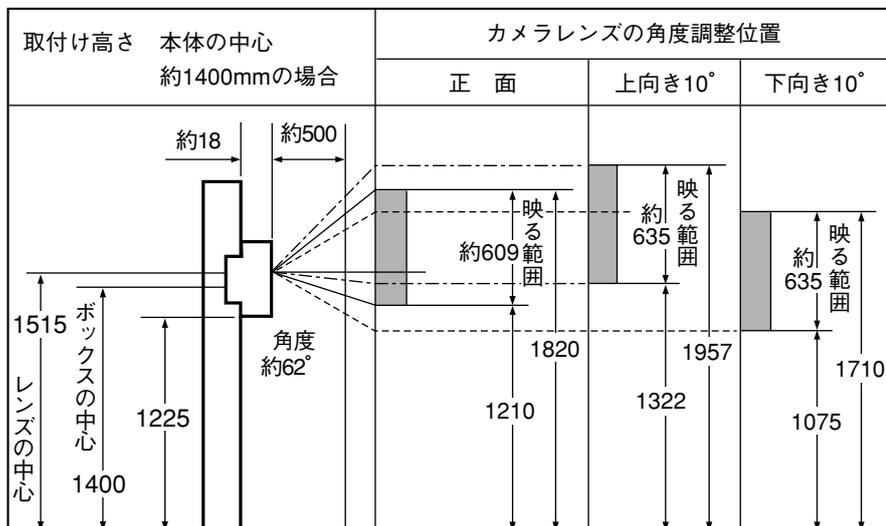
(4) テレビカメラ付／カラーカメラ付共同玄関子機設置位置のめやすおよびカメラレンズの角度調整方法
〔VL-545C、VL-546Cの場合〕



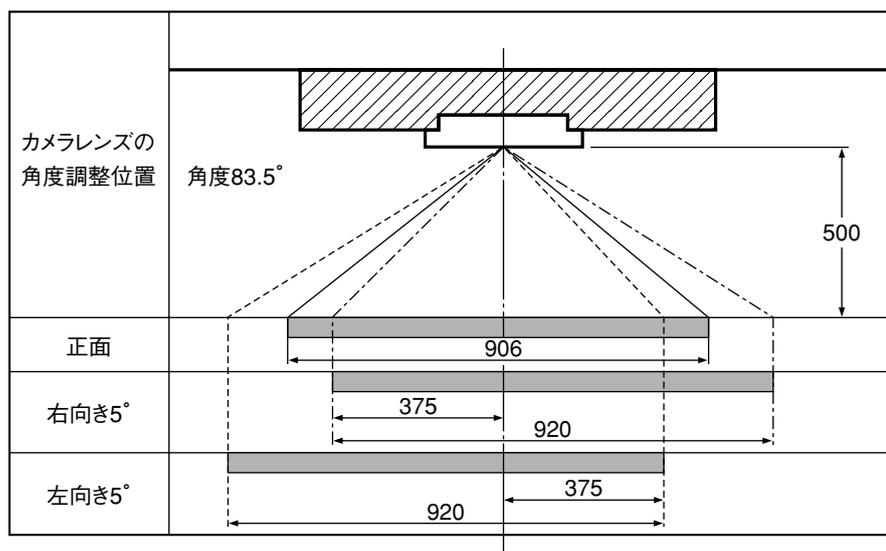
単位：mm



〔VG-K547CD、VG-K548CDの場合〕



単位：mm



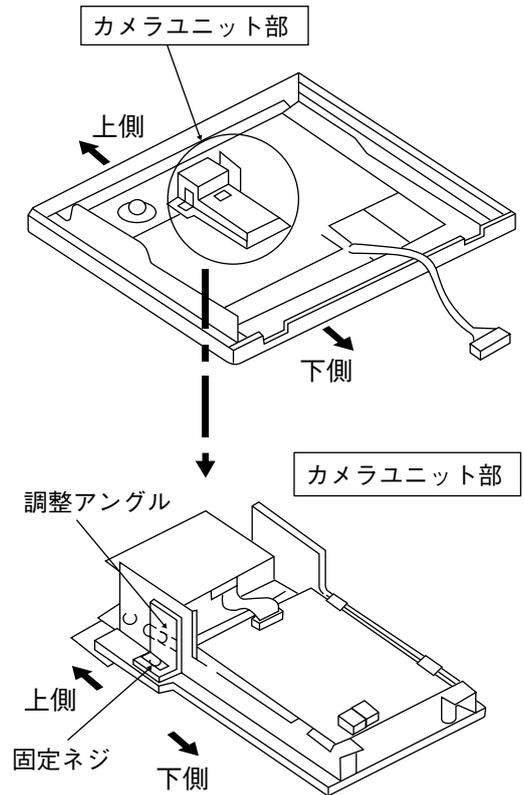
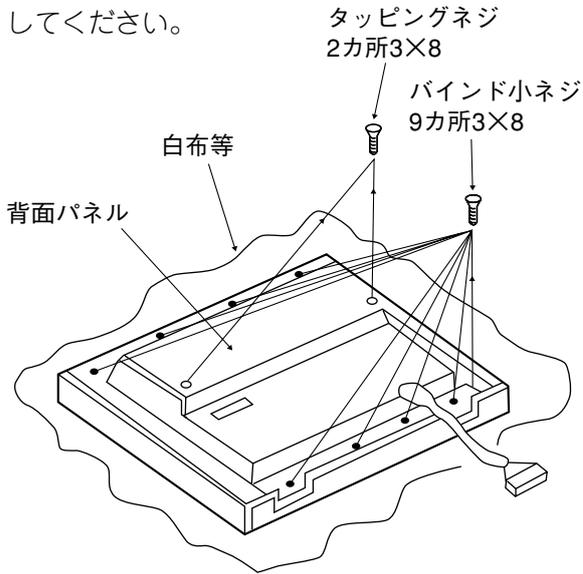
(5) カメラレンズの角度調整方法

[VL-545C, VL-546Cの場合]

- ・共同玄関子機の背面パネルを止めているネジを外して背面パネルを取り外してください。

お願い

- 1.内部の電子部品（IC、マイコン等）には素手で触れないでください。（静電破壊防止のため）
- 2.表面をキズつけないように白布等の上で作業をしてください。

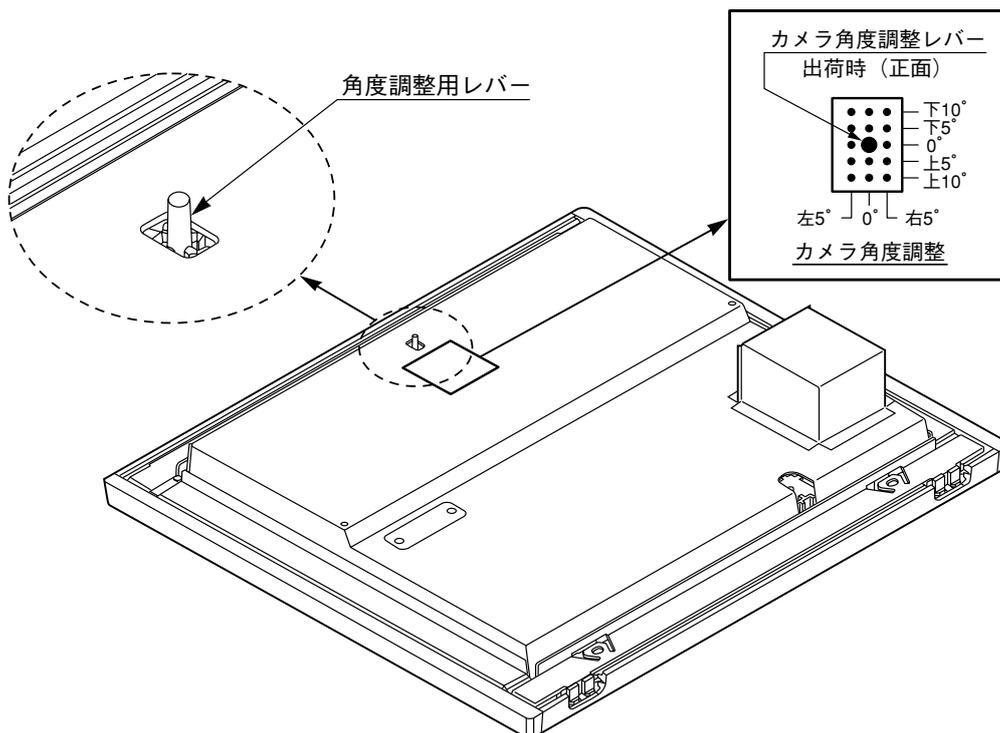


調整アングルの移動方法	レンズ角度
上側（最大）	下向き7.5°（最大）
出荷状態	取付面に対してレンズ垂直
下側（最大）	上向き7.5°（最大）

- 1.調整アングルを止めている固定ネジをゆるめる。
- 2.調整アングルを右表により移動させる。
- 3.設置位置が定まれば固定ネジを締付ける。

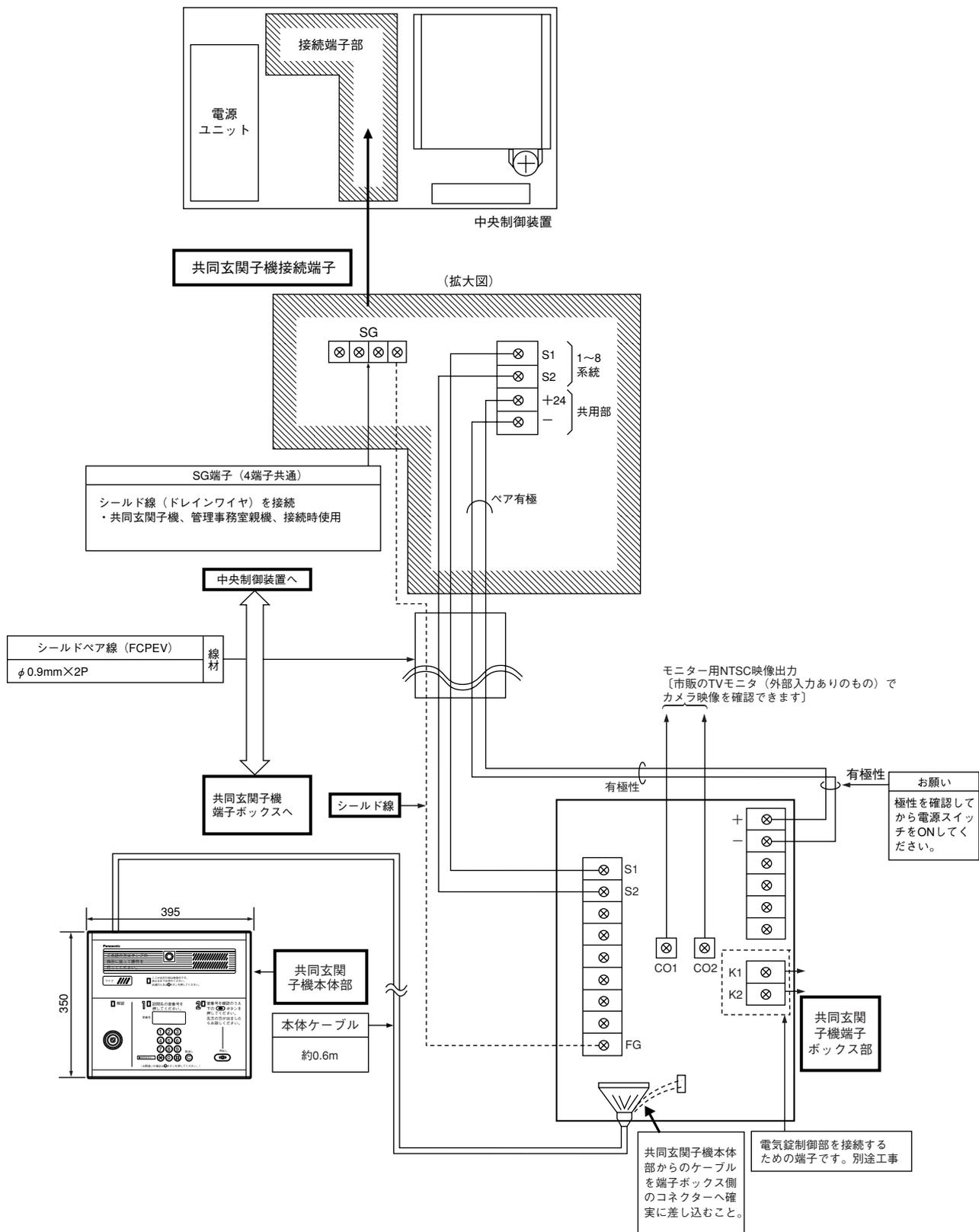
[VG-K547CD, VG-K548CDの場合]

- ・背面パネルは取り外さずに、レバーを操作することで角度調整できます。



[VG-K547CD、VG-K548CDの場合]

※該当室内親機は、VG-M376D、VG-M377Dのみです。



6. カメラ切替器の接続方法

※VG-K547CD、VG-K548CDの場合はカメラ切替器、映像分配器、住戸分岐器、アナログ映像線路の配線及びカメラ電源は不要です。

①カメラ切替器の台数について

テレビカメラ付共同玄関子機を2台以上接続する場合は、カメラ切替器が必要です。(1台の場合は不要)

またカメラ切替器1台に接続できるテレビカメラ付共同玄関子機は最大3台までです。

②アナログ映像システムの場合の同時通話について

プログラム番号21~28により、同じ棟に2台以上のテレビカメラ付共同玄関子機が設定された場合でも、同一棟内は同時に2つの共同玄関から通話できません。

〔動作〕 どれかの共同玄関子機1台が使用中に他の共同玄関子機から呼び出しがあった場合通話中となります。

③カメラ電源について

テレビカメラ付共同玄関子機1台に対してカメラ電源(VL-712A)が1台必要です。複数カメラ付共同玄関子機を設置する場合でも個々にカメラ電源が必要です。

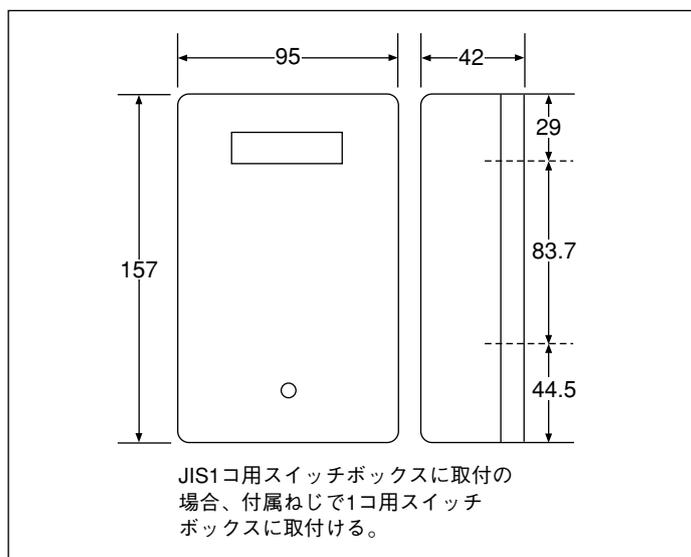
■テレビカメラ付共同玄関子機台数とカメラ切替台数の関係

テレビカメラ付共同玄関子機接続台数	系 統 図	カメラ切替器必要台数
2~3		1
4~5		2
6~7		3
8		4

- 系統間分配器 (VL-948)
- カメラ切替器 (VL-994)
- テレビカメラ付共同玄関子機

■カメラ切替器の外観図

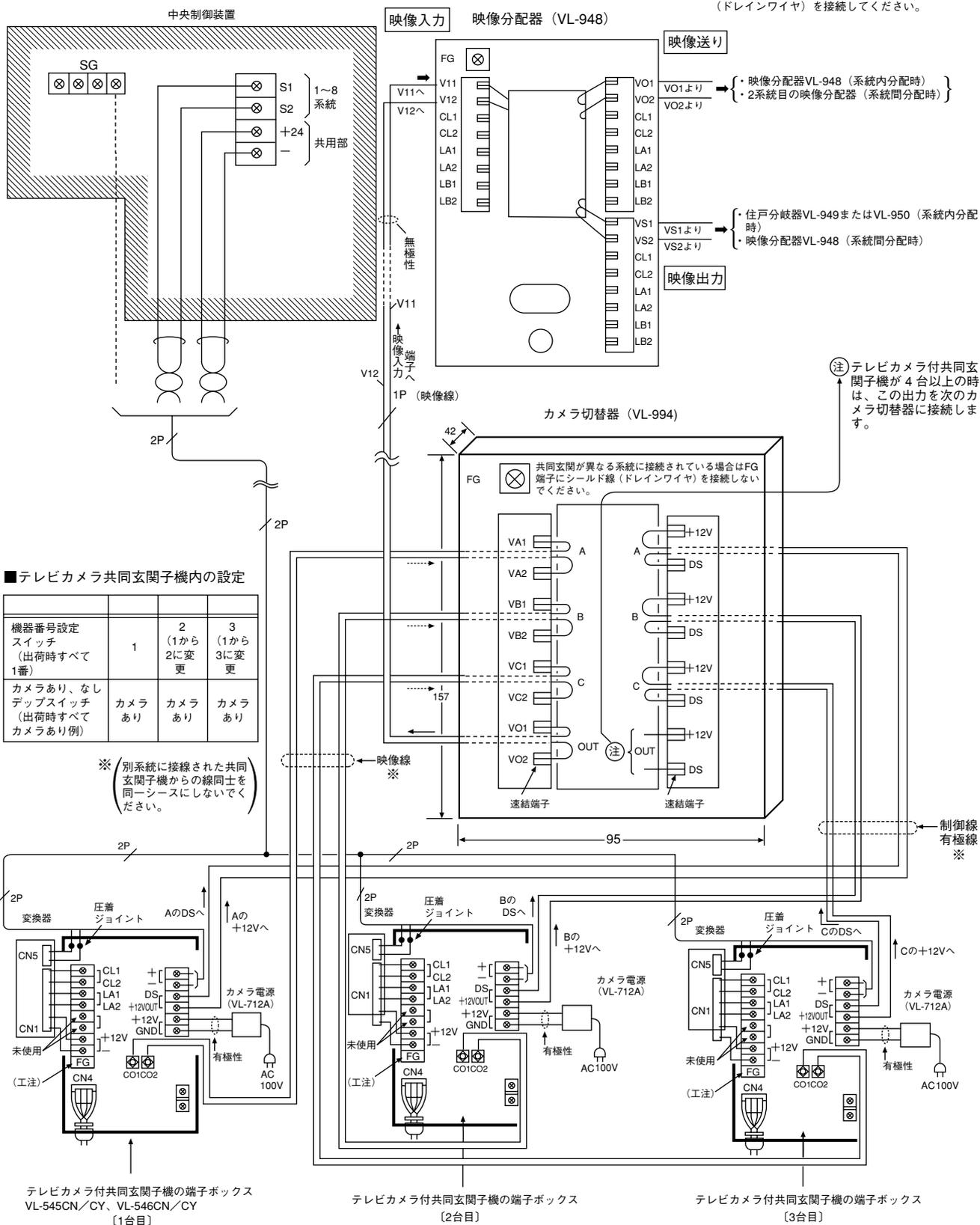
単位：mm



④接続方法

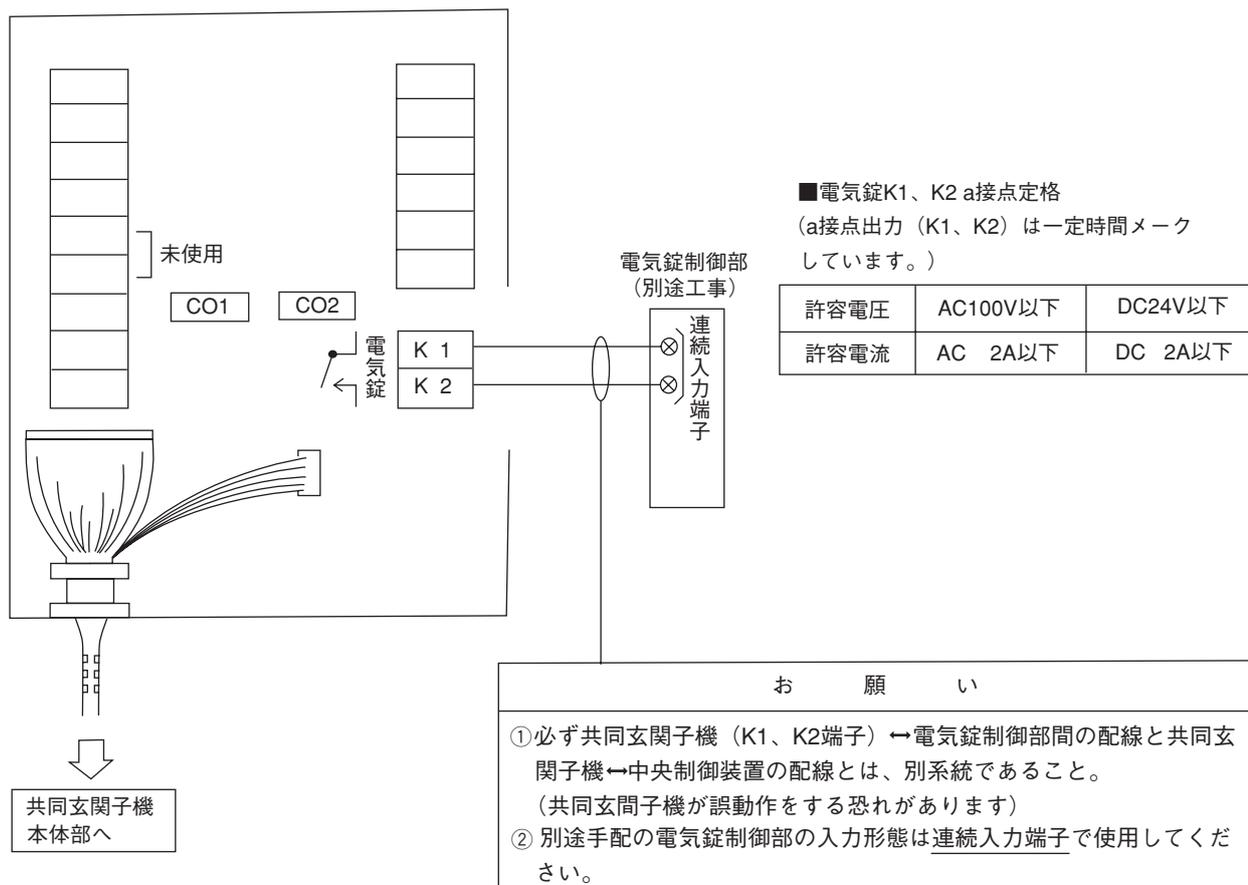
条件	1.制御装置～室内親機間の配線数は2P 2.モニターテレビユニットはVL-847TVAC VL-V848X
----	---

(工注1) CL1-CL2端子はデジタル通信線路の中継用端子として使用します。
(工注2) FG端子は、各シールドペア系のシールド線(ドレインワイヤ)を接続してください。



(工注) VL-545CN/CY、VL-546CN/CYには、FG端子が別途あります。中央制御装置からの2Pシールドペア線のシールド線を接続してください。

7. 電気錠制御部の接続方法

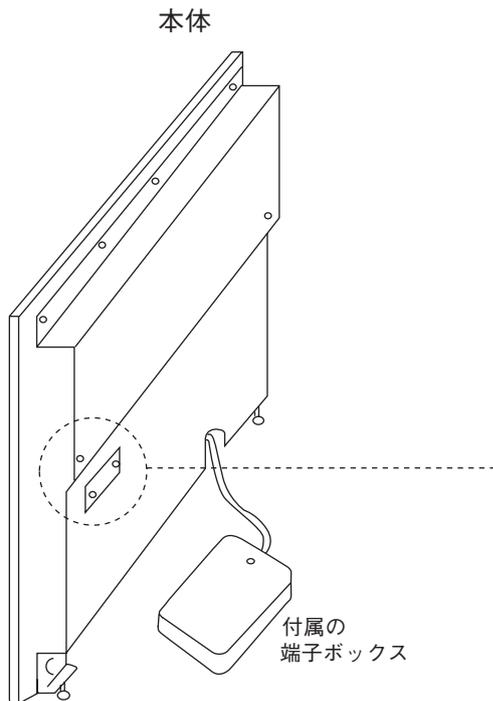


プログラム設定について

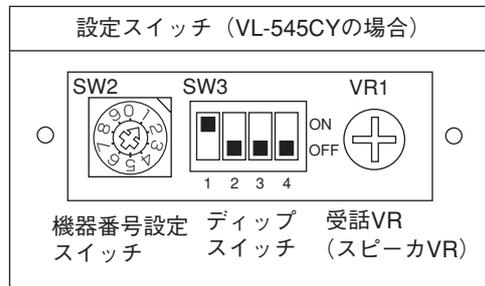
下記のプログラム設定を行ってください。

- (1) プログラム番号09 (共同玄関電気錠のセキュリティによる解錠有り/無し設定)
- (2) プログラム番号40 (暗証番号2の種別設定)
プログラム番号41~48 (共同玄関子機1~8の電気錠暗証番号1、2設定)
- (3) プログラム番号51~58 (共同玄関子機1~8の電気錠解錠時間帯1、2設定)
- (4) プログラム番号71~78 (共同玄関子機1~8の電気錠解錠時間設定)

8. 共同玄関子機機器番号等の設定



●機器番号等の設定時はねじ（2ヶ所）をゆるめ、蓋板をはずします。



●設定スイッチの説明

名 称	設 定																									
SW2 機器番号設定スイッチ (機器番号の設定)	<ul style="list-style-type: none"> 共同玄関子機は8台迄接続可能。 各共同玄関子機のSW2スイッチを設定してください。 <u>重複すると誤動作の原因となります。</u> 出荷時は“1”です。 (例) 1台目→1 2台目→2 共同玄関子機を並列接続として2台接続時は、2台目を“2”と設定します。 <p>(注1) 機器番号の変更時は必ず制御装置の電源を切ってください。 (読み込み動作が必要のため)</p> <p>(注2) 複数台設定するときは、必ず若番から順に、あいだを飛ばさずに設定してください。</p>																									
SW3 ディップスイッチ (■は出荷時)	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="5">ディップスイッチ</th> </tr> <tr> <th></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>機能</td> <td>カメラ有・無 (テレビカメラ付 共同玄関子機は必ず “有側”である こと)</td> <td>電気錠解錠時 ・接点がメーク (a接点) ・接点がブレーク (b接点)</td> <td>管理事務室親機呼 出し規制有・無 (共同玄関子機の ⊗ ボタンを押し て管理事務室親機 を呼出し)</td> <td>接続制御装置 (接続する制御装 置の種類によって 切替えてくださ い)</td> </tr> <tr> <td>設定</td> <td>ON 有</td> <td>ブレーク</td> <td>呼出不可</td> <td>デジタル</td> </tr> <tr> <td></td> <td>OFF 無</td> <td>メーク</td> <td>呼出可</td> <td>アナログ</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) カメラ有・無の設定の出荷時設定は、カメラ付共同玄関子機は有、カメラ無共同玄関子機は無になっています。</p> <p>(注) 接続制御装置の設定の出荷時設定は、カラーカメラ付共同玄関子機はデジタル、その他の共同玄関子機はアナログになっています。</p>	ディップスイッチ						1	2	3	4	機能	カメラ有・無 (テレビカメラ付 共同玄関子機は必ず “有側”である こと)	電気錠解錠時 ・接点がメーク (a接点) ・接点がブレーク (b接点)	管理事務室親機呼 出し規制有・無 (共同玄関子機の ⊗ ボタンを押し て管理事務室親機 を呼出し)	接続制御装置 (接続する制御装 置の種類によって 切替えてくださ い)	設定	ON 有	ブレーク	呼出不可	デジタル		OFF 無	メーク	呼出可	アナログ
ディップスイッチ																										
	1	2	3	4																						
機能	カメラ有・無 (テレビカメラ付 共同玄関子機は必ず “有側”である こと)	電気錠解錠時 ・接点がメーク (a接点) ・接点がブレーク (b接点)	管理事務室親機呼 出し規制有・無 (共同玄関子機の ⊗ ボタンを押し て管理事務室親機 を呼出し)	接続制御装置 (接続する制御装 置の種類によって 切替えてくださ い)																						
設定	ON 有	ブレーク	呼出不可	デジタル																						
	OFF 無	メーク	呼出可	アナログ																						
受話VR1	<p>(注) 調整済ですので手を触れないでください。 ハウリング等が起こります。(ただし、メンテ等で調整をします。)</p>																									

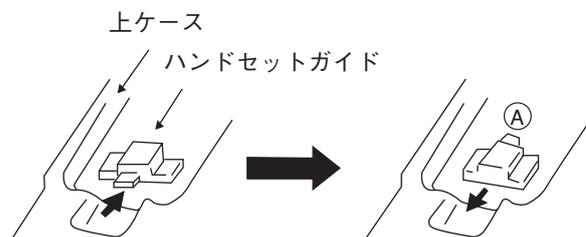
1. 管理事務室親機の取付方法

(1) 壁掛形にする場合

(※出荷時は卓上形)

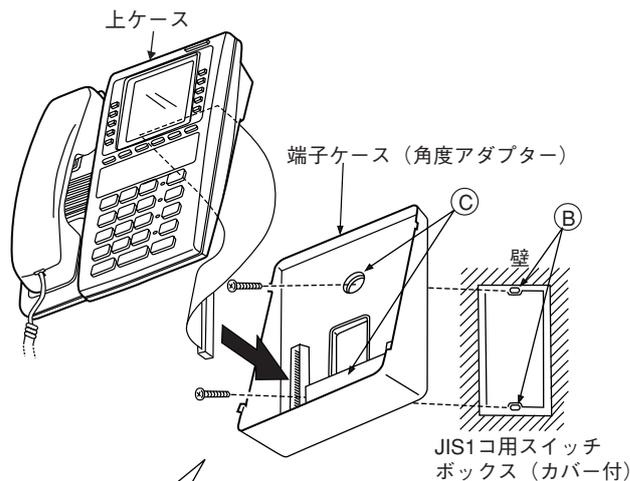
①ハンドセットガイドを差替える。

- 1) ハンドセットガイドを矢印の方向に抜き取る。
- 2) ハンドセットガイドを逆に [A部 (ハンドセットひっかけ部)] を上に差し込む。



②端子ケースを取付ける。

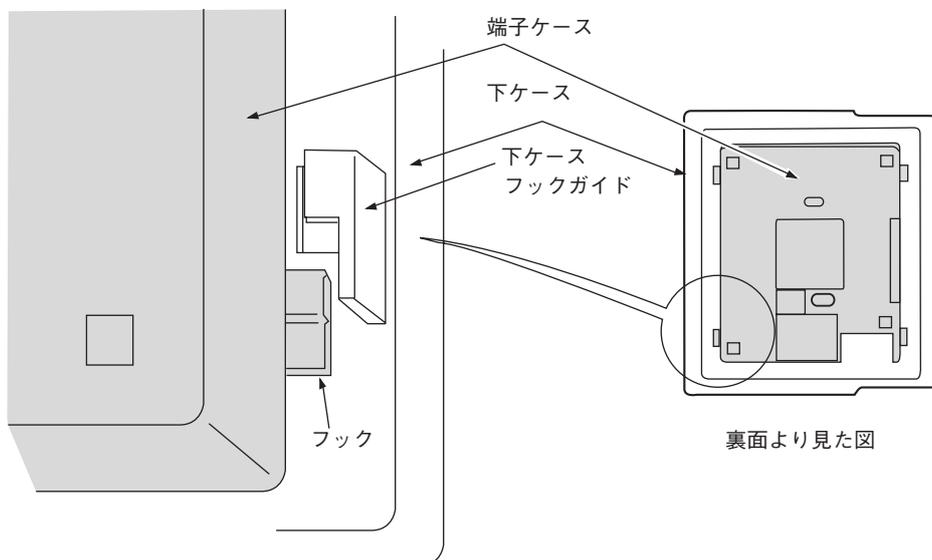
- 1) スイッチボックスが壁面より沈んで取り付いている場合、端子ケースの裏面の補強板 (1.6t) を貼り付けます。(次頁図参照)
- 2) JIS1コ用スイッチボックスに取付けの場合、B部に付属のネジ (2本) で取付ける。
- 3) 壁に直接取付けの場合、C部を付属の木ネジ (2本) で取付ける。

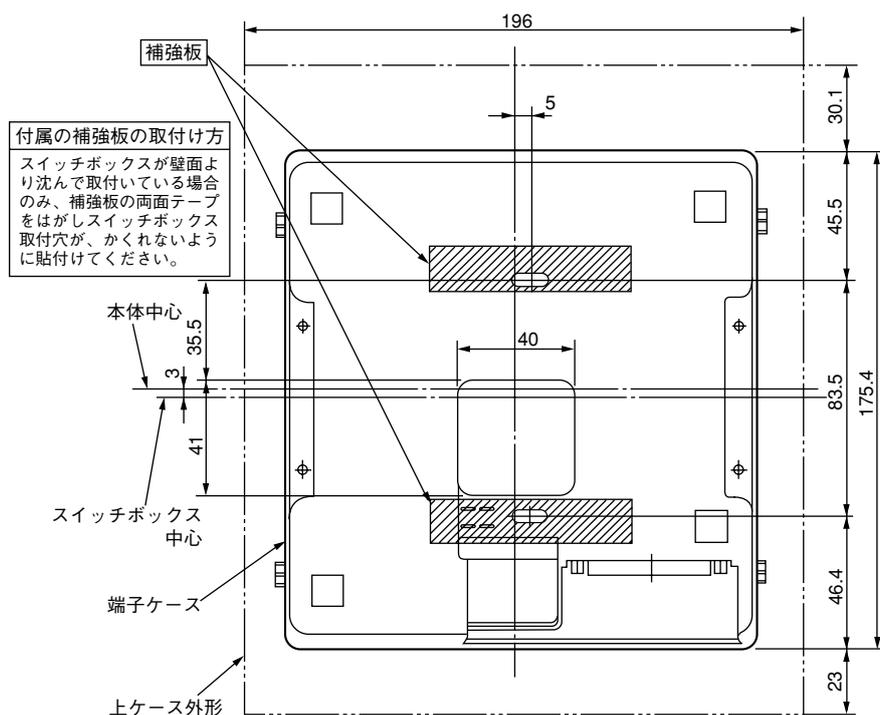


③上ケースを取付ける。

- 1) 上ケースのケーブルを下ケースのコネクター CN15 (50P) に差し込み **接続手順** に従って確実に接続してください。
- 2) 端子ケースのフック (下図) 4ヶ所に下ケースのフックガイドを差し込みます。

コネクターの接続手順 [CN15 (50P)]	
① コネクター受けの爪 (両方) を開ける (矢印方向に)	① コネクター受け CN15 (50P)
② 本体部の接続コネクターを強く確実に挿入する	②
③ コネクター受けの爪 (両方) を閉じる (矢印方向に)	③





ケースを表から見た裏面

(2) 卓上形にする場合

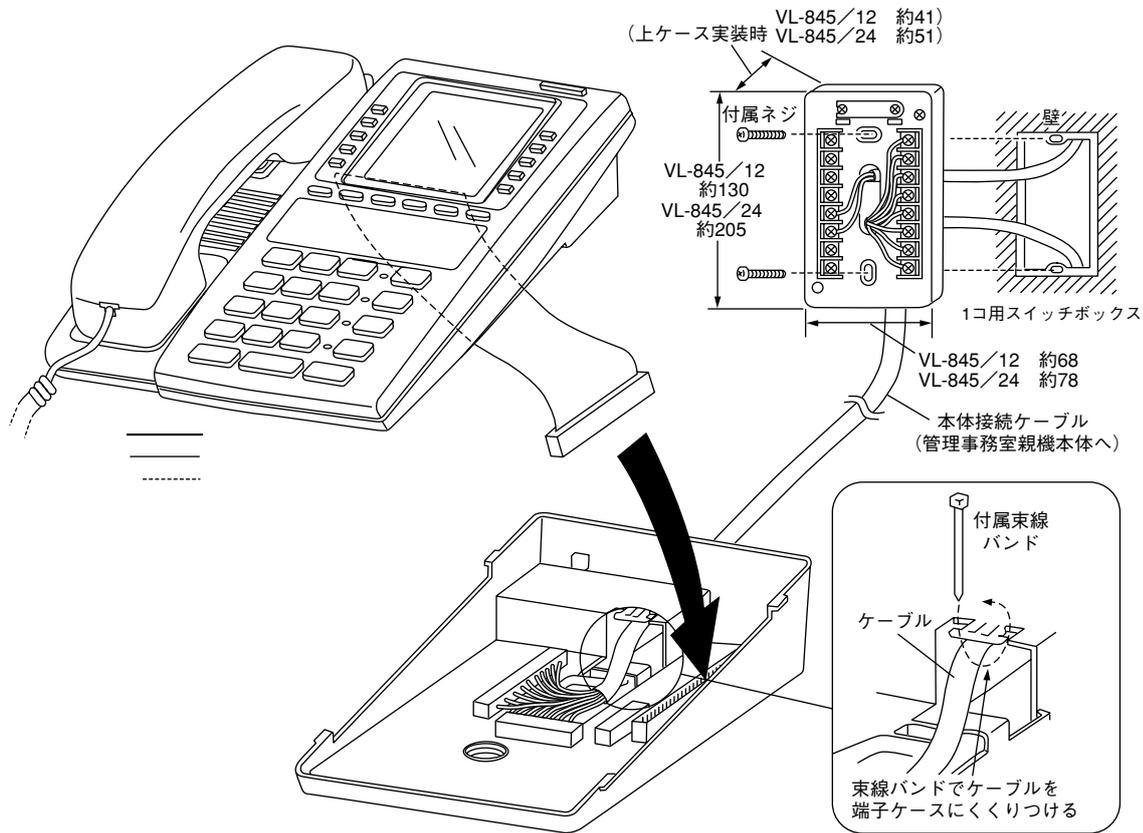
別売の端子ボックスに取付けます (VL-845/12, 845/24)

① JIS1コ用スイッチボックスに取付の場合

- 1) 付属ねじで1コ用スイッチボックスに取付ける (次頁図参照)
- 2) ケーブルを入線、接続する。

② 壁 (柱) に直接取付の場合

カバー部のノックアウト (ケーブル通し) をニッパー等で切りとりケーブル固定具のねじをゆるめてケーブルを通し、金具のねじを締める。



管理事務室親機端子ケースに接続

VL-845/12		VL-225 -228	VG-E485 486
端子 番号	線 色	本体端子名称	
1	チャ	V+	CL1
2	アカ	E	CL2
3	ダイ	C	LA1
4	キ	D	LA2
5	ミド	A1	LB1
6	アオ	A2	LB2
7	ムラ	A3	+
8	ハイ	A4	-
9	シロ	A5	D1
10	ワカクサ	A6	D2
11	モモ	A7	接点1M
12	ソラ	A8	接点1C
13	チャ/ク	A9	接点2M
14	アカ/ク	A10	接点2C
15	ダイ/ク	A11	接点3M
16	キ/ク	A12	接点3C
品番			
LOT NO.			
松下電器産業株式会社			

ケーブルに接続

管理事務室親機端子ケースに接続

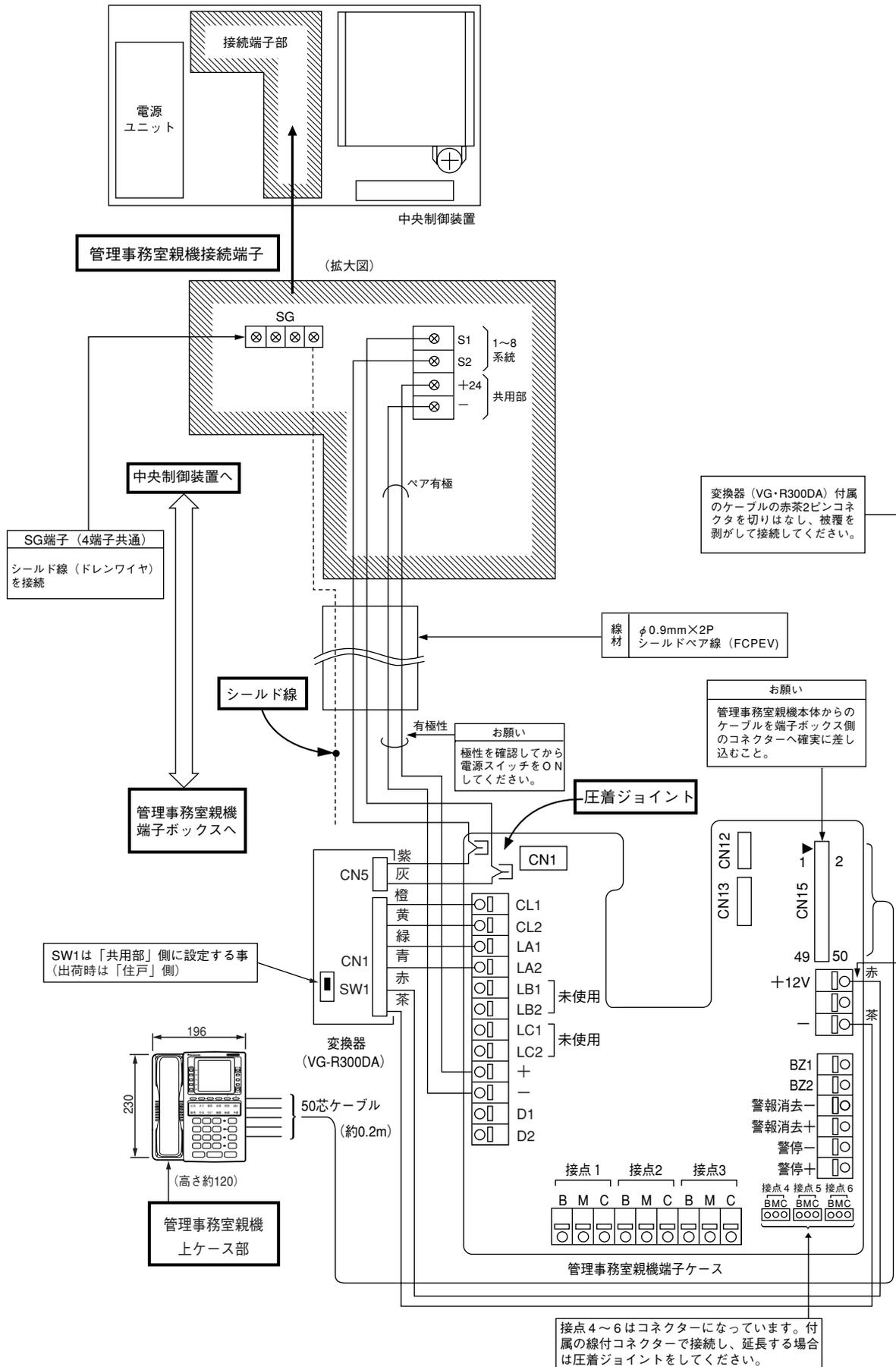
VL-845/24		VL-229	VG-E485 486
端子 番号	線 色	本体端子名称	
1	チャ	V+	CL1
2	アカ	E	CL2
3	ダイ	C	LA1
4	キ	D	LA2
5	ミド	A1	LB1
6	アオ	A2	LB2
7	ムラ	A3	LC1
8	ハイ	A4	LC2
9	シロ	A5	+
10	ワカクサ	A6	-
11	モモ	A7	D1
12	ソラ	A8	D2
13	チャ/ク	A9	接点1M
14	アカ/ク	A10	接点1C
15	ダイ/ク	A11	接点2M
16	キ/ク	A12	接点2C
17	ミド/ク	B1	接点3M
18	アオ/ク	B2	接点3C
19	ムラ/ク	B3	警停+
20	ハイ/ク	B4	警停-
21	シロ/ク	B5	警報消去+
22	ワカクサ/ク	B6	警報消去-
23	モモ/ク	B7	
24	ソラ/ク	B8	
25	ク/シ	B9	
26	アカ/シ	B10	
27	ミド/シ	B11	
28	キ/シ	B12	
品番			
LOT NO.			
松下電器産業株式会社			

ケーブルに接続

空き(使用可)

2. 管理事務室親機の接続方法

〈管理事務室親機接続端子位置〉

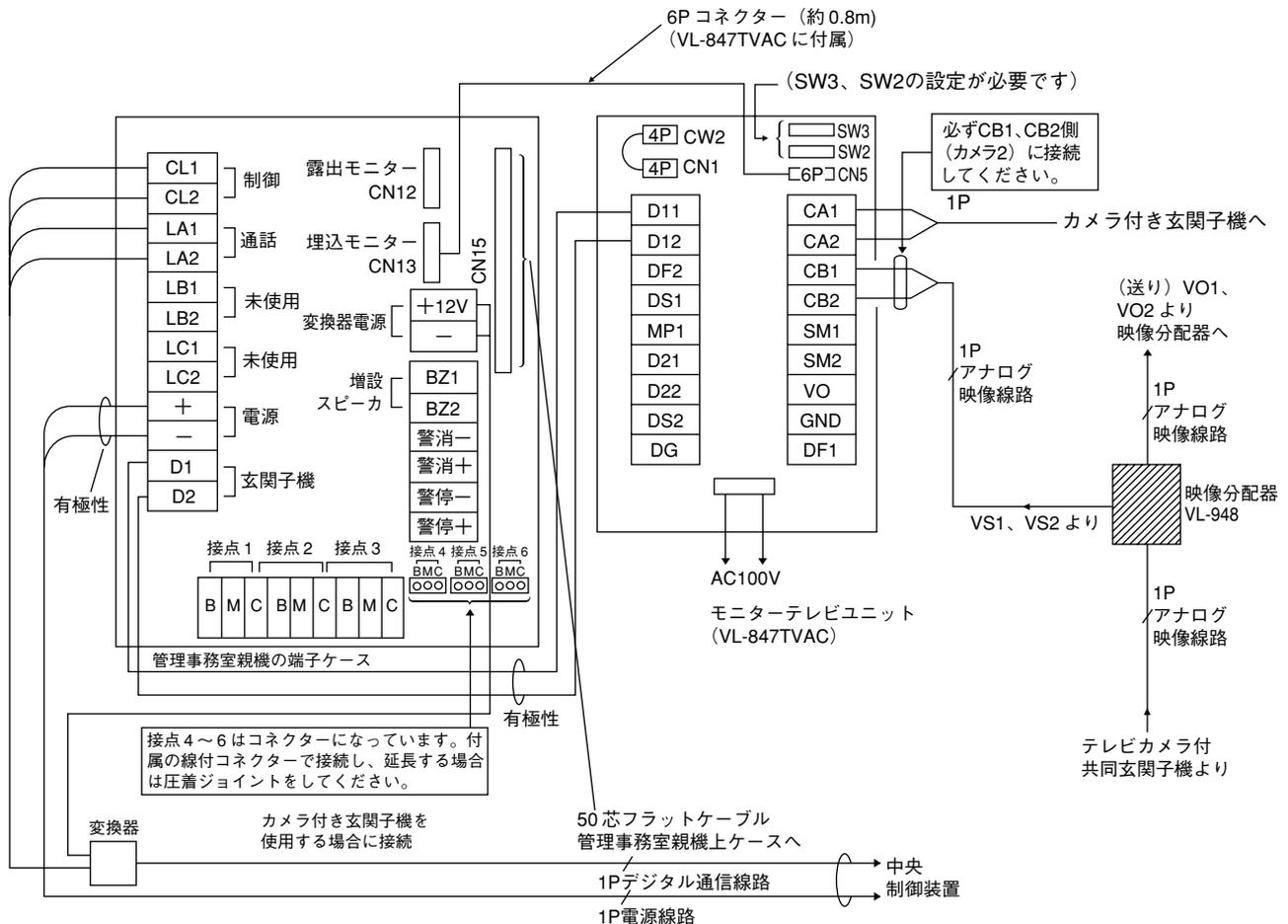


3. モニターテレビユニットの接続

(1) 概要

アナログ映像のテレビカメラ付共同玄関子機の⊗ 釦を押して管理事務室親機を呼び出した時に、管理事務室のモニターテレビユニットが動作し、訪問者の映像を映します。

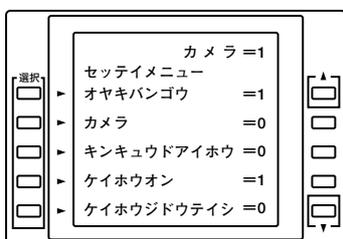
(2) 配線図 VL-847TVAC接続



(3) 設定

必ず管理事務室親機のプログラム設定とモニターテレビユニット (VL-847TVAC) のSW3、SW2の設定を行ってください。

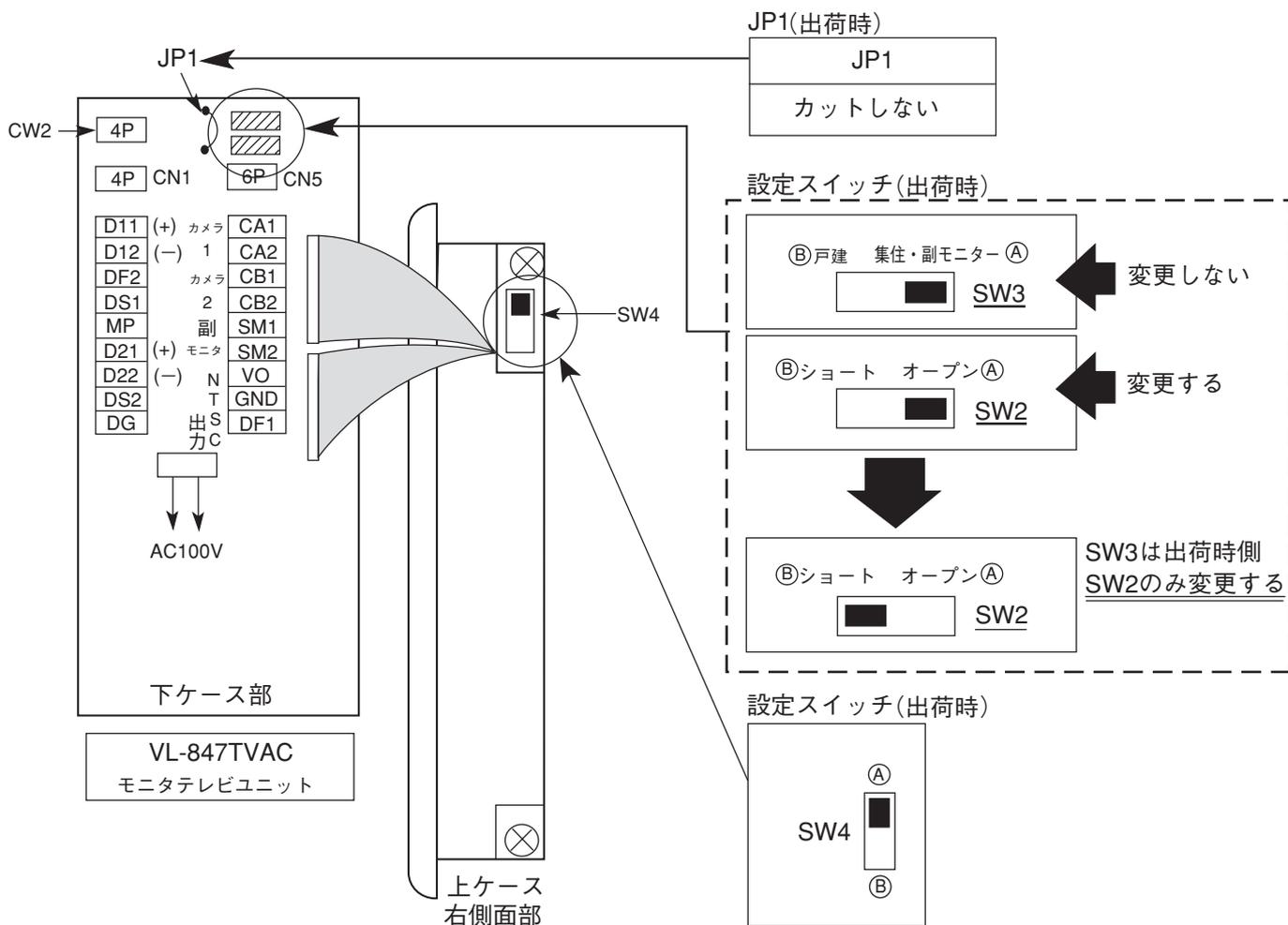
①管理事務室親機のプログラム設定



“ケイホウナシ” 表示中にオフフックし、メニューキーを3秒以上押す。
 選択キーでカメラを選び“1”、“呼出” キーを押下しオンフックする。
 (詳細は66～67頁参照)

②モニターテレビユニット (VL-847TVAC) 側の設定

モニターテレビユニット下ケースのSW4, SW3, SW2の設定



4. 警報出力端子の接続・増設警報音停止、警報消去スイッチの接続

(1) 概要

3つのA, B接点を標準で装備し、設定された警報により、各接点が動作します。イニシャル時（工場出荷時）は次の様になっています。 接点1…火災 接点2…ガスもれ 接点3…非常

また、設定により、1つの接点に複数の警報を割り当てる事もできます。

- ・警報音停止端子は、離れた所で警報音を止める場合に、また警報消去端子は、離れた所で警報を消去する場合に使用します。スイッチの仕様は、ノンロックタイプのワンメーク接点であること。
- ・管理事務室親機のプログラム設定が必要です。69頁参照。

(2) 警報出力端子（接点1、接点2、接点3）の移報接点定格

①移報接点定格

- ・接続できるベル、ブザーは右表の通り電圧AC24V、DC24V以下、電流0.5A以下で動作するものを使用すること。

（ベル、ブザー駆動用電源は別途手配のこと）

許容電圧	AC24V	DC24V
許容電流	AC0.5A	DC0.5A

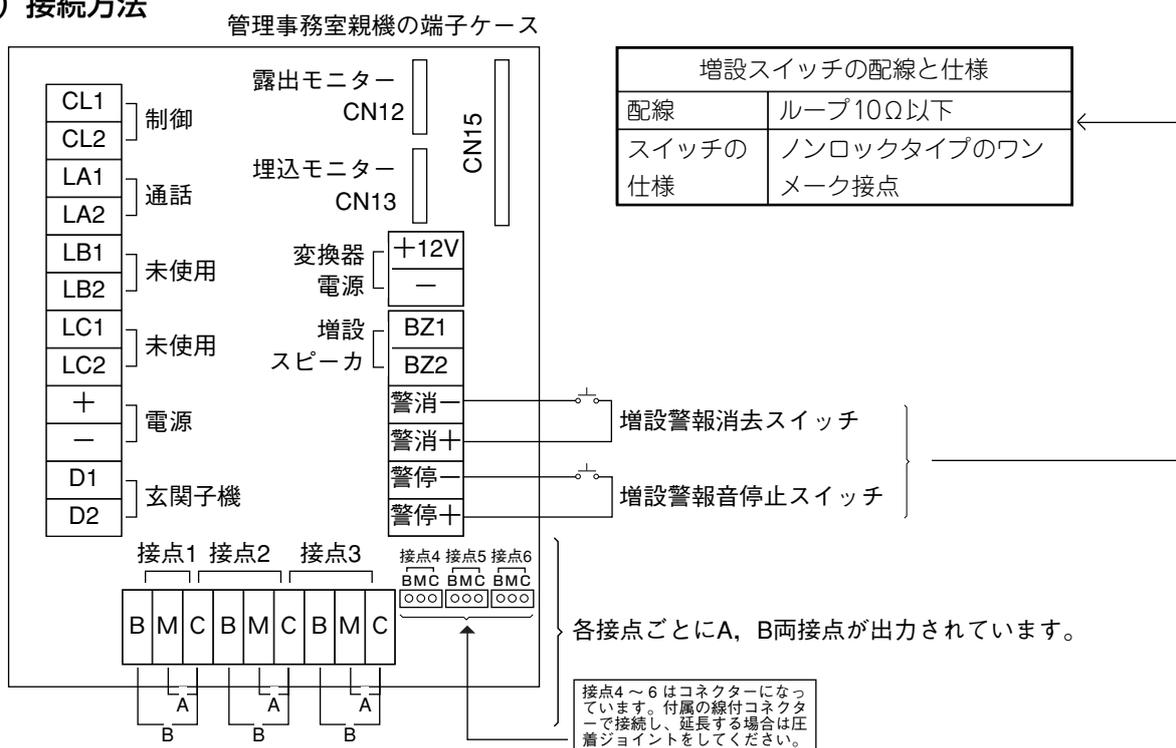
②移報接点動作

警報出力端子	室内親機側				管理事務室親機
	警報時	センサー復旧時	警報音停止ボタン押す	室内親機の試験スイッチ押す	警報音停止釦押 ↓ 警報消去釦押
火災	火災	閉	閉	閉	開
ガス	ガスもれ	閉	閉	閉	開
	ガス断線 (有電圧タイプのみ)	閉	閉	閉	開
非常 (他の警報)	閉	非常ボタンを押す 閉	閉	閉	開

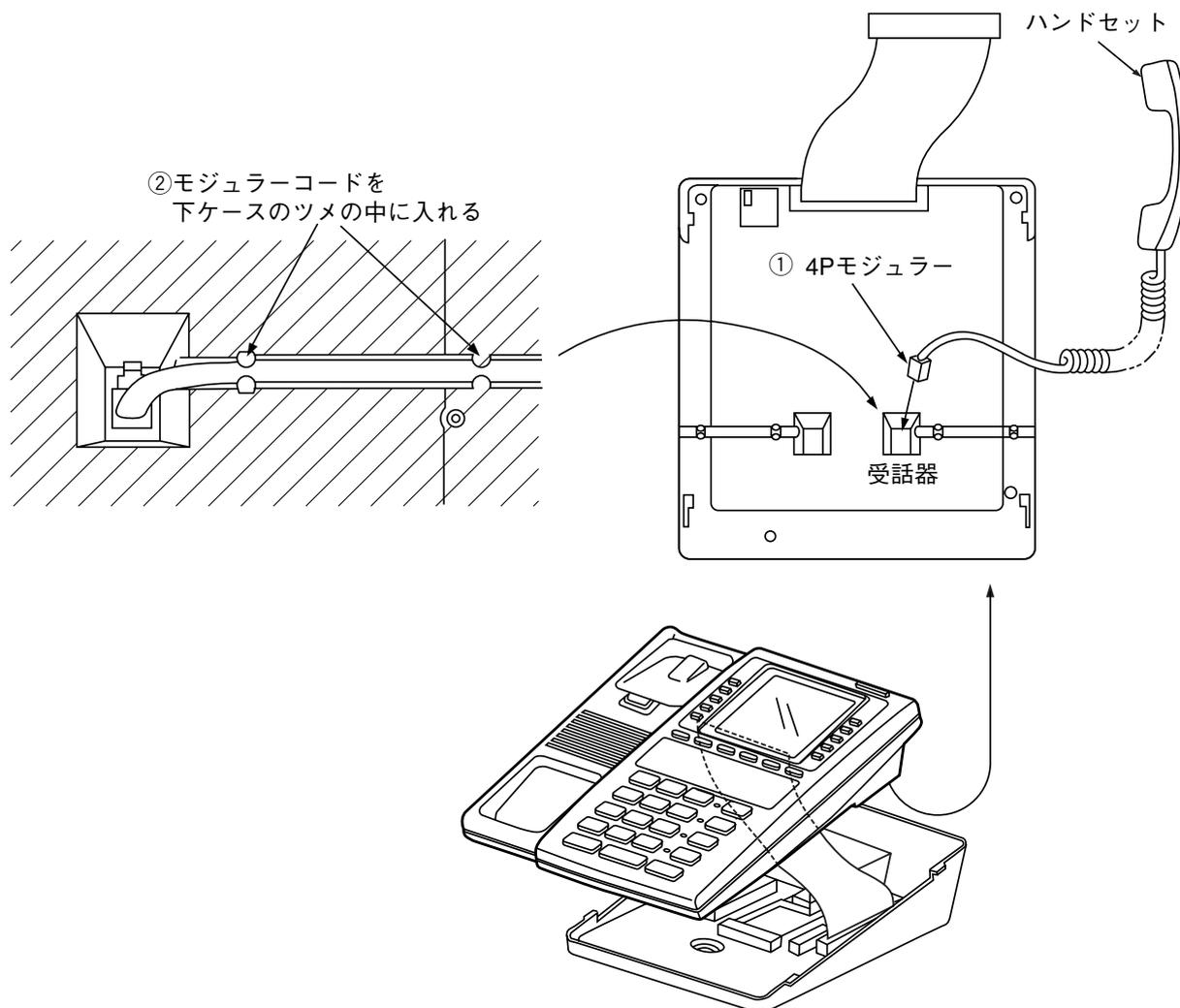
※表示メモリの設定（61～63頁参照）において、「なし」に設定すると移報接点の動作はしません。

※同一のセキュリティ警報が重複した場合は、一度接点が開いてから再び閉じます。

(3) 接続方法



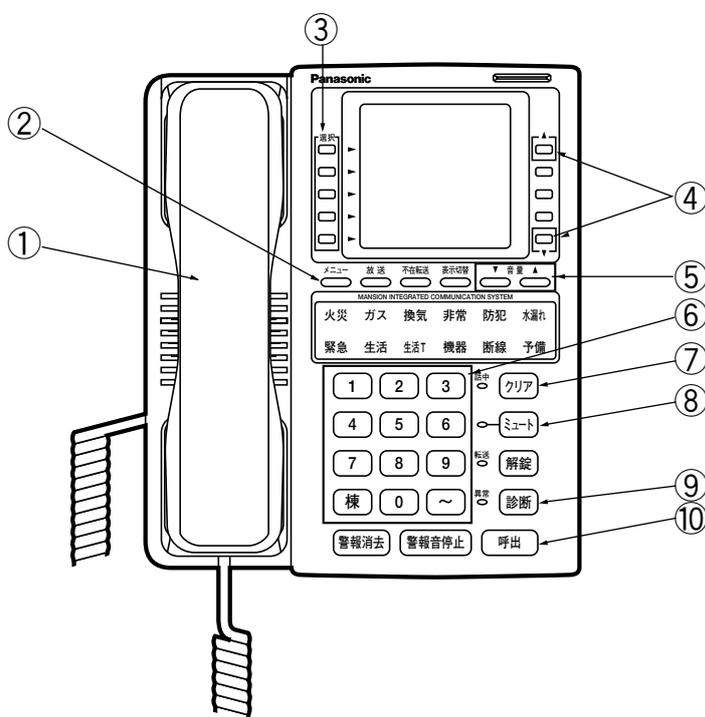
5. ハンドセットの取り付け方法



- ①ハンドセットの4Pモジュラーコネクタを下ケースの裏にある受話器（モジュラー、4P）に差し込む。
- ②モジュラーコードを下ケースのツメ（4ヶ所）の中にはさみ込む。

6. 管理事務室親機の設定方法

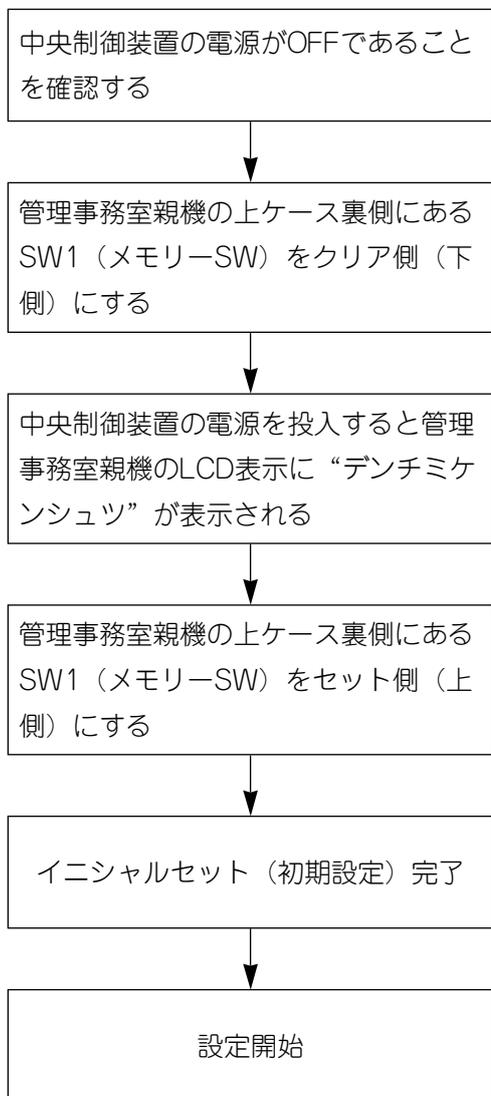
管理事務室親機の設定は本体の表示とキー操作によって行います。



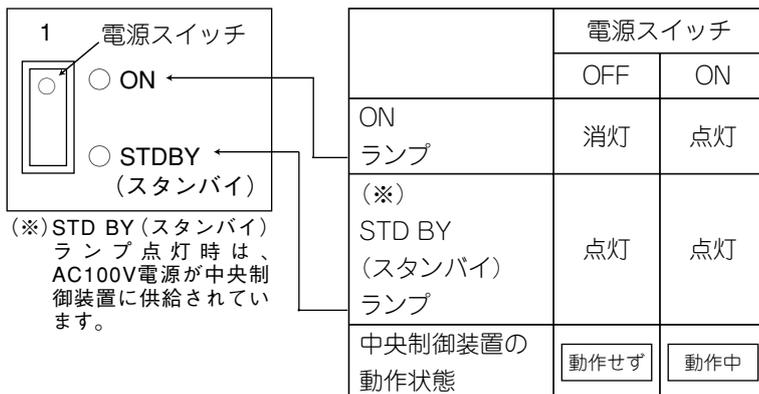
名称	操作・表示
① ハンドセット	工事設定メニュー表示中はオフフックにします。
② メニューボタン	設定メニューモードにする場合、3秒以上押下します。
③ 選択ボタン	設定メニューの項目を選択します。
④ 改ページボタン	設定メニューや項目が複数ページの場合にページ送りまたはページを戻します。
⑤ 音量ボタン	オンフック中の☒キー押下後に音量ボタンでLCD濃度調整ができます。
⑥ テンキー	設定メニューの設定値を変更します。
⑦ クリアボタン	設定内容をクリアしたり、1つ上の階層に戻ります。
⑧ ミュートボタン	ミュートボタンを押下しミュートLEDを点灯させると警報音が鳴動しなくなります。
⑨ 診断ボタン	待ち受け状態のオフフックで押下すると異常状態の表示になり、複数の異常情報がある場合は診断ボタンを押下するたびに次の異常情報を表示します。
⑩ 呼出ボタン	設定メニュー中は登録ボタンになります。

(1) イニシャルセット（初期設定）の方法……出荷状態（初期値）

- ①設定メニュー登録済みまたは、登録途中でこのイニシャルセットを実行すると登録した内容は全て消え、イニシャル状態（工場出荷状態）になります。
- ②初めての設定または動作をさせる場合にはこの手順を行ってください。管理事務室親機が動作しません。
(親機番号も登録されていませんので必ず登録してください)

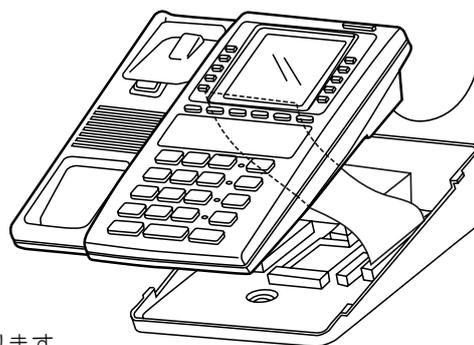
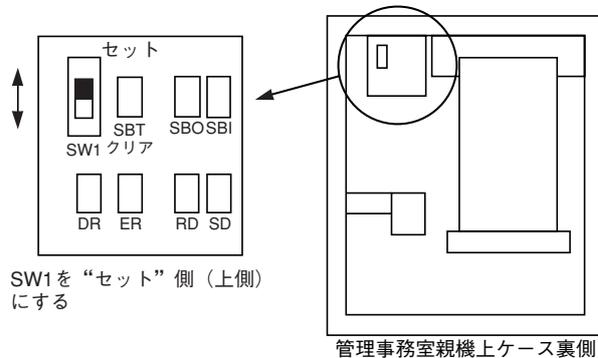


〈中央制御装置の電源スイッチ部〉



メモリースイッチの設定

内部メモリーのバックアップスイッチを“セット”側にします。
(管理事務室親機の設定内容は機器内のメモリーに記憶されます。この記憶されたメモリーは電池でバックアップされます。)



1回目の電源投入では工事設定メニューが初期画面として立ち上がります。
2回目以降の電源投入では動作可能状態で立ち上がります。この場合は、LCD表示に“ケイハウナシ”の表示中にオフフックで“メニュー”キーを3秒以上押下すると工事設定メニューが表示されます。
(電源投入後にメモリースイッチを切り替えても可)

(2) 設定内容の一部変更・設定内容の確認方法

LCD表示に“ケイハウナシ”の表示中にオフフックし“メニュー”キーを3秒以上押下すると工事設定メニューが表示されます。

①工事設定メニュー

工事設定メニュー一覧

No.	設定項目	出荷時 設定	設定値 記入	入力値	特 記 事 項
1	親機機器番号	0		1~8	管理事務室親機機器番号1~8
2	カメラ	0		0/1	カメラ付き玄関子機 (1:有)
3	放送ドア移報	0		0	未使用
4	警報音種別	1		0/1	0:擬音(トゥーンのみ)、1:擬音(各種)+音声合成
5	警報自動停止	0		0/1	自動停止 (1:有)
6-1	RS232C接続	0		0,1~3	1:プリンタ、2:通報機、3:ACK/NAK接続
6-2	RS232Cスピード	4		1~4	1:1200、2:2400、3:4800、4:9600dps
6-3	RS232Cセキュリティ	1		0/1	セキュリティ情報 (0:出力無、1:出力)
6-4	RS232C在/不在	0			未使用
6-5	RS232C着信	0			着信情報 (0:出力無、1:出力)
7-1	表示メモリ火災	1		0/1 0:表示 メモリ なし 1:表示 メモリ あり	火災:火災
7-2	表示メモリ火災確認	1			火災:火災確認
7-3	表示メモリガス	1			ガス:ガス漏れ
7-4	表示メモリ換気	1			換気:空気汚れ
7-5	表示メモリ非常	1			非常:非常
7-6	表示メモリ防犯	1			防犯:防犯1、2
7-7	表示メモリ水漏	1			水漏れ:水漏れ
7-8	表示メモリ緊急	1			緊急:バス、トイレ、緊急コール、ペンダントコール
7-9	表示メモリ生活	1			未使用
7-10	表示メモリ生活T	1			未使用
7-11	表示メモリ機器	1			未使用
7-12	表示メモリ断線	1			断線:火災断線、ガス断線
7-13	表示メモリ予備	1			未使用
8-1	接点移報火災	1		1~6	火災移報接点出力を指定 (1~6) 最大6指定可
8-2	接点移報ガス	2			ガス移報接点出力を指定 (1~6) 最大6指定可
8-3	接点移報換気	-			換気移報接点出力を指定 (1~6) 最大6指定可
8-4	接点移報非常	3			非常移報接点出力を指定 (1~6) 最大6指定可
8-5	接点移報防犯	-			防犯移報接点出力を指定 (1~6) 最大6指定可
8-6	接点移報水漏れ	-			水漏れ移報接点出力を指定 (1~6) 最大6指定可
8-7	接点移報緊急	-			緊急移報接点出力を指定 (1~6) 最大6指定可
8-8	接点移報生活	-			未使用
8-9	接点移報生活T	-			未使用
8-10	接点移報機器	-			未使用
8-11	接点移報断線	-			断線移報接点出力を指定 (1~6) (火災断、ガス断) 最大6指定可
8-12	接点移報予備	-			未使用
9	表示位置設定	未設定		-	未使用

②工事設定メニュー詳細

番号	設定項目	設定内容	初期値 (出荷時状態)	設定記入欄	プログラム 指定確認欄	
1	管理事務室親機 機器番号	管理事務室親機の機器番号を設定します。 1～8まで設定可能で、若番より登録します。	0:機器番号無し	1～8		
2	カメラ	カメラ付き玄関子機の接続有無を設定します。	0:無し	1:有り		
3	放送ドア移報	未使用	0	1		
4	警報音種別	各警報音を各擬音+音声（部屋番号+警報内容）で鳴動させるか、擬音『トゥーン』のみにするかを設定します。	1:擬音+音声	0:擬音『トゥーン』のみ		
5	警報自動停止	管理事務室親機の警報音鳴動から5分以上停止操作が行われない場合、自動的に警報音を停止させるか、させないかを設定します。	0:自動停止無し	1:自動停止有り		
6-1	RS-232C	接続	RS-232Cの通信方式の設定で、プリンタ・通報機・ACK/NAK接続のいずれかを選択します。	0:未接続 1:プリンタ 2:通報機 3:ACK/NAK接続		
6-2		スピード	RS-232C通信の通信スピードを設定します。	4:9600bps 1:1200bps 2:2400bps 3:4800bps		
6-3		セキュリティ	RS-232Cからセキュリティ情報を出力させるか、させないかを設定します。	1:出力有り 0:出力無し		
6-4		在/不在	未使用	0	1	
6-5		着信	RS-232Cから管理事務室親機の着信情報を出力させるか、させないかを設定します。	0:出力無し 1:出力有り		
7-1	表示メモリ	火災	火災警報の通知を管理事務室親機に音声、表示及びRS-232Cで出力させるか、させないかを設定します。	1:出力有り 0:出力無し		
7-2		火災確認	火災確認警報の通知を管理事務室親機に音声、表示及びRS-232Cで出力させるか、させないかを設定します。	1:出力有り 0:出力無し		
7-3		ガス	ガス漏れ警報の通知を管理事務室親機に音声、表示及びRS-232Cで出力させるか、させないかを設定します。	1:出力有り 0:出力無し		
7-4		換気	不完全燃焼警報の通知を管理事務室親機に音声、表示及びRS-232Cで出力させるか、させないかを設定します。	1:出力有り 0:出力無し		
7-5		非常	非常警報の通知を管理事務室親機に音声、表示及びRS-232Cで出力させるか、させないかを設定します。	1:出力有り 0:出力無し		
7-6		防犯	防犯警報の通知を管理事務室親機に音声、表示及びRS-232Cで出力させるか、させないかを設定します。	1:出力有り 0:出力無し		

番号	設定項目	設定内容	初期値 (出荷時状態)	設定記入欄	プログラム 指定確認欄
7-7	表示メモリ	水漏れ	水漏れ警報の通知を管理事務室親機に音声、表示及びRS-232Cで出力させるか、させないかを設定します。	1:出力有り 0:出力無し	
7-8		緊急	緊急・バスコール・トイレコール警報の通知を管理事務室親機に音声、表示及びRS-232Cで出力させるか、させないかを設定します。	1:出力有り 0:出力無し	
7-9		生活	未使用	1 0	
7-10		生活T	未使用	1 0	
7-11		機器	未使用	1 0	
7-12		断線	火災感知器およびガス漏れ検知機の断線警報の通知を管理事務室親機に音声、表示及びRS-232Cで出力させるか、させないかを設定します。	1:出力有り 0:出力無し	
7-13	予備	未使用	1: 0:		
8-1	接点	火災	火災警報をどの接点に出力するか設定します。 ※1	1:接点1 2:接点2 3:接点3 4:接点4 5:接点5 6:接点6	
8-2		ガス	ガス漏れ警報をどの接点に出力するか設定します。 ※1	1:接点1 2:接点2 3:接点3 4:接点4 5:接点5 6:接点6	
8-3		換気	不完全燃焼警報をどの接点に出力するか設定します。 ※1	設定無し 1:接点1 2:接点2 3:接点3 4:接点4 5:接点5 6:接点6	
8-4		非常	非常警報をどの接点に出力するか設定します。 ※1	3:接点3 1:接点1 2:接点2 4:接点4 5:接点5 6:接点6	
8-5		防犯	防犯警報をどの接点に出力するか設定します。(防犯1、2を含む) ※1	設定無し 1:接点1 2:接点2 3:接点3 4:接点4 5:接点5 6:接点6	

番号	設定項目	設定内容	初期値 (出荷時状態)	設定記入欄	プログラム 指定確認欄	
8-6	接 点	水漏れ警報をどの接点に出力するか設定します。 ※1	設定無し	1:接点1 2:接点2 3:接点3 4:接点4 5:接点5 6:接点6		
8-7		緊急警報をどの接点に出力するか設定します。 ※1	設定無し	1:接点1 2:接点2 3:接点3 4:接点4 5:接点5 6:接点6		
8-8		生活	未使用 ※1	設定無し	1, 2, 3, 4, 5, 6	
8-9		生活T	未使用 ※1	設定無し	1, 2, 3, 4, 5, 6	
8-10		機器	未使用 ※1	設定無し	1, 2, 3, 4, 5, 6	
8-11		断線	火災感知器およびガス漏れ検知器の断線警報をどの接点に出力するか設定します。 ※1	設定無し	1:接点1 2:接点2 3:接点3 4:接点4 5:接点5 6:接点6	
8-12		予備	未使用	設定無し		
9	表示位置設定	未使用	設定無し			

※1 接点出力には各警報を1つまたは複数（最大6ヵ所）の接点に割り振れ、1つの接点に複数の警報を割り当てる事も可能。また、移報接点は管理事務室親機の復旧動作に連動して復旧します。

(3) 音量、およびLCDコントラスト設定手順

①スピーカ音量の設定

通話中以外のオンフック中に音量ボタン押下でスピーカ音量が変化します。この時、着信音が鳴動しスピーカ音量が変化したことを知らせます。(スピーカ音量は4段階切替で初期状態は下から2番目になっています。また、スピーカ音量を変化させるとその音量は記憶され次回以降は変更されたスピーカ音量で鳴動します。)

②受話音量の設定

通話中に音量ボタン押下で受話音量が変化します。(受話音量は4段階切替で初期状態は下から2番目になっています。また、受話音量を変化させるとその音量は記憶され次回以降は変更された受話音量になります。)

③LCDコントラストの設定

オンフック中に \square ボタン押下後、音量ボタン押下でLCDのコントラストを変更できます。(LCDコントラスト設定モードは他のボタン操作、通話、または無操作10秒により、設定モードを抜けます。)

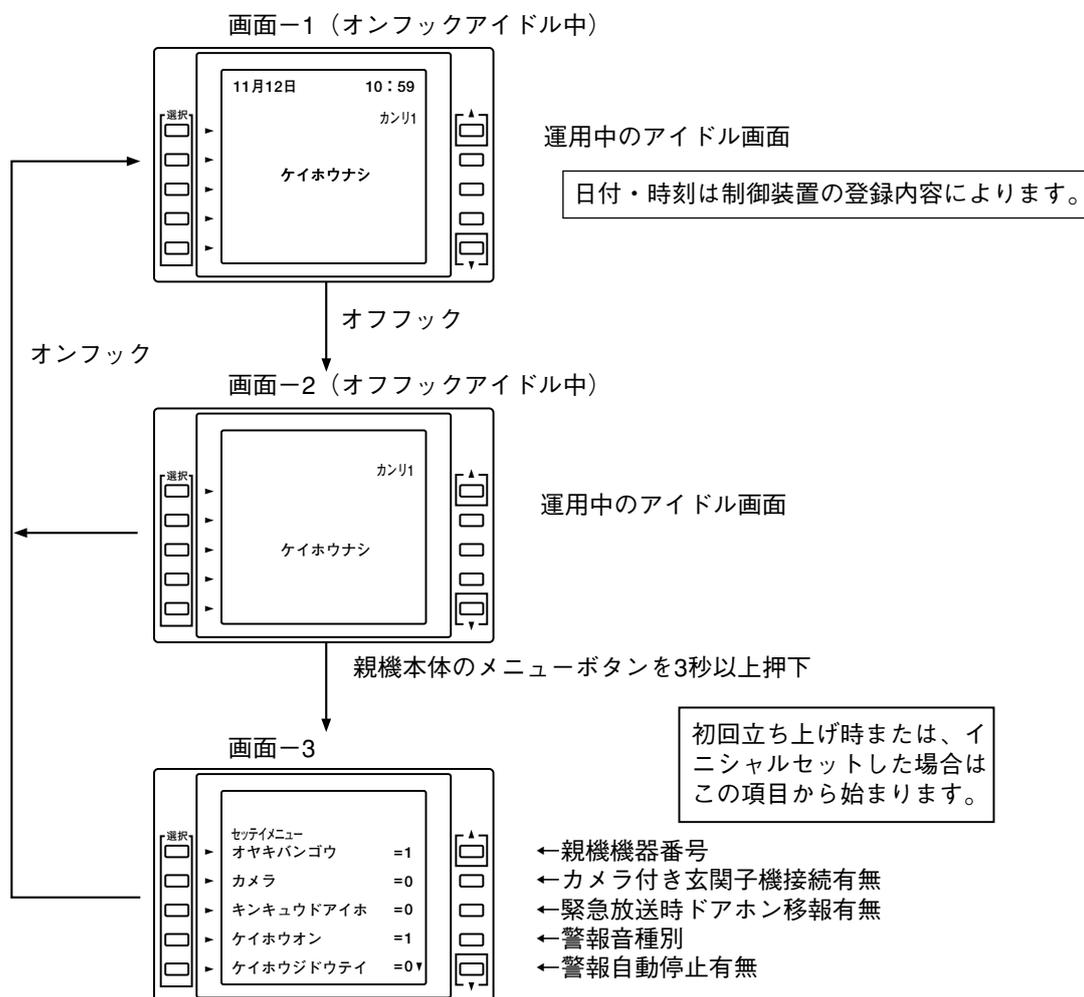
動作設定一覧

設定項目	出荷時設定	特記事項
ミュート	OFF	ミュートボタン押下(ミュートLED点灯)で警報音ミュート ※1
スピーカ音量	初期値	通話中以外の音量ボタン操作で変更(初期値2/4)
受話音量	初期値	通話中の音量ボタン操作で変更(初期値2/4)
LCDコントラスト	初期値	オンフック中 \square 押下後の音量ボタンで変更(初期値8/15)

※1 着信音はミュートされません

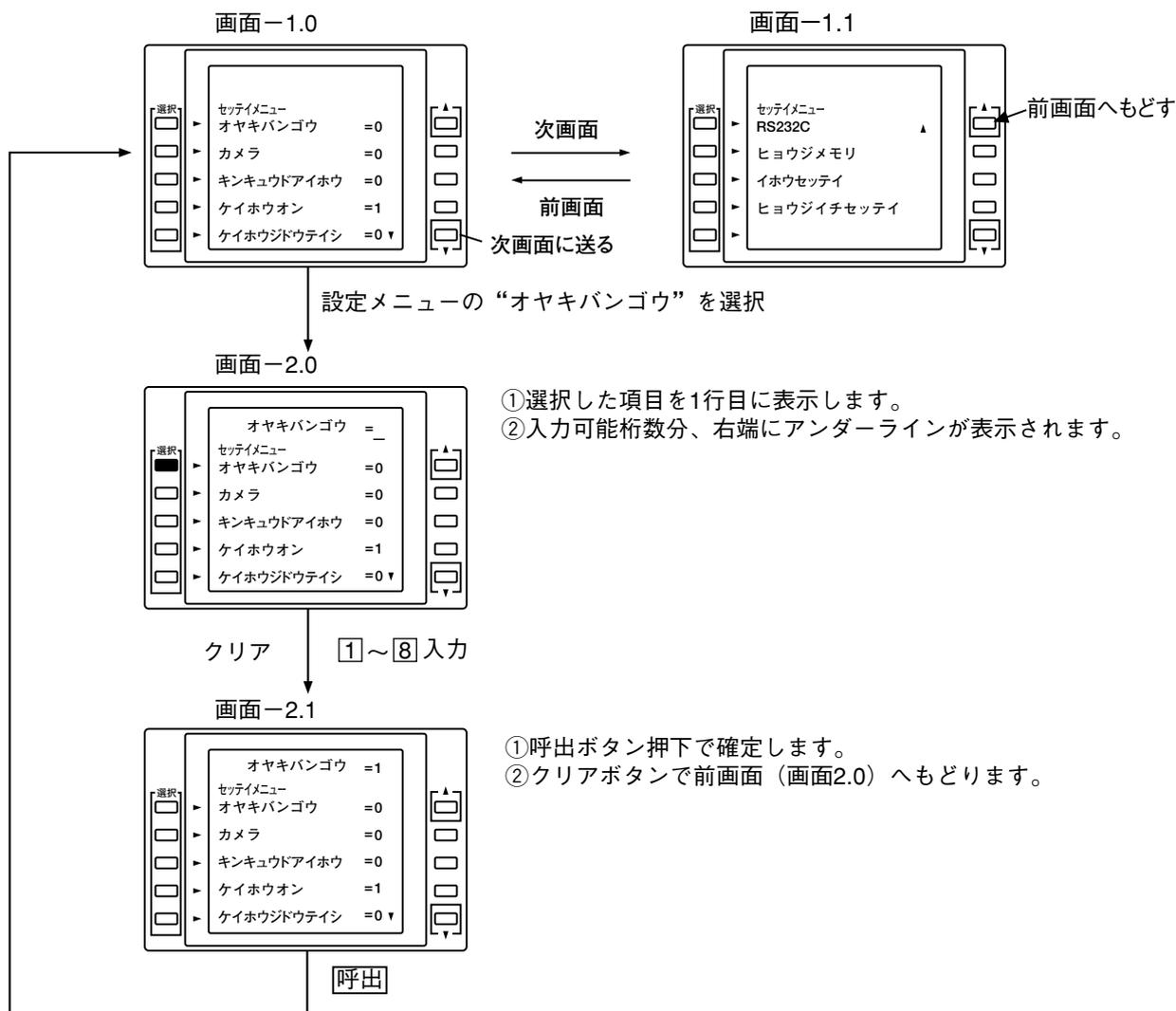
(4) 設定メニュー操作説明

(4-1) 工事設定メニュー呼出操作



- ①LCD1行目は設定項目ガイダンス表示および入力用です。
- ②LCD2行目は状態を表示「セッテイメニュー」を表示します。
- ③各メニュー項目の“=”の左側には設定項目が表示され、右側には現在の設定値が表示されます。
- ④メニュー項目の選択はLCD左側の選択ボタンにより行います。
- ⑤メニュー項目の改ページはLCD右側の改ページキーにより行います。
(改ページが可能な画面ではLCDの右側に“▲”“▼”が表示されます)
- ⑥設定値に規定値以外の数値を入力しても入力を受け付けません。(設定値は変化しません)

(4-2) 管理事務室親機の機器番号設定メニュー



- ・ オフフック中は時刻表示部（1行目）を表示しません。
 - ・ 同一の制御装置内で重複すると誤動作の原因となります。
 - ・ 呼出を押下する前にオンフックした場合は設定変更されないでアイドル画面（画面-1）へもどります。
- ※カメラ・キンキュウドアイホウ・ケイホウオン・ケイホウジドウテイシの設定も上記と同様に設定します。

(4-3) RS-232C設定

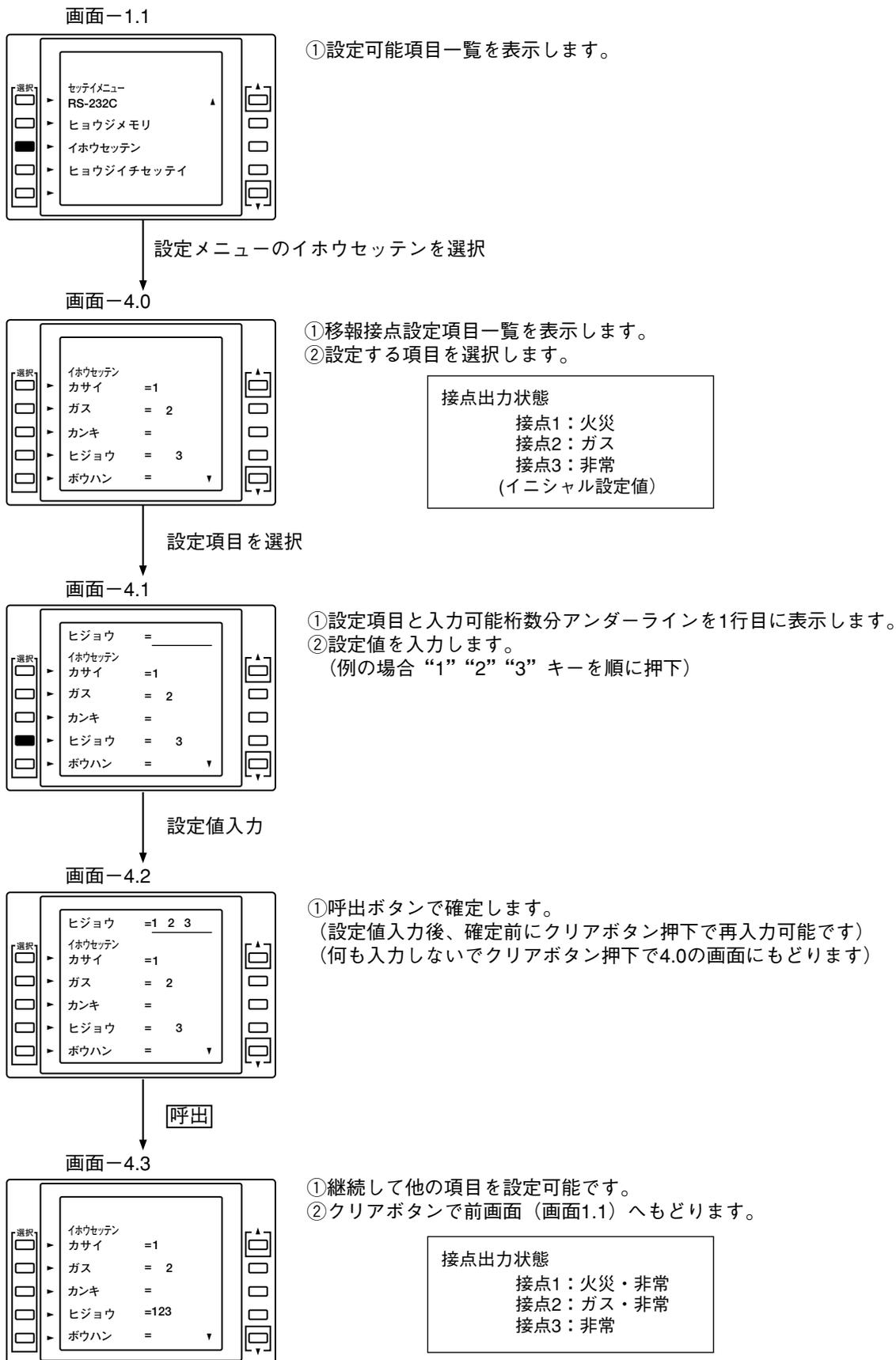
(例) RS-232Cの通信速度を「4」(9600bps) から「3」(4800bps) にする場合。



(4-4) 移報接点設定

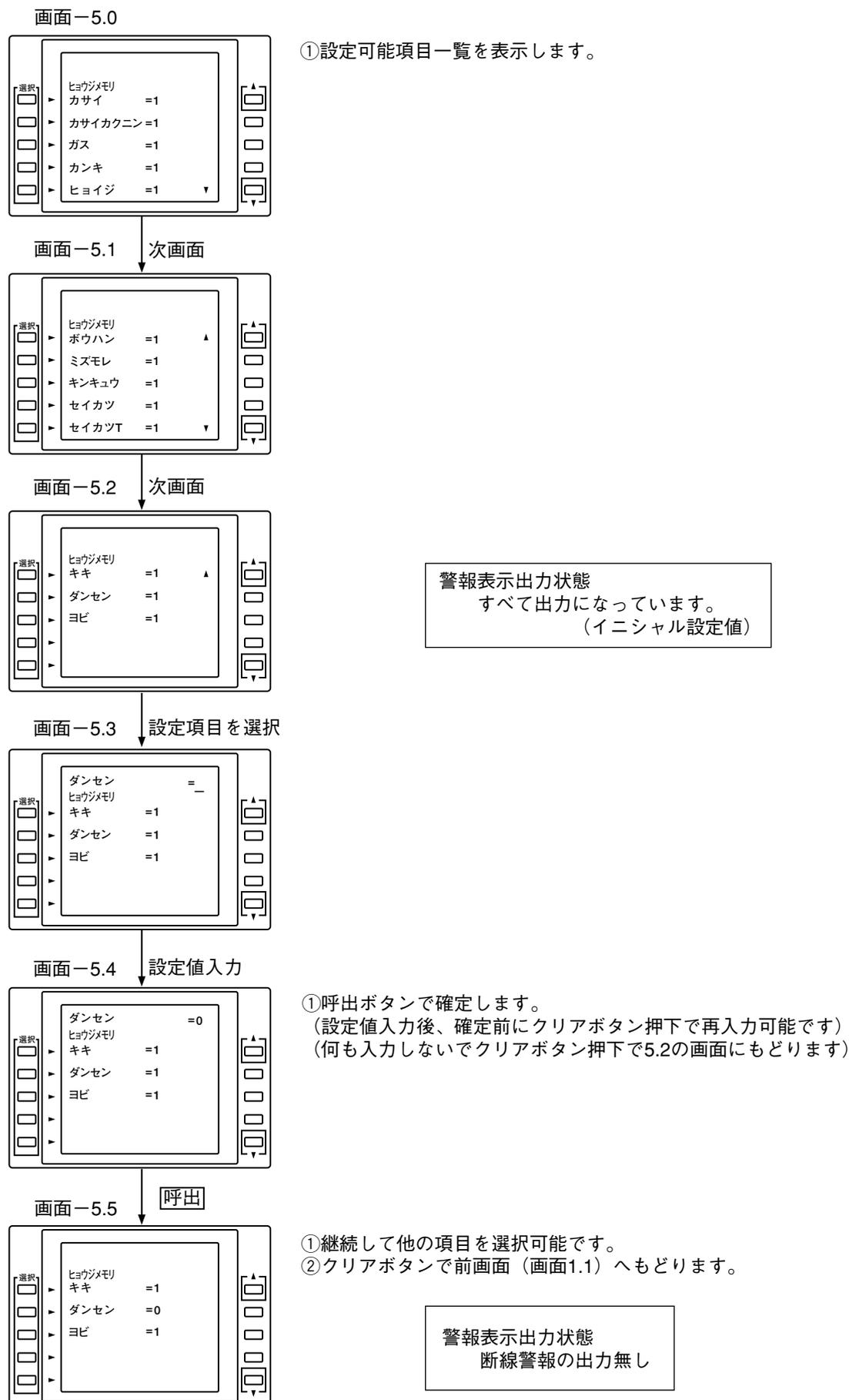
警報種別ごとに移報出力する接点を設定します。

(例) 非常の移報接点を接点1, 2, 3の全てから出力する場合。



(4-5) 表示メモリ

警報表示する項目を設定します。表示メモリを出力有り (1) にする事で該当項目に対して警報表示、警報音鳴動及びRS-232C出力を行います。



7. エプソン製 (VP-700) プリンタへの接続方法

(1) エプソン製 (VP-700) プリンタとの接続方法

プリンタ (RS-232Cタイプのエプソン製VP-700) を接続すると警報内容をプリントアウトできます。

プリンタはエプソン製VP-700のみ接続可能

- ・エプソン製プリンタのシリアルインターフェースボードは不要です。

→プリンタVP-700側の設定も必要です。(次頁参照願います)

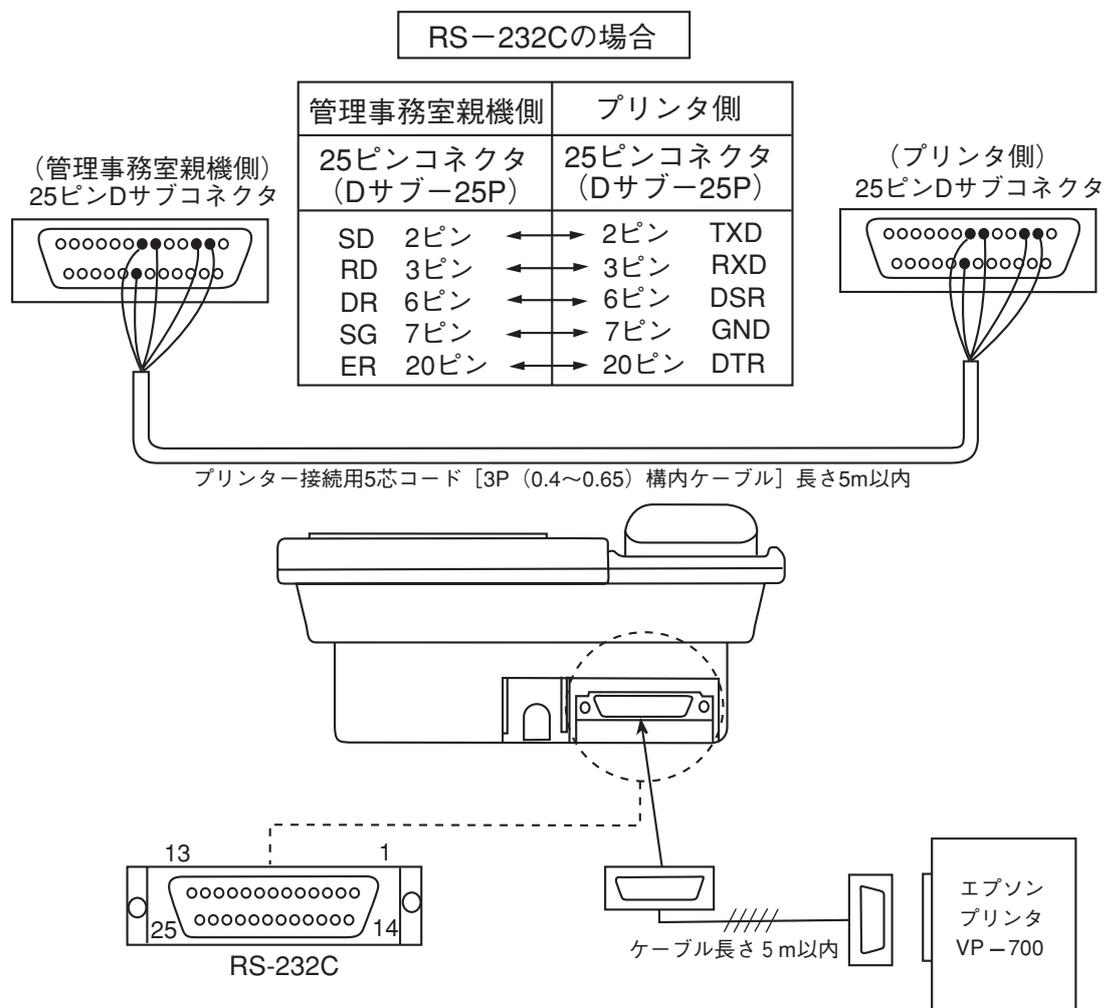
(詳細はプリンタに添付の説明書を参照)

(2) プリンタ接続ケーブルの作成

①下記の材料を必要とします。(別途手配)

- ・エプソン製プリンタ (VP-700) と管理事務室親機接続用5芯コード (長さ5m以内)
- ・25ピンコネクタ2個 (規格) 25P RS-232C で手配 (市販Dサブストレート・オス25P-オス25P)

②接続コードとコネクタの接続



(3) 設定およびプリントアウト内容

プリンタに出力する項目については管理事務室親機の設定メニューをご覧ください。(61～63頁、68頁)

プリンタ (VP-700) 側の設定

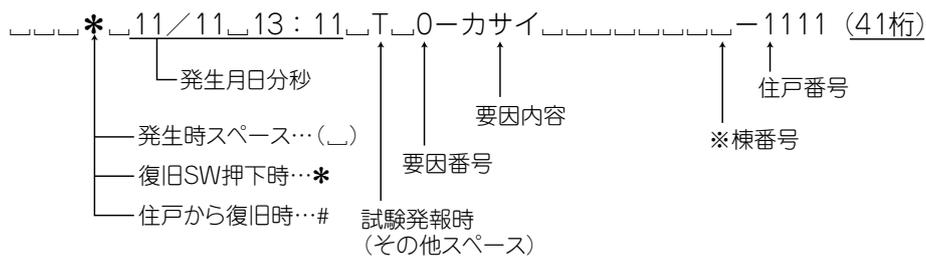
プリンタに添付の説明書を参照。
設定項目の8、12、13、15、16を変更してください。

プリントアウト内容

(プリセットスイッチのセキュリティ警報出力と対応)
・プリンタ (VP-700) を接続すると、警報内容をプリントアウトできます。

- 表示内容 ①発生月日時刻、異常内容、住戸番号
②復旧月日時刻、異常内容、住戸番号
(復旧ボタンを押した時/異常が復旧した時)
③停電/停電復旧時刻

表示例



設定項目	設定内容	
	初期値 (出荷時)	設定方法
1.文字コード表	カタカナコード表	初期値のまま
2.文字品位	高品位	
3.連続紙のページ長	11インチ	
4.ミシン目スキップ	OFF	
5.自動ティアオフ	OFF	
6.自動改行	OFF	
7.印字方向	双方向	
8.ESC/Pスーパー	OFF	ON ←
9.ゼロスラッシュ	OFF	初期値のまま
10.インターフェイス (I/F)	自動選択	
11.I/F固定解除時間	10秒	
12.ボーレート	19200	9600 ←
13.パリティ	なし	偶数 ←
14.データ長	8ビット	初期値のまま
15.双方向通信	ON	OFF ←
16.パケット通信	自動	OFF ←
17.手差し待ち時間	1.5秒	初期値のまま
18.ブザー鳴動	ON	

※全棟指定の場合は空きスペースとなります。

・警報の種類により、要因番号と要因内容の表示が変わります。

要因内容	印字要因番号・内容
火災	0-カサイ
ガスもれ	1-ガスモレ
ガス断線	2-ガスダン
非常	3-ヒジョウ
防犯1	4-ボウハン1
防犯2	5-ボウハン2
バス	6-バス
トイレ	7-トイレ
水もれ	8-ミズモレ

要因内容	印字要因番号・内容
フロ	9-フロ
火災断線	A-カサイダン
火災確認	10-カサイカクニン
換気	11-カンキ
窓開閉1	B-カイヘイ1
窓開閉2	C-カイヘイ2
復旧操作	FO-フッキウソウサ
停電	FF-テイデン
緊急	50-キンキュウ
ペンダント	51-ペンダント
電池	52-Pデンチ
生活異常	53-セイカツイジョウ
生活異常トイレ	54-セイカツトイレ
ユニット故障	55-ユニットコショウ

上記表に該当しない場合は、要因番号のみを印字する。

※バス、トイレは管理事務室親機では緊急LEDが点灯します。

7. 変換器 VG-R300DA

※変換器のLEDの動作については104頁を参照してください。

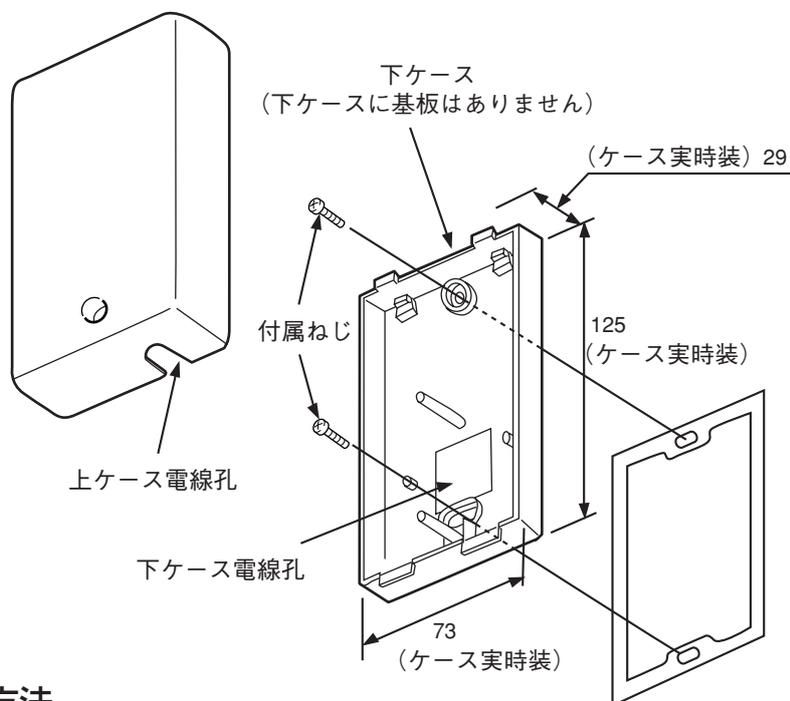
1. 変換器の取付方法

① JIS1コ用スイッチボックスに取付の場合

- 1) 付属ネジで下ケースを1コ用スイッチボックスに取り付ける。(図参照)
- 2) ケーブルを下ケース電線用孔より入線、基板に接続する。
- 3) 上ケースを下ケースにねじ止め固定する。

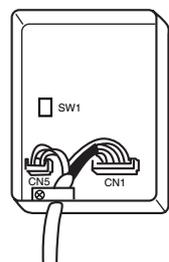
② 壁（柱）に直接取付の場合

- 1) 下ケースを壁に取り付ける。
- 2) 上ケース電線孔の目かくしシールをはがす。
- 3) ケーブルをケーブル固定部に通して、基板に接続する。
- 4) 上ケース電線用孔よりケーブルを出して上ケースを下ケースにねじ止め固定する。

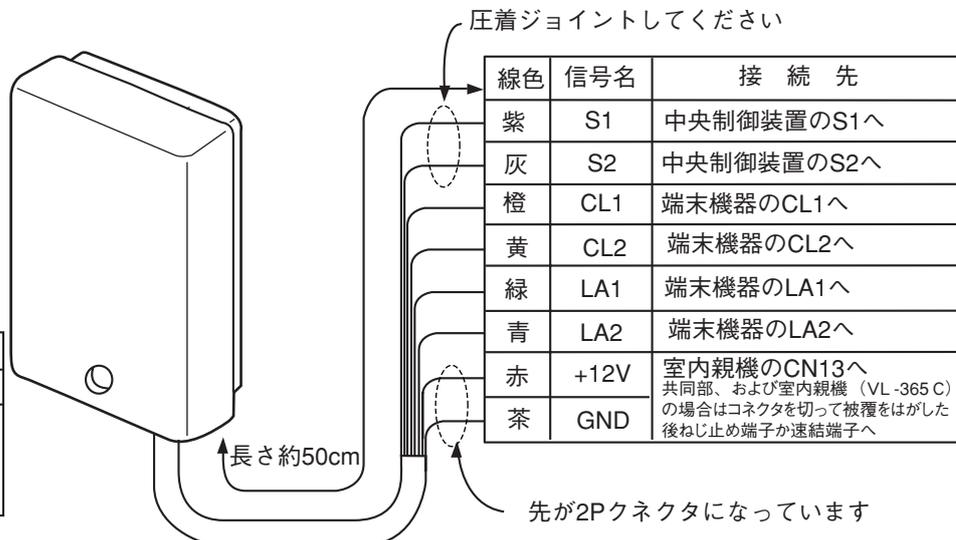


2. 変換器の接続方法

付属コードの取付方法



接続先	SW1
室内親機	住戸側
管理事務室親機 外線アダプター 共同玄関子機 各種アダプター	共用部側



8. カラーモニター室内親機 VG-M376D・VG-M377D・拡張アダプター VG-J608D・集住回線転送アダプター VG-J609D

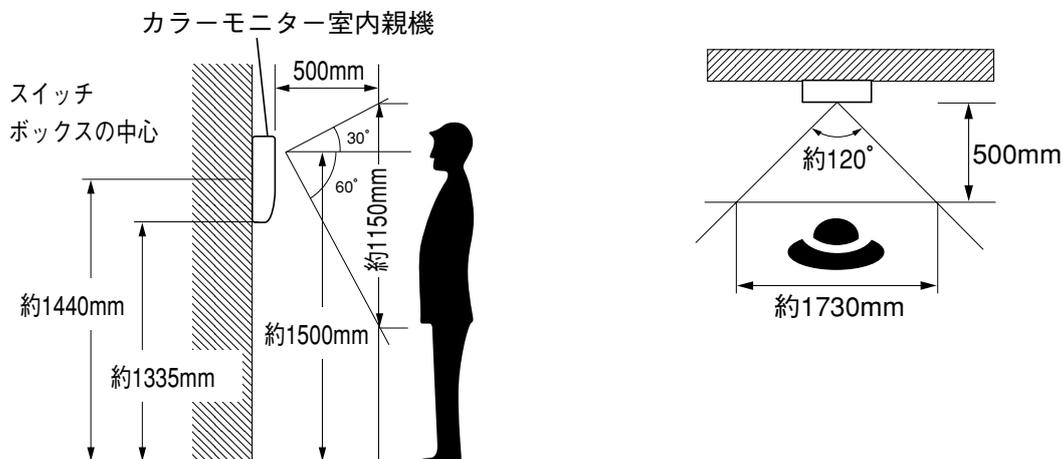
1. 室内親機と周辺機器の種類

品名	品番	備考
カラーモニター室内親機	VG-M376D VG-M377D	室内親機に工事説明書は添付されていません。本工事説明書に従い配線工事をしてください。
上記以外の室内親機	VL-M367FA VG-M369FA他	室内親機に添付の工事説明書に従い、配線工事をしてください。
拡張アダプター 集住回線転送アダプター	VG-J608D VG-J609D	各アダプターに工事説明書は添付されていません。本工事説明書に従い配線工事をしてください。

2. カラーモニター室内親機の取付位置

モニター画面の中心が、ご使用になる方の目の高さに設置してください。

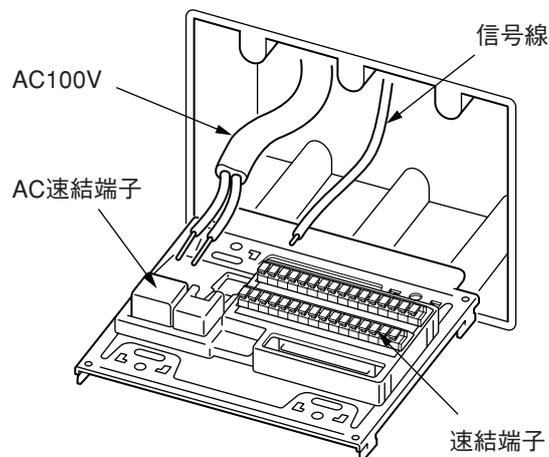
(例) 取り付け高さ：床面から約1500mmのところを画面の中心がくるように設置する場合。



3. カラーモニター室内親機の取付方法

※カラーモニター室内親機は壁掛取付です。

- ① AC速結端子にAC100Vを差し込む
- ② 速結端子に信号線を差し込む



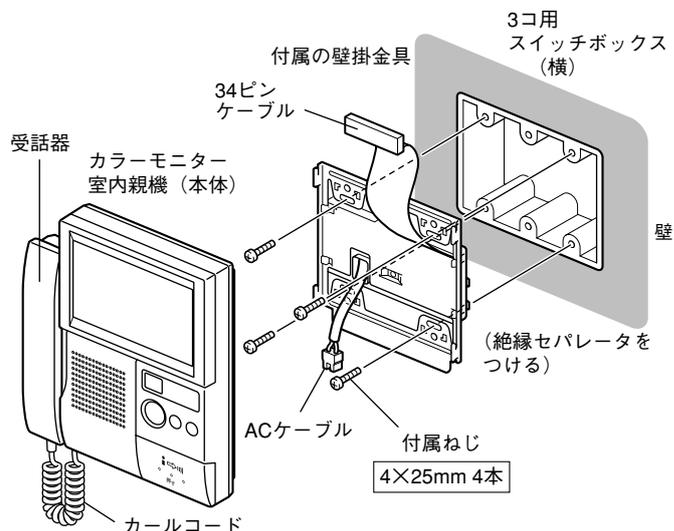
③ 壁掛金具を3コ用スイッチボックスに取り付ける

- 1) 添付のネジで壁掛金具をスイッチボックスに取り付けます。(ネジ止め4ヶ所)

④ 本体を壁掛金具に取り付ける

- 1) 壁掛金具からの34ピンケーブルを本体のCN11に差し込む。(カチッと音がするまでしっかりと差す)
- 2) 壁掛金具からのACケーブルを本体のCN10に差し込む。(深く差し込み受け爪をとじる)
- 3) 本体を壁掛金具にひっかけ下に押し込む。(その際、配線材を本体と取付金具の間にはさまないようにする)

⑤ 同梱のカールコードを受話器と本体のモジュラーコネクタに差し込む



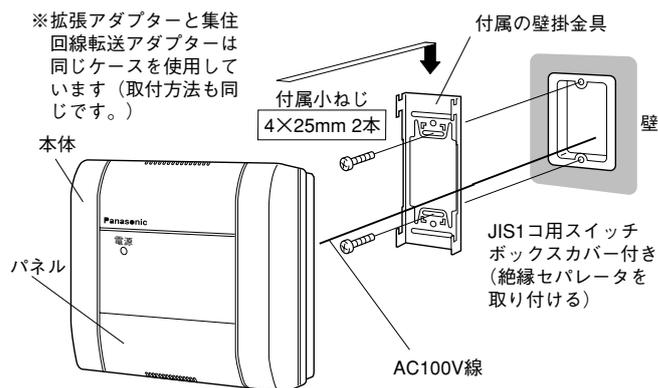
4. 拡張アダプター、集住回線転送アダプターの取付方法

① 壁掛金具を1コ用スイッチボックスに取り付ける

- 1) 添付のネジで壁掛金具をスイッチボックスに取り付ける。(ネジ止め2ヶ所)

② 本体を壁掛金具に取り付ける

- 1) 本体裏面のACコードクランプのネジをはずす。
- 2) AC端子をゆるめ、電源線を接続する。
- 3) 本体を壁掛金具にひっかけ、下に押し込む。(その際、配線材を本体と取付金具の間にはさまないようにする)



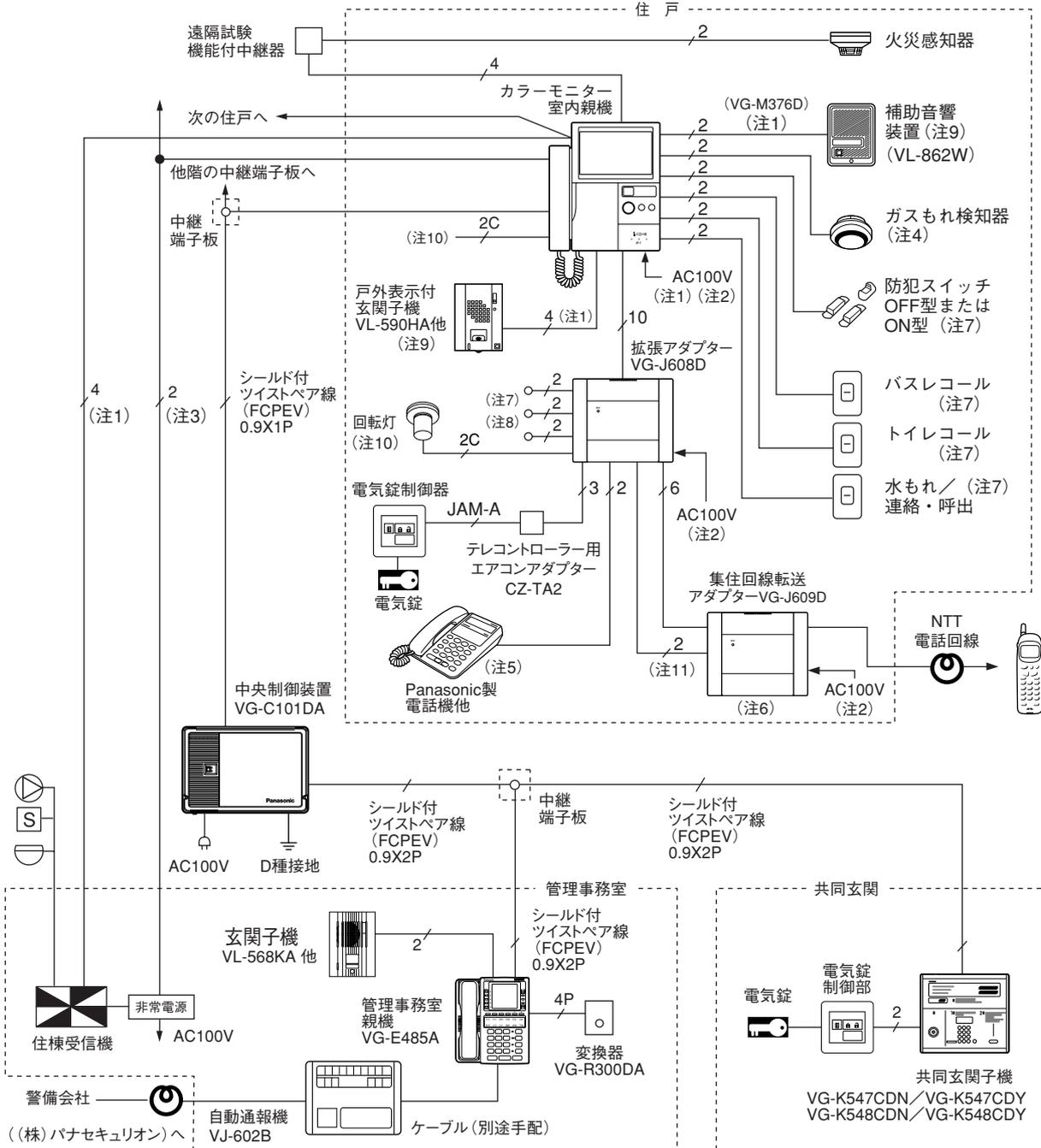
5. カラーモニター室内親機と周辺機器・各種センサー等の接続方法

① 配線系統図

(例) 消防予第220号通知共同住宅用自動火災報知設備で使用する場合

住戸部：カラーモニター室内親機、拡張アダプター、集住回線転送アダプター、戸外表示付玄関子機接続

共用部：中央制御装置、管理事務室親機、共同玄関子機接続



(注1) 消防法で設置を義務付けられた住宅の場合は、この間の配線は耐熱保護配線工事となります。

(注2) 消防法で設置を義務付けられた住宅の場合の電源は、専用ブレーカーを設けて接続してください。

(注3) 消防法で設置を義務付けられた住宅の場合の電源は、この間の配線は耐火保護配線工事となります。

(注4) ガスもれ検知器は有電圧出力タイプを接続してください。

(注5) 単独電話機または、副親機 (VL-397MC/397MA2C) を1台接続できます。(両方同時接続はできません)

- (注6) 拡張アダプターが接続されていない場合、集住回線転送アダプター (VG-J609D) をカラーモニター室内親機に直接つなげてください。
- (注7) 接続センサーの種別、入力仕様 (メイク、ブレイク)、動作仕様 (センサー連動、室内親機保持) は設定によって任意に変更できます。
- (注8) 接続センサーが3ポイント増設できます。
- (注9) カラーモニター室内親機がVG-M377Dの場合、補助音響装置は接続できません。また戸外表示付玄関子機はVG-D551HA (カラーカメラ付戸外表示付玄関子機) となり、配線が6本となります。
- (注10) 接点を出力しますが、直接ACの入/切はできません。(出力メイクまたは出力ブレイク)
- (注11) 拡張アダプターに単独電話機を接続する場合に配線が必要です。
- ・管理事務室親機、共同玄関子機は中継端子板で分岐配線をしてください。
 - ・管理事務室親機、共同玄関子機は複数設置できます。
 - ・中央制御装置との配線条件については19～27頁を参照してください。
 - ・共同玄関の電気錠については、電気錠メーカーにお問い合わせください。

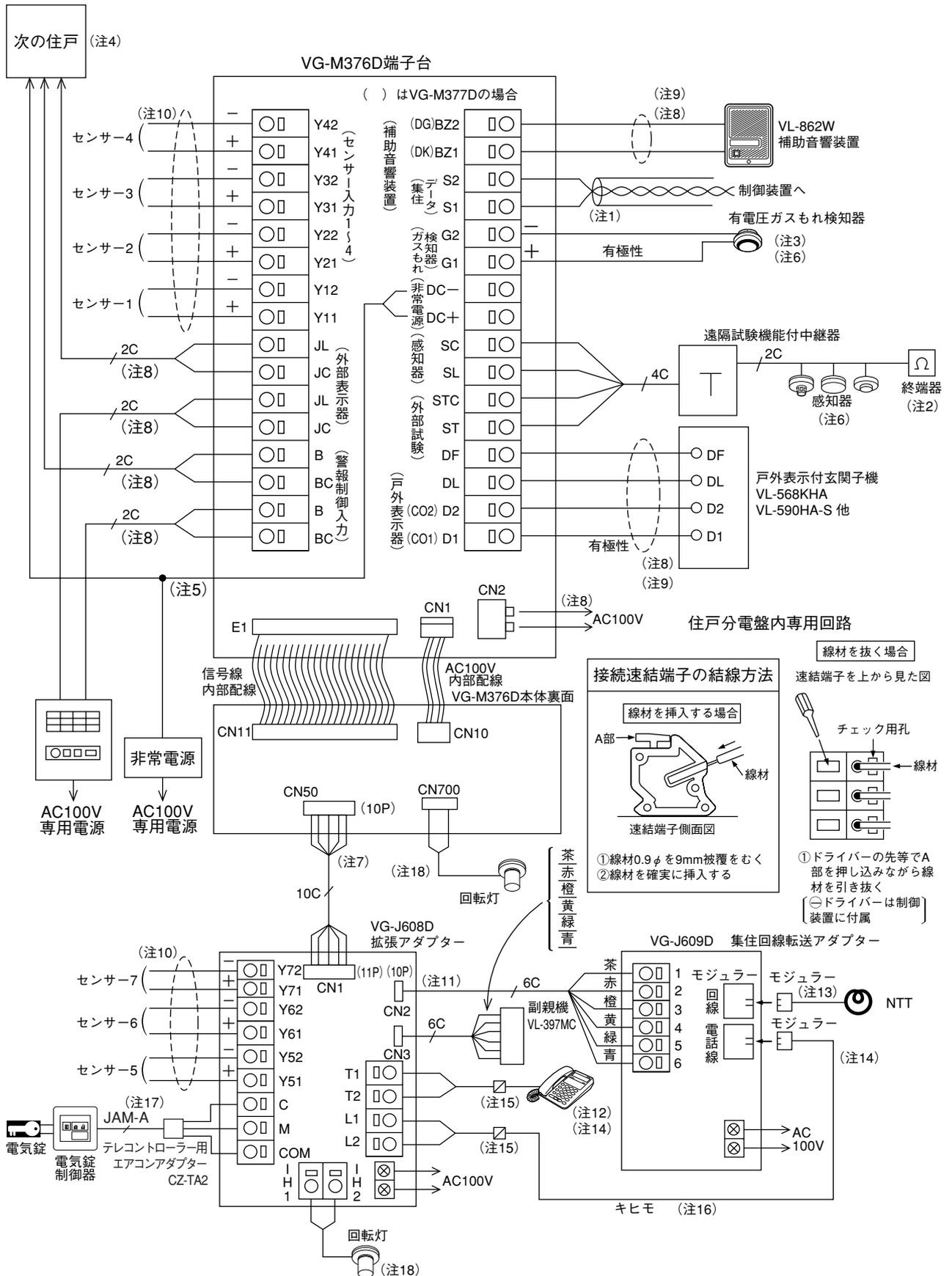
電気錠K1、K2 A接点定格
〔一定時間メイクしています〕

定格負荷	AC100V DC24V 2A
最小適用負荷	DC5V 10mA

② 配線接続図

お願い

- ・火報メーカーにより住棟受信機、遠隔試験中継器、感知器、終端器が異なります。また、接続方法、配線本数も異なる場合がありますので、あらかじめご確認ください。
- ・接続可能な各種センサー等はあらかじめ仕様書を確認の上、接続してください。
- ・許容配線距離は端子ごとに異なります。あらかじめ仕様書を確認してください。



- (注1) 19～27頁を参照してください。またドレイン線は切断し、他の配線とショートしないように処理してください。
- (注2) ・本体の感知器接続端子 (SL/SC) に接続された終端器 (終端抵抗：断線警報用) は遠隔試験機能付中継器を経由して感知器を接続しない場合は、はずさないこと。
 ・感知器を接続する場合は、SL/SC端子の終端器をはずし、前頁の図の様にSL/SCラインのいちばん終端に接続してください。(感知器によっては本機に付属の終端器を使用せずに、感知器または中継器に付属の終端器を使用する場合があります。詳細は火報メーカーの工事説明書を参照してください)
- (注3) ガスもれ検知器は有電圧タイプのみ使用可能です。
- (注4) 外部表示器配線 (JL/JC)、警報制御入力 (B/BC) は本機で送り配線としてください。また非常電源は送り配線とせずに、分岐配線としてください。
- (注5) 耐火配線 (幹線1.6φ、室内親機への引き込み0.9φ)
- (注6) 適用センサーは仕様書等で十分確認してから接続してください。
- (注7) VG-J608Dに付属のケーブル (①10極・10芯・250mm、②11極・10芯・250mm) を使用してVG-M376Dと接続します。付属ケーブルの①をVG-M376DのCN50に挿入し、付属ケーブル②をVG-J608DのCN1に挿入します。両ケーブルは、延長ケーブル等で圧着して接続します。
- (注8) 耐熱電線
- (注9) カラーモニター室内親機がVG-M377Dのとき、補助音響装置は接続できません。戸外表示付玄関子機もカラーカメラ付 (VG-D551HA-K) となります。
 配線端子名もD1→CO1, D2→CO2, BZ1→DK, BZ2→DGと変わります。VG-D551HA-Kの対応する端子と接続してください。
- (注10) 接続するセンサー種別、入力仕様 (メイク、ブレイク)、動作仕様 (室内親機または拡張アダプターで保持、センサー連動) を設定で任意に変更できます。
 初期設定値は下表の通りです。

品名	センサー名	センサー種別	入力仕様	動作仕様
カラーモニター 室内親機	センサー1	防犯1	ブレイク	室内親機保持
	センサー2	トイレコール	メイク	室内親機保持
	センサー3	バスコール	メイク	室内親機保持
	センサー4	水漏れ	インピーダンス	センサー連動
拡張アダプター	センサー5	未使用	—	—
	センサー6	未使用	—	—
	センサー7	未使用	—	—

また、LED付のスイッチや、サイリスタ内蔵のスイッチを使用する場合はY□1側が+側となります。
 (センサー4にLED付きあるいはサイリスタ式のスイッチは接続できません。)

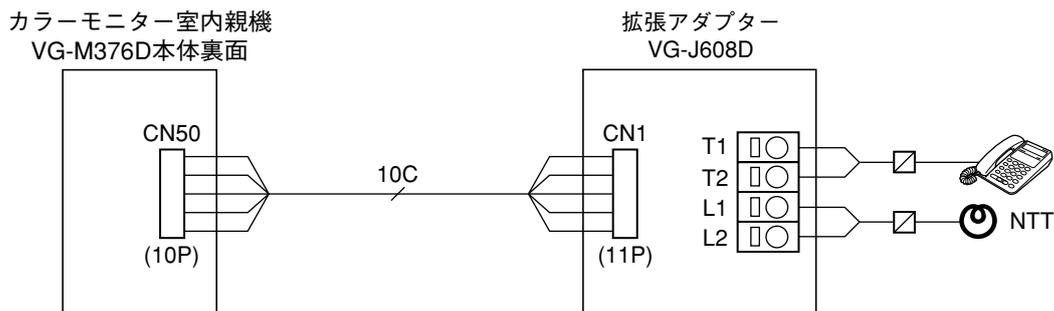
- (注11) VG-J609Dに付属のケーブル (10極・6芯・250mm) を使用してVG-J608Dと接続します。付属ケーブルのコネクタ側をVG-J608DのCN2へ挿入し、反対側を延長ケーブルと圧着接続してVG-J609Dの速結端子に接続します。
- (注12) Panasonic製の電話機、FAXをお使いください。
- (注13) ご契約いただく回線の条件がありますので、VG-J609Dの取扱説明書中の「ご使用にあたってのお願いとお知らせ」をお読みください。構内交換機には接続できません。
- (注14) VG-J608Dとともに接続される場合、電話機はVG-J608Dに接続してください。(VG-J608Dがないシステムの場合のみ、VG-J609Dに電話機を接続してください)

- (注15) ジョイント部にはML-3800-2（サトーパーツ製）を現地にて調達してください。購入先が不明のときは弊社SEにおたずねください。
- (注16) 2極キヒモVG-J609Dに付属
- (注17) JEM-A対応機器と接続。松下電器産業エアコン社製テレコントローラー用エアコンアダプター（CZ-TA2）が必要です。
- (注18) CN700の出力はメイクとブレイクが別になっています。（メイク-COM-ブレイク）直接ACの入／切はできません。（拡張アダプターの場合はメイクのみ）

定格負荷	DC24V 0.5A
最小適用負荷	DC5V 1mA

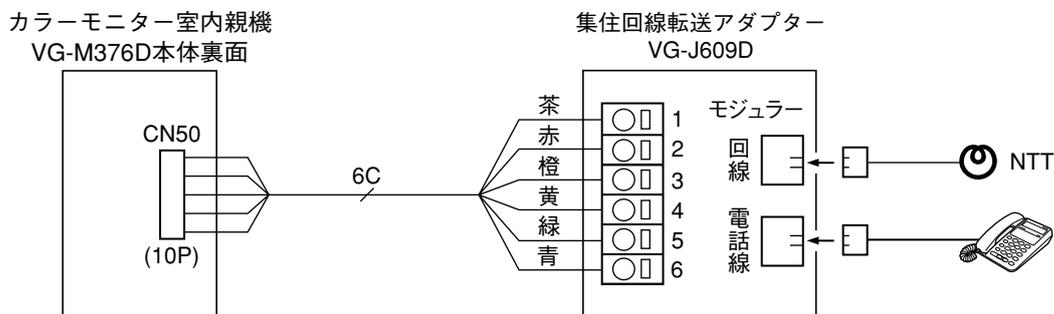
(拡張アダプターのみ接続の場合)

※他の接続は省略



(集住回線転送アダプターのみ接続の場合)

※他の接続は省略



③ 周辺接続機器について

品 名		品 番	接続台数	備 考
熱感知器	定温式スポット型	DFL-TA65RLV DFL-TW65RLV DFM-TA65ULV DEF-TW65ULV	16	ホーチキ（株）製
		FDL926-GW-65型	8	能美防災（株）製
		TCF-65-L TCF-65-LW TCF1-65-LW	8	ニッタン（株）製
		BGH40108 BGH4060 BGH40602	8	松下電工（株）製
	差動式スポット型	DSE-2RLV DSF-2ULV DSG-2RLV	16	ホーチキ（株）製
		FDP227-G型	8	能美防災（株）製
		2SF1-L	8	ニッタン（株）製
		BGH42208	8	松下電工（株）製
	補償式スポット型	2HF-L 2HF1-L	8	ニッタン（株）製
	煙感知器	光電式スポット型	FDK240-G型	8
2KK			8	ニッタン（株）製
ガスマれ検知器	有電圧出力型	SH-13837K(ヘッド) SH5900（ベース）	1	松下電工（株）製
	不完全燃焼警報機能付	SH13437V	1	
		SC-800C	1	新コスモス（株）製
		YS-800C YS-711C	1	矢崎総業（株）製
防犯スイッチ	ON型	EK3851 EK3851A		松下電工（株）製
	OFF型	EK39 EK49 EK59他		

品 名		品 番	接続台数	備 考
コ ー ル ス イ ッ チ	ノンロック型	HB-50-P HB-60-P	1	神保電器（株）製 P：微小定格電流仕様 B：ロック型 L：作動表示灯付
	ロック型	HB-50B-P HB-60B-P	1	
	LED付ノンロック型	HB-50L-P HB-60L-P	1	
	LED付ロック型	HB-50LB-P HB-60LB-P	1	
	LED付自己保持型 (サイリスタ型)	HB-70L-DZ HBF-60L-DZ	1	
	ノンロック型	WS65311 WS65611	1	松下電工（株）製
	LED付ロック型	WS66412 WS66712 WS66772	1	
増設非常		WN4500 EK50 EK55 EK51 EK56	1	松下電工（株）製
		JEC-B-119K-P	1	神保電器（株）製
水漏れ検知器		PS-1R	3	住友スリーエム（株）製
		PS-2	6	
電力量センサー		BQX9511151 BQX9511161 BQX9511051 BQX9511061 BQX95111521 BQX95111621 BQX95110521 BQX95110621	1	松下電工（株）製 左記品番の過電流警報装置を組み込んだ住宅分電盤を手配してください。 BQKF105313P他 BQKS105313P他
		AU1L-A	1	日東工業（株）製
回転灯		KJS-110 KJSB-110 KJEC-110 SEF-110A SEFW-110A KES-110等	1	(株)パトライト製
メロディサイン		EC5237BP EC5227W(P) EC5237HP EC5117WKP EC5237WP EC5347	1	松下電工（株）製
光チャイム		EC170、EC170P	1	松下電工（株）製

品名		品番	接続台数	備考	
戸外表示器	玄関子機	VL-568KHA	1	露出	玄関子機に付属の取付工事説明書に従い、配線工事を行ってください。
		VL-568UHA	1	埋込	
		VL-593HA	1		
		VL-590HA	1		
		VL-590HA-S	1		
	中継器一体型	VG-D501HHA-T	1	露出	ホーチキ（株）製感知器対応
		VG-D502NHA-T	1	露出	能美防災（株）製感知器対応
		VG-D503THA-T	1	露出	ニッタン（株）製感知器対応
		VG-D511HHA	1	埋込	ホーチキ（株）製感知器対応
		VG-D512NHA	1	埋込	能美防災（株）製感知器対応
		VG-D513THA	1	埋込	ニッタン（株）製感知器対応
	カラーカメラ付き戸外表示	VG-D551HA-K	1	埋込	玄関子機に付属の取付工事説明書に従い、配線工事を行ってください。 ※VG-M377Dのみ接続可能
	補助音響装置	VL-862W	1	※VG-M376Dのみ接続可能	
遠隔試験機能付中継器	CHR-2「 」	1	ホーチキ（株）製		
	FRM014	1	能美防災（株）製		
	LPA1 LPB1	1	ニッタン（株）製		
	BGH9101	1	松下電工（株）製		
非常電源装置	FSE-24「 」H		ホーチキ（株）製		
	FYJ011-60 FYJ011-100		能美防災（株）製		
	ANK1-P「 」 EP1-「 」		ニッタン（株）製		
	BGH9000		松下電工（株）製		
住棟受信機	RPO-「 」 RPR-「 」 RPP-AAW「 」 RPP-ABW「 」 RPQ-AAW「 」 RPQ-ABW「 」	1	ホーチキ（株）製		
	FAP120A型 FCS120A型 FAP128A型 FCS128A型 FAP128S型 FCS128S型 FCR034SA型 FCRG034SA型 FCRG034MA型	1	能美防災（株）製		
	1PF2 1PK0 1PM1	1	ニッタン（株）製		
	BVJ15「 」 BVJ16「 」 BVJ13「 」 BVJ17「 」 BVJ18「 」 BVJ33「 」 BVJ34「 」	1	松下電工（株）製		

④ 許容配線抵抗について

線種		配線数	端子名	0.9φ	1.2φ	許容抵抗 ループ	備考
遠隔試験中継器 ～火災感知器	感知器	※1	※1	※1	※1	※1	遠隔試験機能付
本体（拡張アダプター） ～各センサ および機器	遠隔試験中継器 ※4	4	ST, STC SL, SC	※1	※1	※1	
	ガスもれ検知器 ※4	2	G1 G2	125m	/	10Ω	有電圧タイプのみ
	コールセンサー	8	Y11-Y12 Y21-Y22 Y31-Y32 Y41-Y42	250m	/	20Ω	
			Y51-Y52 Y61-Y62 Y71-Y72	250m	/	20Ω	拡張アダプター
	防犯スイッチ	2	上記 (設定による)	250m	/	100Ω	防犯スイッチの内部抵抗 (約1Ω/1個当り)含む ※3
	補助音響装置 (VL-862W) ※4	2	BZ1 BZ2	125m	/	10Ω	耐熱電線・1個のみ (VG-M376Dのみ)
	回転灯	2	CN700(3P) コネクタより	125m	/	10Ω	3Pコネクタ付属
			IH1 IH2	125m	/	10Ω	拡張アダプター
	水もれ ※4	2	Y41-Y42 (設定による)	250m	/	20Ω	
テレコントローラー用 エアコンアダプター CZ-TA2	3	C, M, COM	30m	/	3Ω	JEM-A 拡張アダプター	
本体 ～戸外表示付 玄関子機	戸外表示付 玄関子機 VL-590HA VL-568KHA他	4	D1 D2 DL DF	250m	/	20Ω	耐熱電線 ・取付ボックスは、大 型または中型四角アウト レットボックスH54深型
本体 ～戸外表示付 カラーカメラ 玄関子機	戸外表示付 カラーカメラ 玄関子機 VG-D551HA-K	6	CO1, CO2 DL, DF DG, DK	100m (0.65φ または 0.8φ)	/	10Ω	耐熱電線 ・取付ボックスは、JIS 3個用スイッチボックス (カバー付き)
本体 ～拡張アダプ ター ※2	拡張アダプター VG-J608D	10	CN50 (10P) コネクタより	5m	/	0.5Ω	拡張アダプターに10P コネクタ、11Pコネク タ付属
本体(拡張アダプター)～ 集住回線転送アダプター ※2	集住回線転送 アダプター	6	CN50 (10P) コネクタより	30m	/	3Ω	集住回線転送アダプタ ーに10Pコネクタ付属
本体 ～制御装置	制御装置	2	S1 S2	1000m (総延長)※5	/	/	FCPEV他
本体 ～住棟受信機	外部表示器	2	JL, JC JL, JC	/	※1	/	耐熱電線・送り配線
	警報制御入力	2	B, BC B, BC	/	※1	/	耐熱電線・送り配線
本体 ～非常電源	非常電源	2	DC+ DC-	/	※1	※1	耐火電線 (原則)

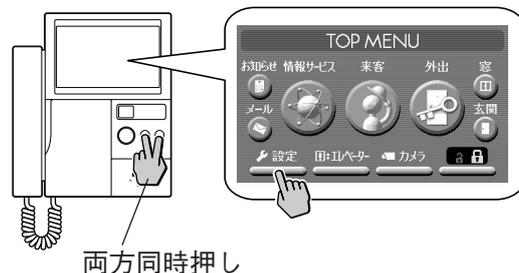
- ※1……●接続する火報メーカーの仕様により、配線数、端子名、許容抵抗等は異なります。
 - 遠隔試験中継器、感知器（遠隔試験機能付）、住棟受信機、非常電源は接続する火報メーカーに別途手配。
- ※2……●どちらか一方が接続される場合です。両方同時に接続する場合は、本体～拡張アダプター～集住回線転送アダプターと接続してください。
- ※3…
 - 許容抵抗値欄は〔防犯の端子〕として作動可能な許容抵抗を記載しています。
〔防犯の端子〕に接続の防犯スイッチの内部抵抗（約1Ω/1個）に接続個数を換算し、さらに接続線のループ抵抗を加えた抵抗値がループ100Ωになるようにしてください。
 - 防犯スイッチとして、防犯キースイッチ（EK-202、EK-203）は接続不可。
- ※4……●拡張アダプターには接続できません。
- ※5……●許容総延長および最大接続端末台数は配線条件により減ります。19～24頁を参照してください。

6. カラーモニター室内親機の工事設定について

カラーモニター室内親機の動作仕様や各センサーの入力仕様などを、カラーモニター室内親機のタッチパネルから入力します。

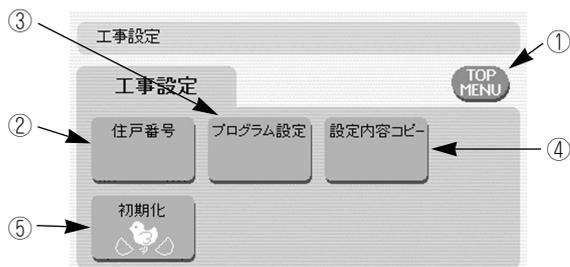
① 工事設定への入り方

- 1) 待ち受け時（右図のようなTOP MENU画面が表示されていない状態）で「画面表示ボタン」+「警報音停止ボタン」を同時に押しながら、さらに画面上の「設定」をタッチする。
- 2) 工事設定メニュー画面が表示されます。



※外出設定中は工事設定メニューへ入れません。

※セキュリティ発報中は工事設定メニューへは基本的に入れませんが、ガス断線のみが発報の場合に限り、工事設定メニューへ入ることができます。(ガスもれ検知器が接続されていない場合でガス断線警報を発報させないよう設定変更をするためです。) 工事設定変更後「TOP MENU」ボタン押下時は、待ち受け画面表示となります。



ボタン機能

	ボタン名	機 能	備 考
①	TOP MENU	トップメニュー画面にもどります	
②	住戸番号	住戸番号の登録を行います	
③	プログラム設定	詳細機能の設定を行います	
④	設定内容コピー	他の住戸で登録したプログラム設定の内容をコピーし、設定に反映させます	
⑤	初期化	出荷時設定にもどします	

※3分間画面に触れないときは自動的に工事設定を抜け、運用状態になります。

※セキュリティ発報中は、住戸番号ボタン、設定内容コピーボタン、初期化ボタンはタッチできません。また、プログラム設定ではプログラム番号61、62以外は設定変更できません。

② 住戸番号の登録

- 1) 工事設定メニュー画面内の住戸番号ボタンをタッチする。



- ・初期画面は登録されている住戸番号が画面中央部に表示されます。
- ・テンキーを押下することで入力された番号が画面中央部に表示されます。
- ・入力は最大桁数（4桁）までしか入力できません。
- ・取り消しは「クリア」ボタンにて行います。
- ・すでに番号が表示されている場合は「クリア」ボタンで番号を全てクリアしてから入力してください。

ボタン機能

	ボタン名	機 能	備 考
①	設定 MENU	工事設定メニュー画面にもどります	
②	クリア	入力の取り消しをします	入力した番号が全てクリアされます。
③	自動登録	住戸番号の自動登録を行います	
④	テンキー	3～4桁の住戸番号の入力を行います	101～9999の範囲で設定します。
⑤	OK	住戸番号が記憶されます	押下後、設定メニュー画面にもどります。

住戸番号の登録には2通りの方法があります。

- 1) 自動登録による方法（カラーモニター室内親機の設定と中央制御装置への登録）
 - i) テンキーで住戸番号を入力し、「自動登録」ボタンをタッチする。
 住戸番号登録完了時…本体スピーカーより「ピー」音が出力される。
 住戸番号重複時…本体スピーカーより「ブツブツ」音が出力される。
 通信エラー時…約6秒後に本体スピーカーより「ブツブツ」音が出力される。
 ※中央制御装置との配線が完了し、中央制御装置の電源が入った状態で行ってください。
 ※中央制御装置に設定された住戸番号を消去する場合は、住戸番号に「0000」を入力し、「自動登録」ボタンにタッチする。
 ※各親機の自動登録は10秒以上の間隔をあけてください。
- 2) 手動登録による方法（カラーモニター室内親機のみを設定）
 - i) 予め制御装置に住戸番号を登録しておく。
 - ii) テンキーで住戸番号を入力し、「OK」ボタンをタッチする。
 - iii) 工事設定を終了し、トップメニューに戻る。
 ※住戸番号変更後は必ず、トップメニューにもどるようにしてください。
 トップメニューにもどらずに電源を切ると住戸番号が記憶されません。

③ 詳細機能の設定

- 1) 工事設定メニュー画面内のプログラム設定ボタンをタッチする。



(プログラム番号01の例)

- ・プログラム番号が画面左側に表示されます。
- ・プログラム番号の他、設定内容、設定値が表示されます。

ボタン機能

	ボタン名	機 能	備 考
①	設定 MENU	工事設定メニュー画面にもどります	
②	◀	前の設定値を表示(選択)します	押下毎に設定値表示が変化します。
③	▶	次の設定値を表示(選択)します	押下毎に設定値表示が変化します。
④	クリア	番号入力を取り消します	入力中の番号が全てクリアされます。
⑤	(テンキー)	2桁のプログラム番号を入力します	
⑥	前	前のプログラム番号の設定内容を表示します	
⑦	次/登録	設定内容を記憶および次のプログラム番号の設定内容を表示します	

- 2) プログラム設定の手順は以下の通りです。
 - i) 「次/登録」ボタンをタッチし、設定したいプログラム設定内容を表示します。
 あるいは、「クリア」ボタンをタッチ後、設定したいプログラム番号をテンキーにより入力し、「次/登録」ボタンをタッチすることで、プログラム番号の自動送りをスキップすることができます。
 - ii) 「◀」あるいは「▶」ボタンをタッチして、設定したい値を選択します。
 - iii) 設定値を選択後、「次/登録」ボタンをタッチすることで、設定値が確定し、次のプログラム設定内容が表示されます。
 ※終了する場合は、「設定MENU」ボタンをタッチすることで、工事設定メニュー画面にもどります。

3) プログラム設定の詳細

プログラム番号	項目No.	項目	初期値	設定範囲	
工事設定	接続機器設定	01	エレベーターコール機能	0：なし	エレベーターコールシステムの有無を設定する [0] なし [1] あり
		02	拡張AD接続	0：なし	拡張アダプターの有無を設定する [0] なし [1] あり
		03	集住回線転送AD接続	0：なし	集住回線転送アダプターの有無を設定する [0] なし [1] あり
		04	拡張AD接続通話機器	0：なし	拡張アダプターに接続される通話機器を設定する [0] なし [1] 室内子機 [2] 単独電話機
		05	拡張AD接続制御機器	0：なし	拡張アダプターに接続される制御機器を設定する [0] なし [1] 電気錠 [2] エアコン [3] 機器
	11	1	管理室1名称	1：管理室1	管理事務室親機の名称を設定する [0] 未使用 [1] 管理室1 [2] お世話センター [3] 防災センター [4] 管理センター [5] フロント
		2	管理室1接続先装置	2：指定なし	管理事務室親機の接続先を設定する [0] 中央制御装置 [1] 集中制御装置 [2] 指定なし
		3	管理室1アドレス	1	管理事務室親機のアドレスを設定する 1～8
	12	1	管理室2名称	0：未使用	11-1と同じ ([1] 管理室2)
		2	管理室2接続先装置	0：中央制御装置	11-2と同じ
		3	管理室2アドレス	2	11-3と同じ
	13	1	管理室3名称	0：未使用	11-1と同じ ([1] 管理室3)
		2	管理室3接続先装置	0：中央制御装置	11-2と同じ
		3	管理室3アドレス	3	11-3と同じ
	14	1	管理室4名称	0：未使用	11-1と同じ ([1] 管理室4)
		2	管理室4接続先装置	0：中央制御装置	11-2と同じ
		3	管理室4アドレス	4	11-3と同じ
	21	1	監視カメラ1名称	0：未使用	監視カメラの名称を設定する [0] 未使用 [1] カメラ1 [2] 地下駐車場 [3] 駐車場 [4] 駐輪場 [5] キッズルーム [6] チャイルドルーム [7] 託児室 [8] 集会室 [9] ごみ置場

プログラム番号	項目No.	項目	初期値	設定範囲		
工事設定	接続機器設定	21	2	監視カメラ1接続先装置	0：中央制御装置 [1] 集中制御装置	
			3	監視カメラ1番号	1	制御装置で登録されている監視カメラのカメラ番号を設定する1～8
		22	1	監視カメラ2名称	0：未使用	21-1と同じ（[1] カメラ2）
			2	監視カメラ2接続先装置	0：中央制御装置	21-2と同じ
			3	監視カメラ2番号	2	21-3と同じ
		23	1	監視カメラ3名称	0：未使用	21-1と同じ（[1] カメラ3）
			2	監視カメラ3接続先装置	0：中央制御装置	21-2と同じ
			3	監視カメラ3番号	3	21-3と同じ
		24	1	監視カメラ4名称	0：未使用	21-1と同じ（[1] カメラ4）
			2	監視カメラ4接続先装置	0：中央制御装置	21-2と同じ
			3	監視カメラ4番号	4	21-3と同じ
		25	1	監視カメラ5名称	0：未使用	21-1と同じ（[1] カメラ5）
			2	監視カメラ5接続先装置	0：中央制御装置	21-2と同じ
			3	監視カメラ5番号	5	21-3と同じ
		26	1	監視カメラ6名称	0：未使用	21-1と同じ（[1] カメラ6）
			2	監視カメラ6接続先装置	0：中央制御装置	21-2と同じ
			3	監視カメラ6番号	6	21-3と同じ
		27	1	監視カメラ7名称	0：未使用	21-1と同じ（[1] カメラ7）
			2	監視カメラ7接続先装置	0：中央制御装置	21-2と同じ
			3	監視カメラ7番号	7	21-3と同じ
		28	1	監視カメラ8名称	0：未使用	21-1と同じ（[1] カメラ8）
			2	監視カメラ8接続先装置	0：中央制御装置	21-2と同じ
			3	監視カメラ8番号	8	21-3と同じ
		機能設定	30	—	放送時予鈴音	1：予鈴あり [0] 予鈴なし [1] 予鈴あり
			31	—	住戸間通話機能	0：なし [1] あり
		火報設定	40	—	自火報設備種別	0：共同住宅用 [1] 住戸用（火災即発）
			41	—	火災確認時間	0：2分 [1] 3分 [2] 4分 [3] 5分
		センサー設定	50	—	セキュリティパターン	0：標準 [1] 公団仕様 [2] お知らせ [3] 兵庫仕様1 [4] 兵庫仕様2 [5] 北海道 標準以外は各センサー種別を変更できません 各セキュリティパターンの設定内容については94頁を参照してください

プログラム番号	項目No.	項目	初期値	設定範囲		
工事設定	センサー設定	51	—	センサー1種別	10：防犯1	センサー入力に使用するセンサー種類を設定する [0] 未使用 [1] バスコール [2] トイレコール [3] 増設非常 [4] 緊急 [5] 呼出/連絡 [6] 外部防犯 [7] ペンダントコール [8] 電池切れ (ペンダント電池監視) [9] 電力量センサー [10] 防犯1 [11] 防犯2 [12] 話中時呼出
		52	—	センサー2種別	1：バスコール	51と同じ
		53	—	センサー3種別	2：トイレコール	51と同じ
		54	—	センサー4種別	13：水漏れ	センサー入力に使用するセンサー種類を設定する [0] 未使用 [1] バスコール [2] トイレコール [3] 増設非常 [4] 緊急 [5] 呼出/連絡 [6] 外部防犯 [7] ペンダントコール [8] 電池切れ (ペンダント電池監視) [9] 電力量センサー [13] 水漏れ LED付きあるいはサイリスタ式のスイッチは接続不可。
		55	—	センサー5種別	0：未使用	51と同じ
		56	—	センサー6種別	0：未使用	51と同じ
		57	—	センサー7種別	0：未使用	51と同じ
	セキュリティ設定	60	—	ガスもれ検知器種別	0：CO	ガスもれ検知器の種類を設定する [0] CO (CO対応) [1] 有電圧 (不完全燃焼を検出時ガスもれ発報動作を行う) (CO未対応)
		61	—	火災断線警報音	1：警報音あり	火災断線時の警報音出力の有無を設定する [0] 警報音なし [1] 警報音あり [2] 擬音のみ出力

※プログラム番号51～57は「0：未使用」以外は重複して設定できません。

「12：話中時呼出」は「2：トイレコール」と重複して設定できません。

プログラム番号	項目No.	項目	初期値	設定範囲		
工事設定	セキュリティ設定	62	—	ガス断線警報機能	1：あり	ガス断線時の警報機能の有無を設定する [0] なし [1] あり
		63	—	警報音自動停止時間	0：停止しない	センサー発報後に警報音を自動停止させる時間を設定する（ただし、火災関連、ガスもれ、不完全燃焼、非常は除く） [0] 停止しない [1] 30秒 [2] 5分 [3] 10分 [4] 15分 [5] 30分
		64	—	本体接点出力仕様	0：セキュリティ	接点を出力する種別を設定する [0] セキュリティ（増設非常、緊急コール、トイレコール、バスコール、呼出/連絡、水漏れ、防犯1、防犯2、ペンダントコール、ペンダント電池切れ） [1] 着信（住戸玄関子機、管理事務室、共同玄関子機、一斉放送、緊急放送、住戸間着信、音声着信、室内） [2] セキュリティ+着信 [3] 火災断線のみ
		65	—	拡張接点出力仕様	1：着信	64と同じ 拡張接点出力仕様設定は拡張アダプターが接続された場合のみ設定変更が有効になります
		66	1	防犯1入力種別	1：ブレイク	防犯1センサーの入力種別を設定する [0] メイク [1] ブレイク
			2	防犯2入力種別	1：ブレイク	66-1と同じ
			3	バスコールSW種別	0：ノンロックSW	バスコールセンサーに使用するスイッチ種別を設定する [0] ノンロックSW（ノンロックスイッチを使用し親機ラッチ） [1] ロックSW（ロックスイッチを使用しセンサー連動） [2] サイリスタSW（サイリスタスイッチを使用しセンサー自己保持）
			4	トイレコールSW種別	0：ノンロックSW	66-3と同じ
			5	緊急コールSW種別	0：ノンロックSW	66-3と同じ
			6	増設非常SW種別	1：ロックSW	増設非常センサーに使用するスイッチ種別を設定する [1] ロックSW（ロックスイッチを使用しセンサー連動） [2] サイリスタSW（サイリスタスイッチを使用しセンサー自己保持）

プログラム番号	項目No.	項目	初期値	設定範囲	
工事設定 セキュリティ設定	67	1	防犯2遅延	2：60秒	防犯2センサーの発報遅延時間を設定する（防犯セット後遅延時間内はセンサーを監視せず、センサー作動後も遅延時間内は発報しない） [0] 遅延なし（即発） [1] 30秒 [2] 60秒 [3] 120秒 [4] 180秒 [5] 移報なし
		2	バスコール遅延	0：遅延なし	バスコールセンサーの発報遅延時間を設定する（センサー作動後遅延時間内は発報しない） [0] 遅延なし（即発） [1] 30秒 [2] 60秒 [3] 120秒 [4] 180秒 [5] 移報なし
		3	トイレコール遅延	0：遅延なし	67-2と同じ
		4	緊急コール遅延	0：遅延なし	67-2と同じ
		5	ペンダントコール遅延	0：遅延なし	67-2と同じ
		6	増設非常遅延	0：遅延なし	67-2と同じ
		7	防犯1遅延	0：遅延なし	67-1と同じ
	68	1	防犯1玄関移報遅延	5：移報なし	玄関子機への移報出力遅延時間を設定する（センサー発報後遅延時間内は玄関子機へ移報しない） [0] 遅延なし（即発） [1] 30秒 [2] 60秒 [3] 120秒 [4] 180秒 [5] 移報なし
		2	防犯2玄関移報遅延	5：移報なし	68-1と同じ
		3	バスコール玄関移報遅延	5：移報なし	68-1と同じ
		4	トイレコール玄関移報遅延	5：移報なし	68-1と同じ
		5	緊急コール玄関移報遅延	5：移報なし	68-1と同じ
		6	ペンダントコール玄関移報遅延	5：移報なし	68-1と同じ
		7	増設非常玄関移報遅延	0：遅延なし	68-1と同じ
	69	—	防犯警戒解除	0：ワンタッチ解除	防犯センサーが発報している状態で警戒モードを解除する方法を設定する [0] ワンタッチ解除 [1] 暗証番号
	70	—	外部防犯警戒解除方法	1：パルス解除	外部防犯による解除機能の有無を設定する [0] 解除不可（警戒のみ） [1] パルス解除（パルスで警戒/解除可能） [2] レベル解除（レベルで警戒/解除可能）

プログラム番号	項目No.	項目	初期値	設定範囲		
工事設定	セキュリティ設定	71	—	水漏れ鳴動設定	1：鳴動表示	水漏れ警報発生時の警報音および警報表示状態を設定する [0] 非鳴動非表示（集住移報は即発） [1] 鳴動表示 [2] 表示のみ（集住移報は30秒後） 制御装置が接続された時、設定内容は無効となります
		72	—	バスコール制御装置移報	1：あり	バスコール警報時の制御装置への移報出力の有無を設定する [0] なし [1] あり 遅延時間が「移報なし」選択時は、設定値が無視される
		73	—	トイレコール制御装置移報	1：あり	72と同じ
		74	1	防犯1接点出力	1：あり	警報発生時の接点移報出力の有無を設定する [0] なし [1] あり
			2	防犯2接点出力	1：あり	74-1と同じ
			3	バスコール接点出力	1：あり	74-1と同じ
			4	トイレコール接点出力	1：あり	74-1と同じ
			5	緊急コール接点出力	1：あり	74-1と同じ
			6	増設非常接点出力	1：あり	74-1と同じ
			7	連絡呼出接点出力	0：なし	74-1と同じ
			8	ペンダントコール接点出力	0：なし	74-1と同じ
			9	電池切れ接点出力	0：なし	74-1と同じ
			10	水漏れ接点出力	0：なし	74-1と同じ
			11	室内子機非常接点出力	1：あり	74-1と同じ
			12	本体試験時接点出力	0：なし	74-1と同じ
			13	遠隔試験時接点出力	1：あり	74-1と同じ
75	—	防犯個別警戒セット機能	0：なし	防犯の個別警戒セット機能の有無を設定する [0] なし [1] あり		
76	—	防犯保留後の動作	1：保留後セット	防犯保留後のセンサー復旧でどのように動作するかを設定する [0] 保留後解除（警戒解除） [1] 保留後セット		

各セキュリティパターンの設定内容

設定項目	標準	公団仕様1	お知らせ	兵庫仕様1	兵庫仕様2	北海道	
センサー1	防犯1	防犯1	防犯1	増設非常	増設非常	増設非常（サイリスタ式）	
センサー2	パスコール （ラッチ）	パスコール （連動）	パスコール （連動）	パスコール （ラッチ）	パスコール （連動）	パスコール （ラッチ）	
センサー3	トイレコール （ラッチ）	トイレコール （連動）	トイレコール （連動）	トイレコール （ラッチ）	トイレコール （連動）	トイレコール （ラッチ）	
センサー4	水漏れ	水漏れ	水漏れ	緊急（ラッチ）	緊急（ラッチ）	水漏れ	
センサー5	未使用	防犯2	防犯2	防犯1	防犯1	防犯2	
センサー6	未使用	外部防犯	外部防犯	外部防犯	外部防犯	外部防犯	
センサー7	未使用	増設非常	増設非常	連絡呼出	連絡呼出	連絡呼出	
遅延時間	センサー1	遅延なし	遅延なし	遅延なし	遅延なし	遅延なし	30秒
	センサー2	遅延なし	30秒	移報なし	30秒	30秒	30秒
	センサー3	遅延なし	30秒	移報なし	30秒	30秒	30秒
	センサー4	遅延なし	遅延なし	遅延なし	30秒	30秒	遅延なし
	センサー5	遅延なし	遅延なし	遅延なし	遅延なし	遅延なし	遅延なし
	センサー6	遅延なし	遅延なし	遅延なし	遅延なし	遅延なし	遅延なし
	センサー7	遅延なし	遅延なし	遅延なし	遅延なし	遅延なし	遅延なし
玄関子機移報	センサー1	なし	あり	あり	あり	あり	あり
	センサー2	なし	あり	なし	あり	あり	なし
	センサー3	なし	あり	なし	あり	あり	なし
	センサー4	なし	なし	なし	あり	あり	なし
	センサー5	なし	なし	なし	あり	あり	なし
	センサー6	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	センサー7	なし	あり	あり	なし	なし	なし
玄関子機移報遅延	センサー1	遅延なし	30秒	遅延なし	30秒	30秒	30秒
	センサー2	遅延なし	30秒	遅延なし	30秒	30秒	遅延なし
	センサー3	遅延なし	30秒	遅延なし	30秒	30秒	遅延なし
	センサー4	遅延なし	遅延なし	遅延なし	30秒	30秒	遅延なし
	センサー5	遅延なし	遅延なし	遅延なし	30秒	30秒	遅延なし
	センサー6	遅延なし	遅延なし	遅延なし	遅延なし	遅延なし	遅延なし
	センサー7	遅延なし	30秒	遅延なし	遅延なし	遅延なし	遅延なし
接点移報出力	センサー1	あり	あり	あり	あり	あり	あり
	センサー2	あり	あり	なし	あり	あり	あり
	センサー3	あり	あり	なし	あり	あり	あり
	センサー4	なし	なし	なし	あり	あり	なし
	センサー5	あり	あり	あり	あり	あり	あり
	センサー6	なし	なし	なし	なし	なし	なし
	センサー7	あり	あり	あり	なし	なし	なし

注1) センサー5～7は拡張アダプターを接続した場合のみ有効です。

注2) 上記以外の項目は初期値に設定されます。

④ 設定内容コピー

1) 工事設定メニュー画面内の設定内容コピーボタンをタッチする。



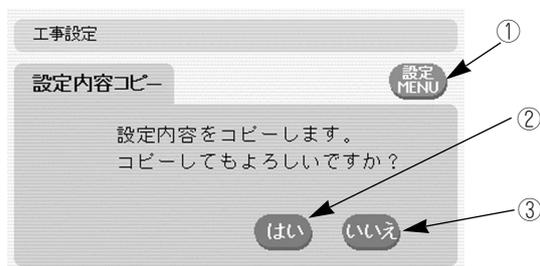
- 他の室内親機で設定したプログラム設定内容を自身の設定内容に反映することができます。
- ただし、住戸番号が登録されており、コピー元の室内親機と共に中央制御装置と通信が確立できている場合に限りです。
- コピー元の室内親機は、同一中央制御装置に接続された室内親機に限りです。

	ボタン名	機能	備考
①	設定MENU	工事設定メニュー画面にもどります	
②	クリア	入力の取り消しをします	入力した番号が全てクリアされます。
③	(テンキー)	3~4桁の住戸番号を入力します	
④	棟	他棟の住戸の設定をコピーする時に使用します	全棟設定の場合はボタンが表示されません。
⑤	OK	棟番号、住戸番号を確定します	押下後、設定コピー確認画面が表示されます。

2) コピー元の住戸番号を入力します。

- テンキーを押下することで入力された番号が画面中央部に表示されます。
- コピー元になる室内親機は待ち受け状態（画面が消えているか、トップメニューが表示されている状態）にしておいてください。

3) OKをタッチします。



- コピーが完了するまで数十秒かかることがあります。
- コピー中に他の機器を操作する、あるいは住戸番号の自動登録直後等に設定内容コピーを行うと設定内容コピーNGになることがあります。
- コピーを途中で中断することはできません。
- 複数台で同時に設定内容コピーを行うと、コピーNGになる場合があります。
- 設定内容コピーNGのときは、数十秒待ってから再度設定内容コピー操作を行ってください。

	ボタン名	機能	備考
①	設定MENU	工事設定メニュー画面にもどります	
②	はい	他住戸の設定内容をコピーします	押下後、設定内容コピーを開始します。
③	いいえ	コピー操作の取消	押下後、工事設定メニュー画面にもどります。

設定内容コピーOK時

…本体スピーカーより「ピー」音が出力され、画面上に「OK」と表示される。

設定内容コピーNG時

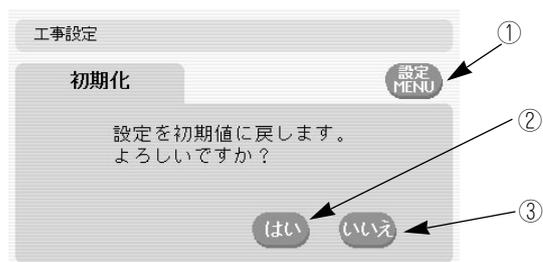
…本体スピーカーより「ブップッ」音が出力され、画面上に「NG」と表示される。

設定内容コピーOK（画面上に「OK」）を確認のうえご使用ください。

⑤ 初期化

住戸番号、プログラム設定の設定内容を工場出荷状態にします。

1) 工事設定メニュー画面内の初期化ボタンをタッチする。



	ボタン名	機 能	備 考
①	設定MENU	工事設定メニュー画面にもどります	
②	はい	設定内容を初期値にします（出荷時設定にします）	押下後、設定メニュー画面にもどります。
③	いいえ	初期化操作を取消します	押下後、設定メニュー画面にもどります。

※情報サービス機能（情報サービス、簡易メール、お知らせ）を含めてのユーザ設定の初期化（出荷時）を行う場合は、以下の手順で行います。

- i) 画面が消えている状態で、「画面表示ボタン」を押す。
以降、「画面表示ボタン」を押したままで操作を行います。
- ii) 「設定」をタッチする。
- iii) 次ボタンをタッチし、ユーザ設定画面（2/2）を表示させ、「初期化」をタッチする。
- iv) 「はい」をタッチする。

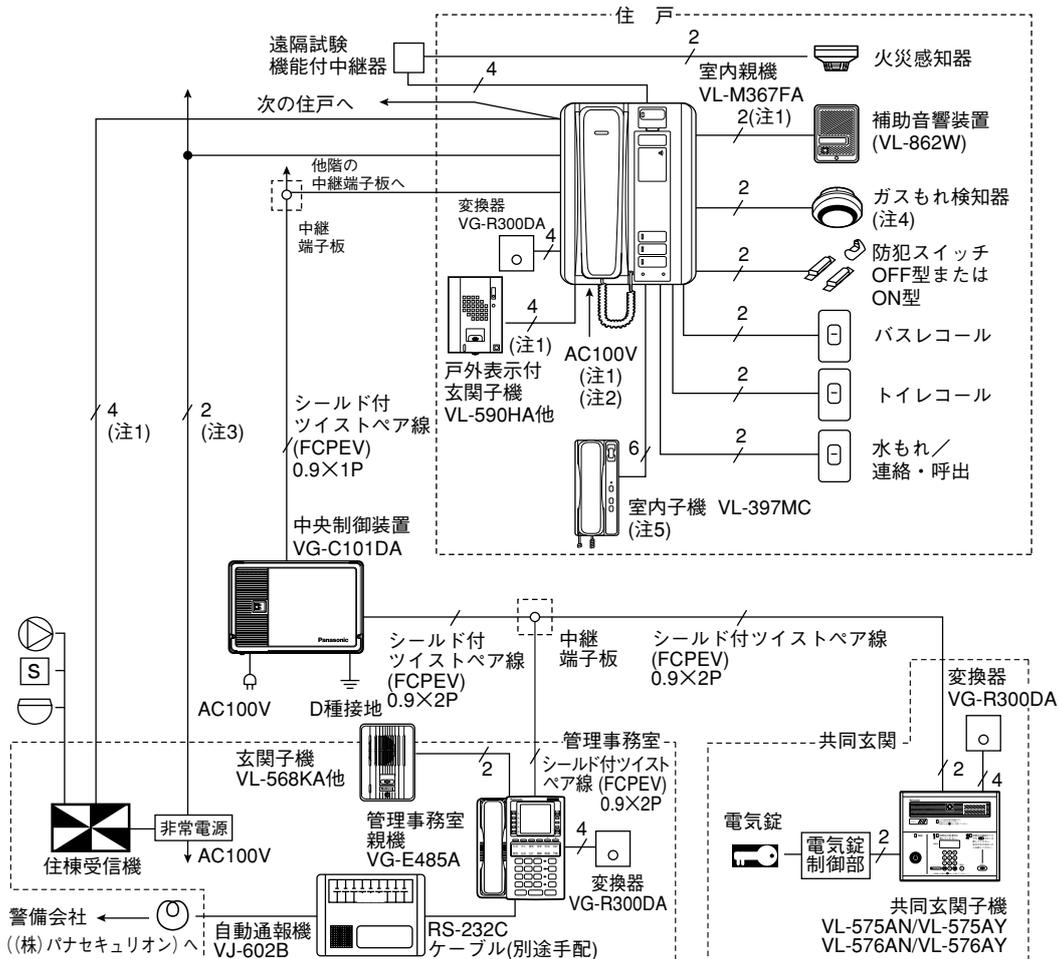
上記操作で、トップメニュー画面の「情報サービス」などのボタンが消えます。引っ越し等で住人が替わった際に行ってください。

9. その他の室内親機

お願い 室内親機の接続および取付方法は、室内親機に付属の取付工事説明書を参照してください。

■システム構成

- (例) 消防予第220号通知共同住宅用自動火災報知設備で使用する場合
 住戸に室内親機VL-M367FA、室内子機VL-397MC接続
 中央制御装置、管理事務室親機、共同玄関子機接続



- (注1) 消防法で設置を義務付けられた住宅の場合は、この間の配線は耐熱保護配線工事となります。
 (注2) 消防法で設置を義務付けられた住宅の場合の電源は、専用プレーカーを設けて接続してください。
 (注3) 消防法で設置を義務付けられた住宅の場合の電源は、この間の配線は耐火保護配線工事となります。
 (注4) ガスもれ検知器は有電圧出力タイプを接続してください（無電圧タイプも接続可）。
 (注5) 室内子機を1台接続できます。

- ・管理事務室親機、共同玄関子機は中継端子板で分岐配線をしてください。
- ・管理事務室親機、共同玄関子機は複数設置できます。
- ・中央制御装置との配線条件については、19～27頁を参照してください。
- ・共同玄関の電気錠については、電気錠メーカーにお問い合わせください。

電気錠K1、K2 A接点定格

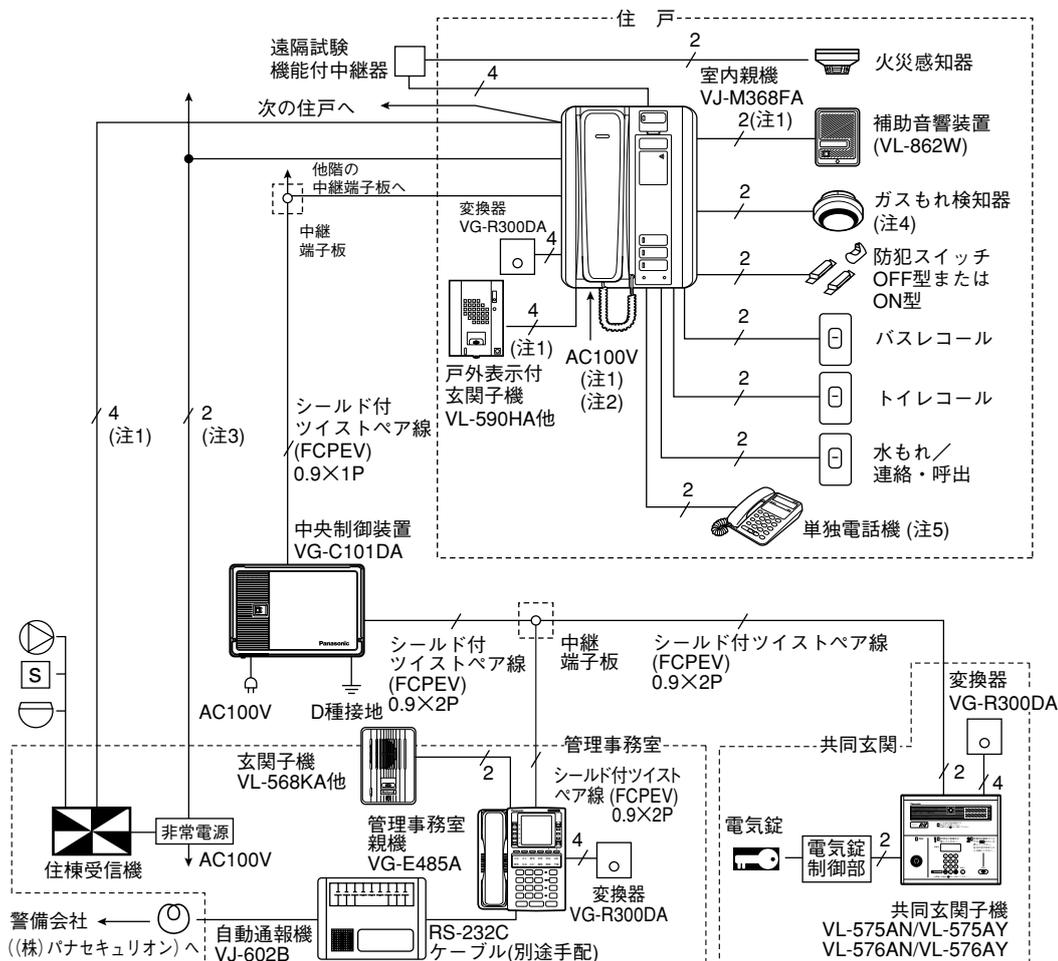
〔一定時間メークしています〕

定格負荷	AC100V DC24V 2A
最小適用負荷	DC5V 10mA

お願い 室内親機の接続および取付方法は、室内親機に付属の取付工事説明書を参照してください。

■システム構成

(例) 消防予第220号通知共同住宅用自動火災報知設備で使用する場合
 住戸に室内親機VJ-M368FA接続時、単独電話機接続
 中央制御装置、管理事務室親機、共同玄関子機接続



- (注1) 消防法で設置を義務付けられた住宅の場合は、この間の配線は耐熱保護配線工事となります。
- (注2) 消防法で設置を義務付けられた住宅の場合の電源は、専用ブレーカーを設けて接続してください。
- (注3) 消防法で設置を義務付けられた住宅の場合の電源は、この間の配線は耐火保護配線工事となります。
- (注4) ガスもれ検知器は有電圧出力タイプを接続してください（無電圧タイプも接続可）。
- (注5) 単独電話機を1台接続できます。

- ・管理事務室親機、共同玄関子機は中継端子板で分岐配線をしてください。
- ・管理事務室親機、共同玄関子機は複数設置できます。
- ・中央制御装置との配線条件については、19～27頁を参照してください。
- ・共同玄関の電気錠については、電気錠メーカーにお問い合わせください。

電気錠K1、K2 A接点定格

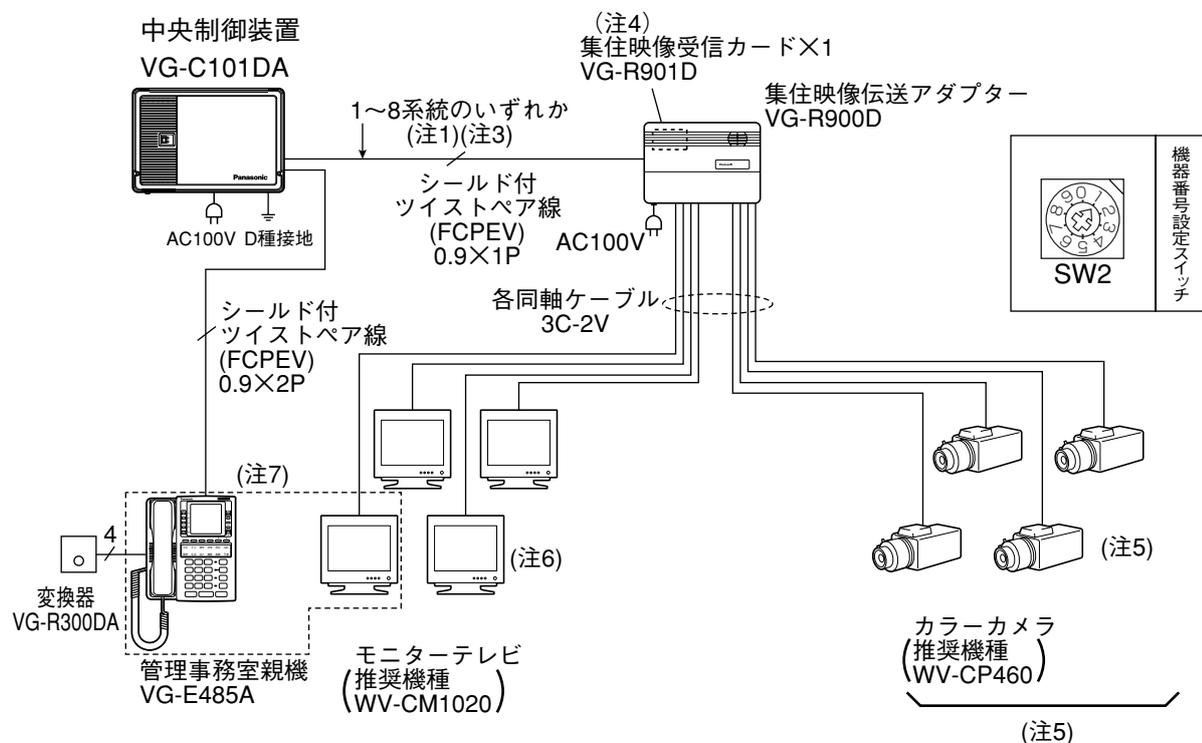
〔一定時間メークしています〕

定格負荷	AC100V DC24V 2A
最小適用負荷	DC5V 10mA

10. 集住映像伝送アダプター VG-R900D

お願い 集住映像伝送アダプターの接続および取付方法詳細は、集住映像伝送アダプターに付属の取付工事説明書を参照してください。

■システム構成



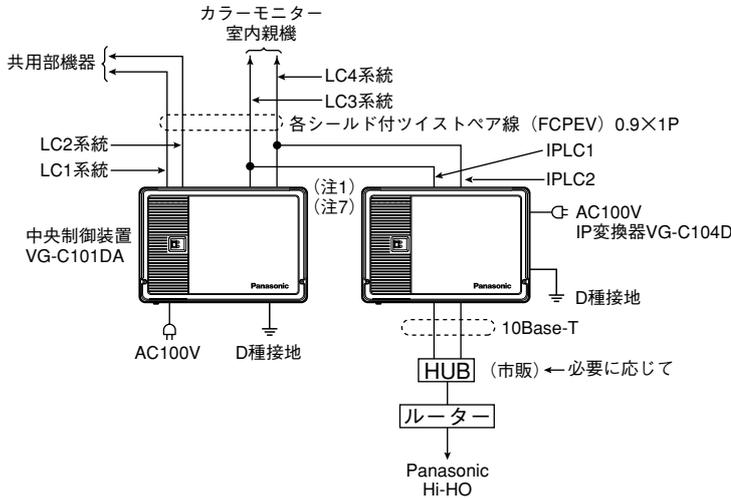
- (注1) 集住映像伝送アダプターは中央制御装置のいずれの系統（1～8系統）にも接続可能です。ただし、中央制御装置1台に接続可能な集住映像伝送アダプター台数は最大8台です。1つの系統に最大の8台と接続することも可能ですが、1つの系統に接続可能な端末台数合計の際に、本アダプターも端末台数として加算する必要があります。
- (注2) 集住映像伝送アダプターを複数接続する場合は機器番号SWを重複させないでください。（誤動作します）出荷時全て“1”になっています。
- (注3) 中央制御装置との配線条件については19～27頁を参照してください。
- (注4) 集住映像伝送アダプターにモニターテレビを接続する場合は、集住映像受信カード（VG-R901D）を1枚実装してください。
- (注5) 1つの映像伝送アダプターで同時に複数のカメラ映像を伝送することはできません。
- (注6) 1つの映像伝送アダプターで同時に複数の映像をモニター表示することはできません。ただし、同一の映像を同じ映像伝送アダプターに接続された複数のモニターに表示することは可能です。
- (注7) モニターテレビは管理事務室親機と連動します。モニター連動設定された管理事務室親機から同じ集住映像伝送アダプターに接続されたカメラを呼び出すことはできません。

11. IP変換器 VG-C104D

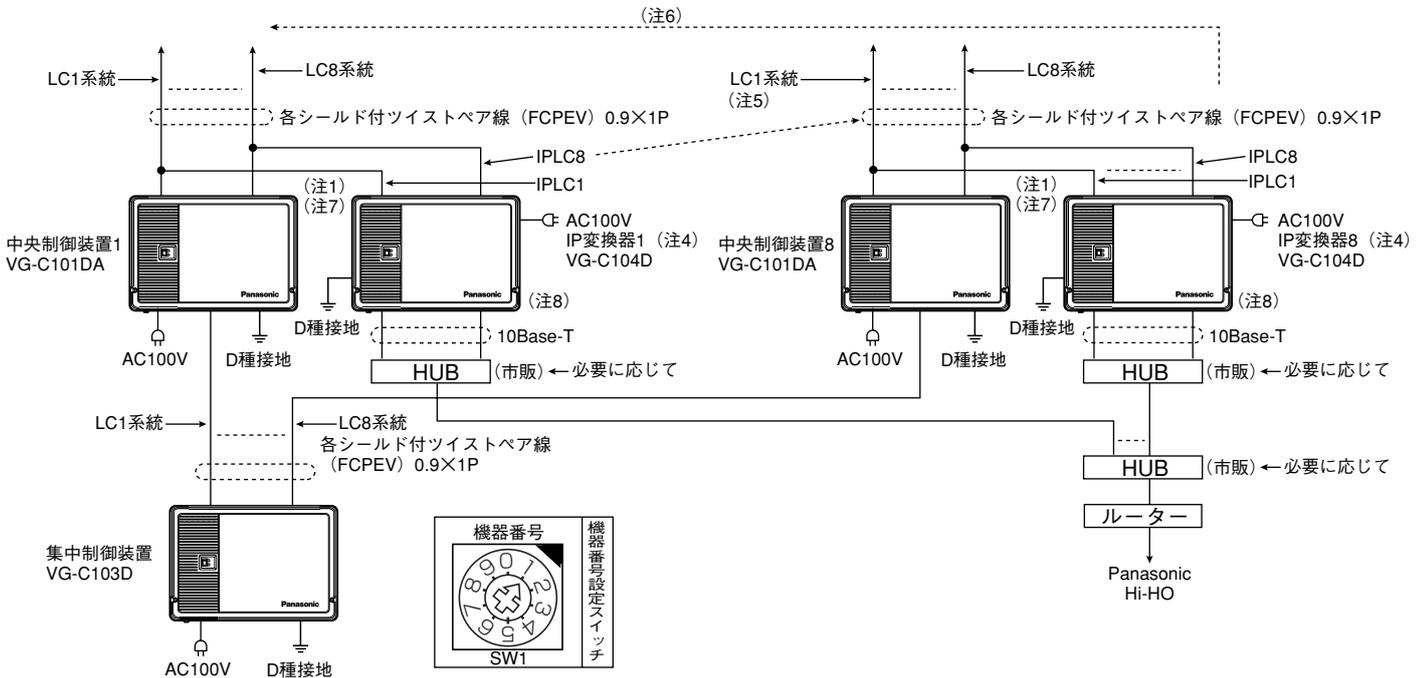
お願い IP変換器の接続および取付方法詳細は、IP変換器に付属の取付工事説明書を参照してください。

■システム構成

(例1) 中央制御装置1台のシステムの場合



(例2) 中央制御装置複数台のシステムの場合



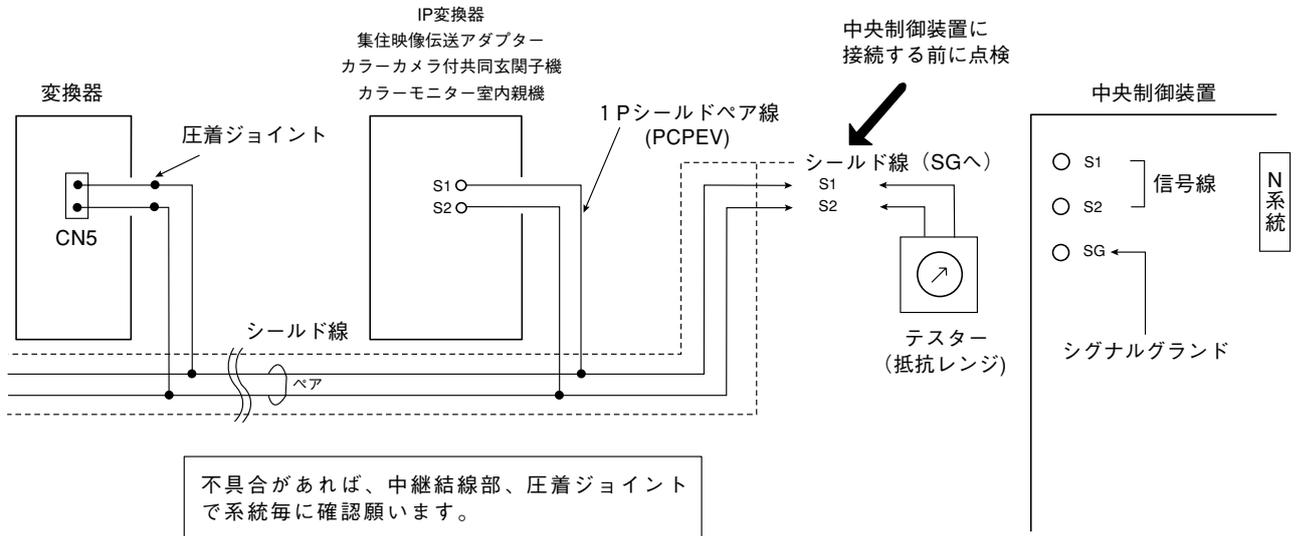
- (注1) カラーモニター室内親機を接続している系統にIPLCを1つ接続してください。共用部機器のみ接続された系統にIPLCを接続する必要はありません。
- (注2) 1つの系統にIPLCを2つ以上接続しないでください。
- (注3) 1つの系統の端末接続台数の計算の際は、IPLC1つで端末1台として加算してください。
- (注4) 例2の場合、IP変換器の機器番号SWを重複させないでください。(サーバー接続の際に誤動作します。またIPLCの初期IPアドレスが重複してしまいます。) 出荷時全て“1”になっています。
- (注5) 1つのIP変換器に異なる中央制御装置を接続しないでください。

- (注6) 1つの中央制御装置に異なるIP変換器を接続しないでください。
- (注7) 中央制御装置との配線条件については19～27頁を参照してください。
- (注8) IPLCが3つ以上必要な場合は別売IP3LCユニット (VG-C974D) を実装する必要があります。IP3LCユニットはIP変換器に最大2台実装可能で最大8IPLCまで可能です。

12. 工事後の点検およびサービスについて

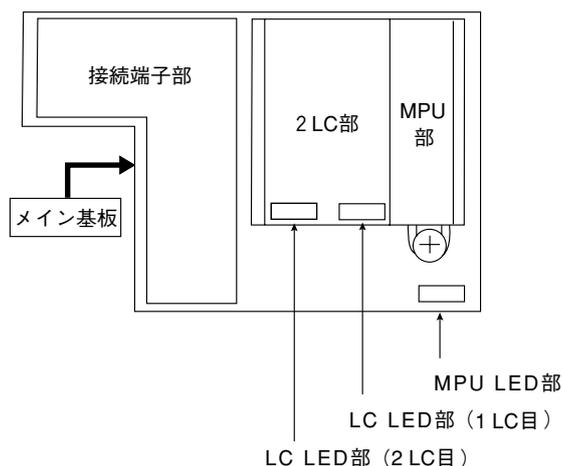
1. 各端末～中央制御装置間デジタル通信線路の配線チェック方法

- 条件
- ・各端末への全数配線完了であること。
 - ・中央制御装置とは接続しないで配線チェックを行うこと。



	テスター (抵抗レンジ)	不具合、点検箇所
S1-S2信号線	パターン1の場合 0.006~61Ω	更にチェック2に該当しない場合 正常 抵抗値のめやすは、最も近い端末までの配線距離 [m] × 0.06 (または0.12) + 0.4Ω
	パターン2の場合 0.007~106Ω	
	パターン3の場合 0.008~46Ω	
	パターン4の場合 0.010~76Ω	
	パターン5 (φ0.9) の場合 0.013~31Ω	
	パターン5 (φ0.65) の場合 0.013~61Ω	
	チェック2 テスターの極性 (+, -) を入れ換えた抵抗値が異なる	
チェック1の範囲を越える	異常 <ul style="list-style-type: none"> ・配線材の断線および圧着ジョイント不具合等 ・過長配線 	
S1-SG S2-SG	オープン状態	正常
	約100KΩ以下	<ul style="list-style-type: none"> ・線間絶縁不良 { 現象として通話時にデータノイズが聞こえる } システム誤動作する

2. 中央制御装置のメイン基板MPU部のLEDについて



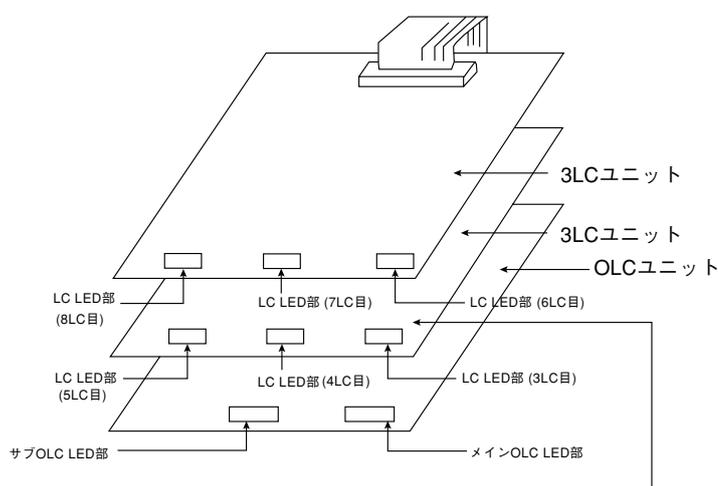
	MPU LED部各LEDの状態	
	M - L状態表示	システムリセット
正常	A	消灯
異常	BまたはC	—
リセット時	—	点灯

A : 遅い点滅 (2秒周期)
B : 速い点滅 (0.5秒周期)
C : 速い間欠点滅

参考 各LEDの意味

LED名	意味
システムリセット	装置全体のリセット状態を表示。
RESET	LCのリセット状態を表示。
M/CPUリセット	メインOLCのリセット状態を表示。
S/CPUリセット	サブOLCのリセット状態を表示。
M-L通信	MPUとLCまたはOLCとの通信状態を表示。
M-S通信	メインOLCとサブOLCの通信状態を表示。
L-A通信	LCと端末の通信状態を表示。
MO-L通信	メインOLCと集中制御装置のLCとの通信状態を表示。
SO-L通信	サブOLCと集中制御装置のLCとの通信状態を表示。
パケット	データパケットの状態と集中制御装置のLCとの通信状態を表示。
マスタ/スレーブ	—

3. 3LCユニットおよび OLCユニットのLEDについて



各LED (通信LED・リセットLED) は各系統 (LC1~LC8) に対応しています。

	LC LED部各LEDの状態 (LC LED部) VG-C101DA VG-C984DA								
	パケット0	パケット1	パケット2	パケット3	パケット4	パケット5	L-A通信	M-L通信	RESET
正常	D	D	D	D	D	D	A	A	消灯
異常	—	—	—	—	—	—	B or C or 点灯	B or C	—
リセット時	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯

A : 遅い点滅 (2秒周期)
B : 速い点滅 (0.5秒周期)
C : 速い間欠点滅

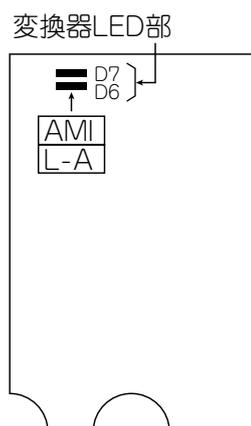
D : {
送信中点滅
使用中点灯
系統待機中消灯
・送信中とは自己送信を示します。
・使用中とは自己受信、または他の端末が使用中であることを示します。
・待機中消灯とは自己も他の端末も使用していないことを示します。

	メイン/サブOLC LED部各LEDの状態 VG-C987D										
	パケット0	パケット1	パケット2	パケット3	パケット4	パケット5	MO-L通信 SO-L通信	M-L通信 M-S通信	M/CPUリセット S/CPUリセット	マスタ/ スレーブ	
正常	E	E	E	E	E	E	A	A	消灯	消灯	
異常	—	—	—	—	—	—	B or C or 点灯	B or C	—	—	
リセット時	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	消灯	点灯	点灯	

E : {
送信中点滅
受信中点灯
自己待機中消灯
・送信中とは自己送信を示します。
・受信中とは自己受信を示します。
・自己待機中消灯とは自己も送信もしていないことを示します。

4. 変換器のLEDについて

変換器の上ケースをはずすとLED部が見えます。



	AMI (D7)	L-A (D6)
正常	遅い点滅 (2秒周期)	遅い点滅 (2秒周期)
異常	速い点滅 (0.5秒周期) または速い間欠点滅 または消灯	速い点滅 (0.5秒周期) または速い間欠点滅 または消灯

参考 各LEDの意味

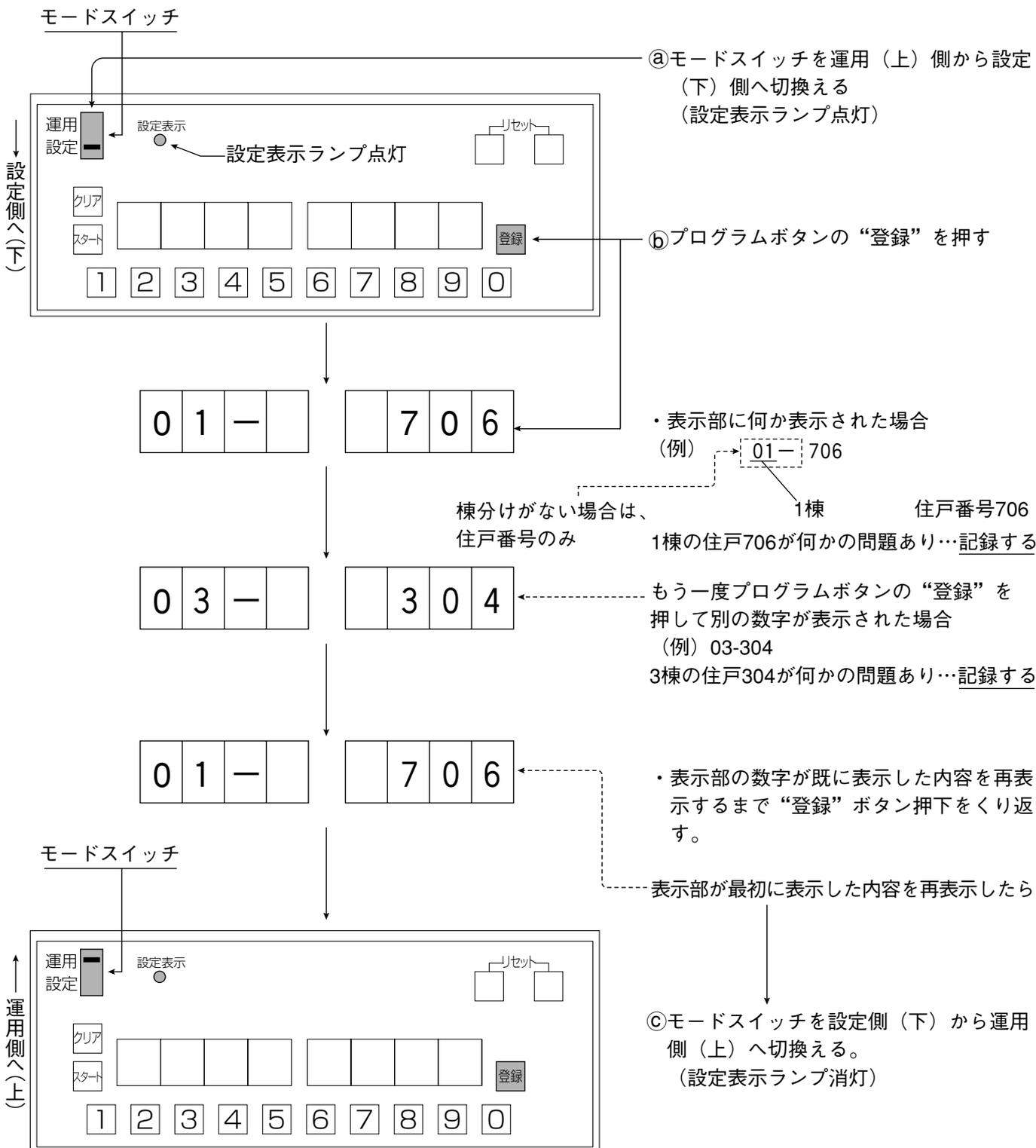
変換器 のLED	L-A	LCと変換器の間の通信状態を表示
	AMI	変換器と端末（室内親機または共用部）の間の通信状態を表示

5. 室内親機点検方法

住戸番号の登録後、中央制御装置のプログラムボードに異常表示がされるかを確認する。

住戸番号以外の異常表示内容については
「異常表示内容と主な対応処置箇所」の項目を参照し、対応処置願
います。

お願い
管理事務室親機がない場合は、異常音が鳴りませんので、必ずシステム動作点検前にプログラムボードにて
室内親機点検を行ってください。



プログラムボード表示とは別に
管理事務室親機接続時は、異常灯が点滅し、異常音（ピーピー…）が鳴動。
 ハンドセットをとり上げると異常箇所機器番号を表示することができます。
 (注) ただし、プログラム設定が必要で、プログラム番号「08」管理事務室
 親機からの通信異常情報出力有り/無し設定を、「有り」にすること。
 [出荷時状態は「無し」]
 ※「プログラム表の作成と登録」参照

管理事務室親機

VG-E485A

- 異常ランプ点滅→ハンドセットを上げる→音ストップ→異常箇所の表示
 - ↓
 - 診断ボタンを押すと次の異常箇所が表示される（巡回表示）
 - ↓
 - クリアボタンを押すとその異常表示がクリアされる（全ての異常表示をクリアすると異常ランプ消灯）
- 異常ランプが消灯していても診断表示します。
 - ハンドセットを上げる→診断ボタンを押す→異常箇所の表示→診断ボタンを押すと次の異常箇所が表示される（巡回表示）
 - ↓
 - （異常がない場合は“キキイジョウナシ”を表示）

例
 ・ジユウコ102→102号
 ・ジユウコ1-102→1棟の102号

住戸番号の自動登録後、異常表示された室内親機の不具合予測原因	対応処置方法	備考
表示された室内親機のAC100V電源の配線がはずれた。または、その部屋のブレーカがOFF〔切り〕である。	該当する室内親機の電源ランプが点灯しているか確認する。	
デジタル通信線路がはずれた。または変換器が不具合である。	変換器の表示LEDを確認する。	正常は2つのLEDがゆっくり点滅
室内親機が不具合である。	セット交換する前に、該当する室内親機のブレーカを切り、良品の上ケース部〔指定の番号設定をして〕、またはカラーモニター室内親機（本体）を交換する。（ただしカラーモニター室内親機はブレーカON後に指定の番号設定となる。）	
室内親機のCL1, CL2接続端子（通信データ線）の片方又は両方がはずれているかまたは接触不良	室内親機の外接端子を確認する。	
カラーモニター室内親機のS1, S2接続端子（デジタル通信線路）の片方あるいは両方がはずれているか、または接触不良	カラーモニター室内親機の壁掛金具端子台の速結端子を確認する。	

6. 点検不具合時のチェックポイント

(1) チェックポイント

(注)：(中) [] 内は中央制御装置のプログラム番号です。「プログラム表の作成と登録」を参照してください。

(カ) [] 内はカラーモニター室内親機のプログラム番号です。本書の「カラーモニター室内親機の工事設定について」を参照してください。

	不具合内容	機器の確認	プログラム設定の確認
①	玄関子機→ 室内親機間の呼出・ 通話不能	<ol style="list-style-type: none"> 1) 室内親機の電源 (AC100V) が入っているか 2) 玄関子機↔室内親機間の配線は正しいか (有極性) 	<ul style="list-style-type: none"> ・室内親機の電源 (AC100V) が入っており、玄関子機間の配線が正しければ、中央制御装置と関係なく①機能はできます。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・室内親機↔室内子機間の呼出・通話不能 ・室内子機の動作不能 (呼出音がならない、非常警報ができない、など) 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 室内親機 (カラーモニター室内親機の場合は拡張アダプター)の電源 (AC100V) が入っているか 2) 室内親機↔室内子機間の配線は正しいか (カラーモニター室内親機の場合は、室内親機↔拡張アダプター↔室内子機間) 3) カラーモニター室内親機の工事設定内容は正しいか 4) 室内子機側で鳴動停止設定 (端子短絡) をしていないか 	<ul style="list-style-type: none"> ・室内親機 (カラーモニター室内親機の場合は拡張アダプター)の電源 (AC100V) が入っており、室内子機間 (カラーモニター室内親機の場合は拡張アダプター間)の配線が正しければ、中央制御装置と関係なく②機能はできます。 ・拡張アダプター接続が正しく設定されているか (カ) [02] ・拡張アダプター接続通話機器が正しく室内子機に設定されているか (カ) [04] ・室内子機側で7-8端子間を短絡していると呼出音は鳴動しません。
③	共同玄関子機→ 室内親機間の呼出・通話 不能、室内親機→電気錠 解錠不能	<ol style="list-style-type: none"> 1) 室内親機、中央制御装置の電源 (AC100V) が入っているか 2) 共同玄関子機↔変換器↔中央制御装置間の配線は正しいか (DC24V線も接続されているか) (カラーカメラ付共同玄関子機の場合は、共同玄関子機↔中央制御装置間) 3) 室内親機↔変換器↔中央制御装置間の配線は正しいか (カラーモニター室内親機の場合は、室内親機↔中央制御装置間) 4) 共同玄関子機の機器番号設定は正しいか 5) 室内親機の住戸番号設定は正しいか 6) 共同玄関子機の変換器、室内親機の変換器のSW1の設定は正しいか 7) 共同玄関子機 (K1、K2) と電気錠制御部の配線は正しいか 	<ul style="list-style-type: none"> ・室内親機の住戸番号が正しく設定されているか (中) [101-864] ・共同玄関子機の接続系統番号が正しく設定されているか (中) [04]
④	室内親機 (室内子機) ↔ 管理事務室親機間の呼出・ 通話不能	<ol style="list-style-type: none"> 1) 室内親機、中央制御装置の電源 (AC100V) が入っているか 2) 管理事務室親機↔変換器↔中央制御装置間の配線は正しいか (DC24V線も接続されているか) 3) 室内親機↔変換器↔中央制御装置間の配線は正しいか (カラーモニター室内親機の場合は、室内親機↔中央制御装置間) 4) 管理事務室親機の機器番号設定は正しいか 5) 室内親機の住戸番号設定は正しいか 6) 管理事務室親機の変換器、室内親機の変換器のSW1の設定は正しいか 	<ul style="list-style-type: none"> ・室内親機の住戸番号が正しく設定されているか (中) [101-864] ・管理事務室親機の接続系統番号が正しく設定されているか (中) [05]

	不具合内容	機器の確認	プログラム設定の確認
⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・共同玄関子機→管理事務室親機間の呼出・通話不能 ・管理事務室親機→電気錠解錠不能 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 中央制御装置の電源 (AC100V) が入っているか 2) 管理事務室親機←→変換器←→中央制御装置間の配線は正しいか (DC24V線も接続されているか) 3) 共同玄関子機←→変換器←→中央制御装置間の配線は正しいか (DC24V線も接続されているか) (カラーカメラ付共同玄関子機の場合は、共同玄関子機←→中央制御装置間) 4) 共同玄関子機の機器番号設定は正しいか 5) 管理事務室親機の住戸番号設定は正しいか 6) 共同玄関子機の変換器、管理事務室親機の変換器のSW1の設定は正しいか 7) 共同玄関子機と電気錠制御部の配線は正しいか 8) 共同玄関子機のSW3-3が管理事務室親機呼出し規制有になっていないか 	<ul style="list-style-type: none"> ・共同玄関子機の接続系統番号が正しく設定されているか (中) [04] ・管理事務室親機の接続系統番号が正しく設定されているか (中) [05]
⑥	共同玄関子機→室内親機間の呼出番号違い	<ol style="list-style-type: none"> 1) 室内親機の住戸番号設定は正しいか 	<ul style="list-style-type: none"> ・室内親機の住戸番号が正しく設定されているか (中) [101-164]
⑦	モニターテレビの映像不能 (アナログ映像)	<ol style="list-style-type: none"> 1) テレビカメラ付共同玄関子機←→ (カメラ用電源) ←→映像分配器←→住戸分岐器←→モニターテレビ間の配線は正しいか 2) カメラ用電源、中央制御装置、室内親機に電源 (AC100V) が入っているか 3) モニターテレビ←→室内親機、セキュリティへの配線は正しいか 4) テレビカメラ付共同玄関子機はカメラ有設定になっているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・LCが管理するアナログ映像ラインが正しく設定されているか (中) [20]
⑧	カラーモニター室内親機の映像不能共同玄関子機 (デジタル映像)	<ol style="list-style-type: none"> 1) カラーカメラ付共同玄関子機←→中央制御装置間の配線は正しいか 2) 中央制御装置、室内親機に電源 (AC100V) が入っているか 3) カラーモニター室内親機←→中央制御装置間の配線は正しいか 4) カラーカメラ付共同玄関子機はカメラ有設定になっているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・LCが管理するアナログ映像ラインが正しく設定されているか (中) [20]
⑨	テレコントロールの不能	<ol style="list-style-type: none"> 1) テレコントローラ←→電気機器、電話機、インターホン間の配線は正しいか 2) テレコントローラ、パワーディストリビュータに電源 (AC100V) が入っているか 	/
⑩	自動通報の不能	<ol style="list-style-type: none"> 1) 管理事務室親機 (データ入出力アダプター) ←→自動通報装置←→単独電話回線間の配線は正しいか 	/

	不具合内容	機器の確認	プログラム設定の確認
⑪	カラーモニター室内親機の監視カメラ映像不能	<ol style="list-style-type: none"> 1) カラーモニター室内親機、中央制御装置、集住映像伝送アダプターの電源（AC100V）が入っているか 2) カラーモニター室内親機↔中央制御装置間の配線は正しいか 3) 集住映像伝送アダプター↔中央制御装置間の配線は正しいか 4) カラーモニター室内親機の住戸番号設定は正しいか 5) 集住映像伝送アダプターの機器番号設定は正しいか 6) 集住映像伝送アダプター↔カメラ間の配線は正しいか 7) カメラの電源が入っているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・室内親機の住戸番号が正しく設定されているか（中）[101-864] ・集住映像伝送アダプターの接続系統番号が正しく設定されているか（中）[81] ・集住映像伝送アダプターに接続されているカメラの種別が正しく設定されているか（中）[82]
⑫	IP変換器の障害表示	<ol style="list-style-type: none"> 1) IP変換器の電源（AC100V）が入っているか 2) IP変換器↔中央制御装置間の配線は正しいか 3) IP変換器の機器番号設定は正しいか 	<ul style="list-style-type: none"> ・IP変換器内のIPLC接続系統番号が正しく設定されているか（中）[1000]
⑬	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関子機、管理事務室親機、共同玄関子機→単独電話機間の呼出・通話不能 ・単独電話機が外線以外鳴動しない 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 室内親機（カラーモニター室内親機の場合は拡張アダプター）の電源（AC100V）が入っているか 2) 室内親機で正しく動作するか 3) 室内親機↔単独電話機間の配線は正しいか（カラーモニター室内親機の場合は、室内親機↔拡張アダプター↔単独電話機間） 4) カラーモニター室内親機の工事設定内容は正しいか 5) 室内親機側で鳴動規制の設定を行っていないか 	<ul style="list-style-type: none"> ・室内親機（カラーモニター室内親機の場合は拡張アダプター）の電源（AC100V）が入っており、単独電話機間（カラーモニター室内親機の場合は拡張アダプター間）の配線が正しければ、中央制御装置と関係なく玄関子機との呼出・通話機能はできます。 ・室内親機の住戸番号が正しく設定されているか（中）[101-864] ・拡張アダプター接続が正しく設定されているか（力）[02] ・拡張アダプター接続通話機器が正しく単独電話機に設定されているか（力）[04] ・室内親機で単独電話機鳴動規制設定をしていると外線着信時以外は鳴動しません。
⑭	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関子機、共同玄関子機の来客転送不能（前回の回線捕捉から1分以上経過しなければ次の転送は行いません） ・Web to Phone不能 	<ol style="list-style-type: none"> 1) 室内親機、集住回線転送アダプターの電源（AC100V）が入っているか 2) 室内親機↔集住回線転送アダプター↔回線間の配線は正しいか 3) カラーモニター室内親機の工事設定内容は正しいか 4) 転送先電話番号は設定されているか 5) 外出設定をしているか、また、外出設定で「来客転送あり」に設定しているか 	<ul style="list-style-type: none"> ・室内親機集住回線転送アダプターの電源（AC100V）が入っており、集住回線転送アダプター間、回線間の配線が正しければ、中央制御装置と関係なく玄関子機の来客転送機能はできます。 ・集住回線転送アダプター接続が正しく設定されているか（力）[03] ・カラーモニター室内親機の取扱説明書にしたがい、ユーザー設定の来客転送項目を正しく設定しているか

①注意	<p>③～⑧において、共同玄関子機、管理事務室親機はそれぞれ8台まで（容量上）接続可能で各機器が複数の場合機器番号の設定（重複すると誤動作します）を正しく行ってください。</p> <p>ただし、合計消費電流計算表により合計消費電流が1960mAを越える場合は別途電源が必要です。</p> <p>また、プログラム設定も正しく設定してください。中央制御装置VG-C101DA用「プログラム表の作成と登録」、または本取付工事説明書の「カラーモニター室内親機の工事設定について」を参照してください。</p>
-----	---

7. 異常表示内容と主な対応処置箇所

プログラムボードにおける異常表示内容	管理事務室親機における異常表示内容 別途接続し、制御装置のプログラム番号「08」通信情報出力「有り」に設定した場合	主な対応処置箇所
A01 ※1	カンリ1 ※1	機器番号1に該当する管理事務室親機の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A02	2	機器番号2に該当する管理事務室親機の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A03	3	機器番号3に該当する管理事務室親機の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A04	4	機器番号4に該当する管理事務室親機の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A05	5	機器番号5に該当する管理事務室親機の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A06	6	機器番号6に該当する管理事務室親機の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A07	7	機器番号7に該当する管理事務室親機の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A08	8	機器番号8に該当する管理事務室親機の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A11 ※1	エントランス1 ※1	機器番号1に該当する共同玄関子機の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A12	2	機器番号2に該当する共同玄関子機の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A13	3	機器番号3に該当する共同玄関子機の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A14	4	機器番号4に該当する共同玄関子機の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A15	5	機器番号5に該当する共同玄関子機の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A16	6	機器番号6に該当する共同玄関子機の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A17	7	機器番号7に該当する共同玄関子機の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A18	8	機器番号8に該当する共同玄関子機の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A31	アダプタ1	機器番号1に該当するデータ入出力アダプター（VL-M887）などの未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A32	2	機器番号2に該当するデータ入出力アダプター（VL-M887）などの未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A33	3	機器番号3に該当するデータ入出力アダプター（VL-M887）などの未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。

※1 イニシャル（初期設定・出荷時状態）でプログラム設定は管理事務室親機1がLC1系統に1台と、共同玄関子機1がLC1系統に1台になっています。機器を接続すると、A01 [カンリ1]、A11 [エントランス1] が消えます。

プログラムボードにおける異常表示内容	管理事務室親機における異常表示内容 別途接続し、制御装置のプログラム番号「08」通信情報出力「有り」に設定した場合	主な対応処置箇所
A34	アダプタ4	機器番号4に該当するデータ入出力アダプター（VL-M887）などの未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A35	5	機器番号5に該当するデータ入出力アダプター（VL-M887）などの未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A36	6	機器番号6に該当するデータ入出力アダプター（VL-M887）などの未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A37	7	機器番号7に該当するデータ入出力アダプター（VL-M887）などの未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A38	8	機器番号8に該当するデータ入出力アダプター（VL-M887）などの未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A41 ※2	エイゾウアダプタ1	機器番号1に該当する映像伝送アダプター（VG-R900D）の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A42 ※2	2	機器番号2に該当する映像伝送アダプター（VG-R900D）の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A43 ※2	3	機器番号3に該当する映像伝送アダプター（VG-R900D）の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A44 ※2	4	機器番号4に該当する映像伝送アダプター（VG-R900D）の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A45 ※2	5	機器番号5に該当する映像伝送アダプター（VG-R900D）の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A46 ※2	6	機器番号6に該当する映像伝送アダプター（VG-R900D）の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A47 ※2	7	機器番号7に該当する映像伝送アダプター（VG-R900D）の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A48 ※2	8	機器番号8に該当する映像伝送アダプター（VG-R900D）の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A61 ※2	IPヘンカンキ1	IP変換器内のIPLC1との未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A62 ※2	2	IP変換器内のIPLC2との未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A63 ※2	3	IP変換器内のIPLC3との未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。

※2 VG-C101DAのみ表示されます。

プログラムボードにおける異常表示内容	管理事務室親機における異常表示内容 別途接続し、制御装置のプログラム番号「08」通信情報出力「有り」に設定した場合	主な対応処置箇所
A64 ※2	IPヘンカンキ4	IP変換器内のIPLC4との未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A65 ※2	5	IP変換器内のIPLC5との未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A66 ※2	6	IP変換器内のIPLC6との未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A67 ※2	7	IP変換器内のIPLC7との未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A68 ※2	8	IP変換器内のIPLC8との未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
XX-XXXX └ 住戸番号 └ 棟番号有りの場合	XX-XXXX └ 住戸番号 └ 棟番号有りの場合	住戸番号の自動登録後、異常表示が出た場合 自動登録により制御装置側では、すでに住戸番号が登録されています。 その後 { ・住戸側のブレーカー切り等、住戸親機側にAC100が供給されていない。 ・制御部と住戸親機間の配線（デジタル通信線路S1、S2）が接続不具合等。 } 対応処置を行う。
L-1	LC1	LC1に該当する回路の不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
L-2	LC2	LC2に該当する回路の不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
L-3	LC3	LC3に該当する回路の不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
L-4	LC4	LC4に該当する回路の不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
L-5	LC5	LC5に該当する回路の不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
L-6	LC6	LC6に該当する回路の不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
L-7	LC7	LC7に該当する回路の不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
L-8	LC8	LC8に該当する回路の不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
oE-0 ※2	_____	大規模展開時、集中制御装置との通信障害時に、中央制御装置に表示されます。
oE-1 ※2	_____	OLCユニットの不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
oE-2 ※2	_____	OLCユニットの未装着または不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
EL-9	シュウチュウ	大規模展開時、他の中央制御装置と同じ棟番号に設定されている場合または、中央制御装置内で全棟と棟番号が、混在して設定されている場合に表示されます。

※2 VG-C101DAのみ表示されます。

8. 中央制御装置のメモリーバックアップ用電池の交換方法

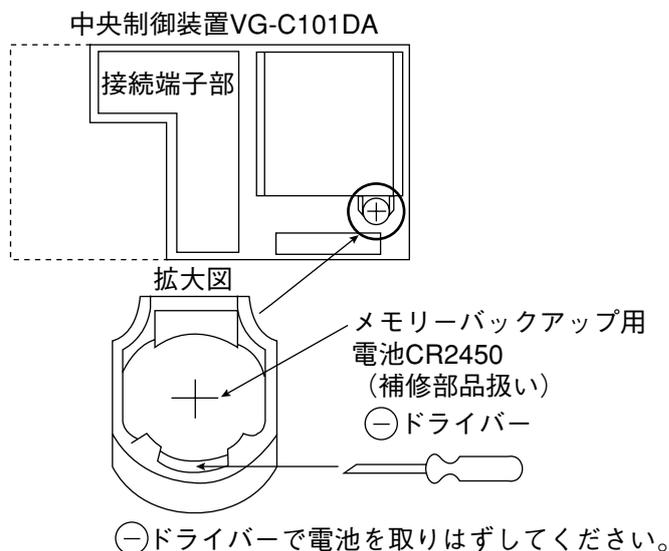
■メモリーバックアップ用電池の寿命については、下記の通りです。

- ・AC100V電源連続OFF時 約6ヵ月間
(電池の寿命がくると、プログラム設定内容が変わりますので電池交換後、再設定をしてください)
- ・AC100V電源連続ON時 約7年間

■電池電圧低下時、下記異常表示が出ます。

- ・中央制御装置の警報音（ピー）が鳴動。（ただし警報音スイッチが鳴動側時）
- ・プログラムボード（運用側）に“E-5”が表示。

電池交換作業	<p>中央制御装置のAC電源を切らないで、指定の電池に交換する。</p> <p>（AC電源スイッチをOFF状態で交換した場合は、プログラム設定内容が消えます。ご注意ください。）</p> <p>ただし、警報音の鳴動、“E-5”は復旧しません。交換は3日以内にしてください。</p>
--------	---



<p>プログラムボードのリセットボタンを押す。（左右両方を同時に）</p> <p>復旧完了</p> <p>警報音、“E-5”消える。</p>
--

9. 絶縁抵抗試験（500Vメガテスト）/耐電圧試験（AC1kV）について

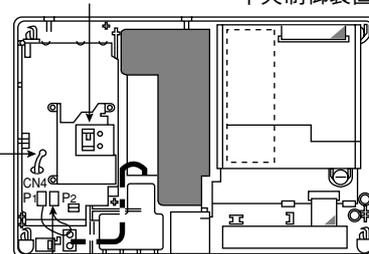
絶縁抵抗試験および耐電圧試験に対する準備

- 1.中央制御装置の電源スイッチをOFFにする。（ブレーカを切る）
- 2.電源ユニットに取付いているCN4コネクタを抜き取る。
- 3.電源ユニットのP1、P2端子（AC100V）より端子付コードを抜き取る。

必ずお守りください

電力会社で絶縁抵抗試験（500Vメガテスト）及び耐電圧試験（AC1kV）を行う時は、中央制御装置の電源ユニットに接続されている落雷対策用のZNRのもれ電流により不良と見誤ることがあるので、電源ユニットに取付いているCN4コネクタをSG（シグナルグランド）から浮かすために抜きます。また、AC電源コネクタP1、P2も抜いて試験をしてください。

（電源スイッチはOFF状態）中央制御装置



<p>・絶縁抵抗試験（500Vメガテスト）方法</p> <p>下記の端子間に絶縁抵抗計を接続して、DC500Vを印加する。</p> <p>①電源ユニットのAC入力端子（P1、P2端子）と共用部⊕および⊖端子間で20MΩ以上。</p> <p>②電源ユニットのAC入力端子（P1、P2端子）と共用部FG端子間で20MΩ以上。</p>
--

<p>・耐電圧試験（AC1kV）方法</p> <p>下記の端子間に絶縁耐力試験機を接続して、AC1.2kVを1秒間印加する。</p> <p>①電源ユニットのAC入力端子（P1、P2端子）と共用部⊕および⊖端子。</p> <p>②電源ユニットのAC入力端子（P1、P2端子）と共用部FG端子。</p>

CN4コネクタ
電源ユニットのCN4コネクタを抜き取る

P1, P2コネクタ
AC電源コネクタP1、P2を抜き取る
試験後は、必ずもとに戻してください。

10. 共同玄関子機について

共同玄関子機取付後のご注意

共同玄関子機は防雨構造になっていますが、タイル水洗いの際、水がかからないよう共同玄関子機をはずしてください。または共同玄関子機に防水のシート等をかぶせてください。

11. 管理事務室親機のメモリーバックアップについて

■メモリーバックアップ用電池の寿命については、下記の通りです。

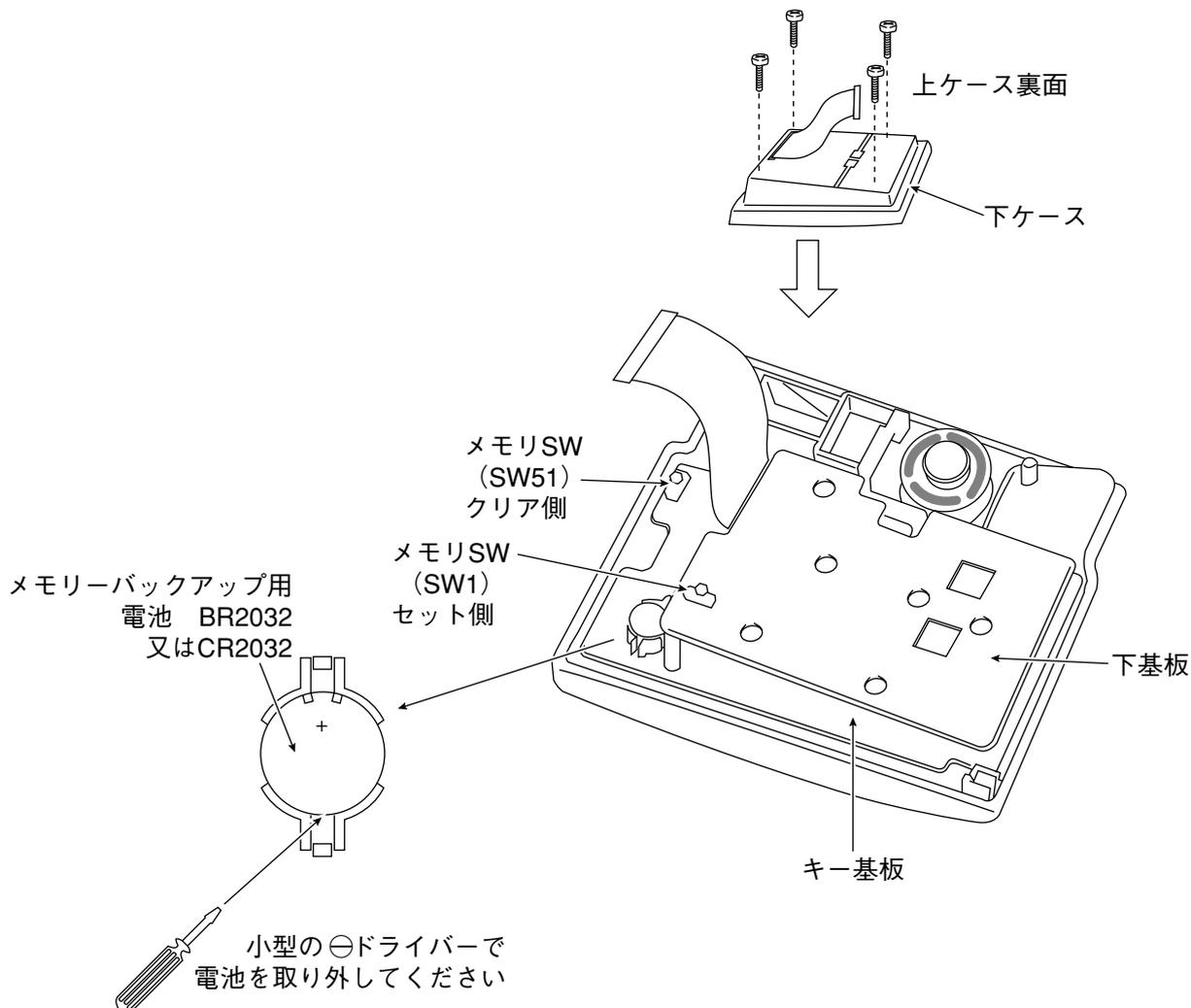
- | |
|---|
| • AC100V電源連続OFF時 約6ヵ月間
(電池の寿命がくると、プログラム設定内容が変わりますので電池交換後、再設定をしてください) |
| • AC100V電源連続ON時 約7年間 |

■電池交換方法

- 1) 中央制御装置の電源 (AC100V) を切り、上ケースを端子ケースからはずし、ハンドセットを取ります。
- 2) 上ケース裏面のネジ4本をはずし、下ケースを取ります。
- 3) キー基板の電池を下図の様にはずし交換します。
※メモリースイッチは下記のまま操作します。

メモリSW1	セット側
メモリSW51	クリア側

※電池が消耗してからのメモリー内容保持は、中央制御装置の電源 (AC100V) を切ってから約2分です。プログラム内容が消えてしまう可能性があるため、設定記入項目の確認をしてください。



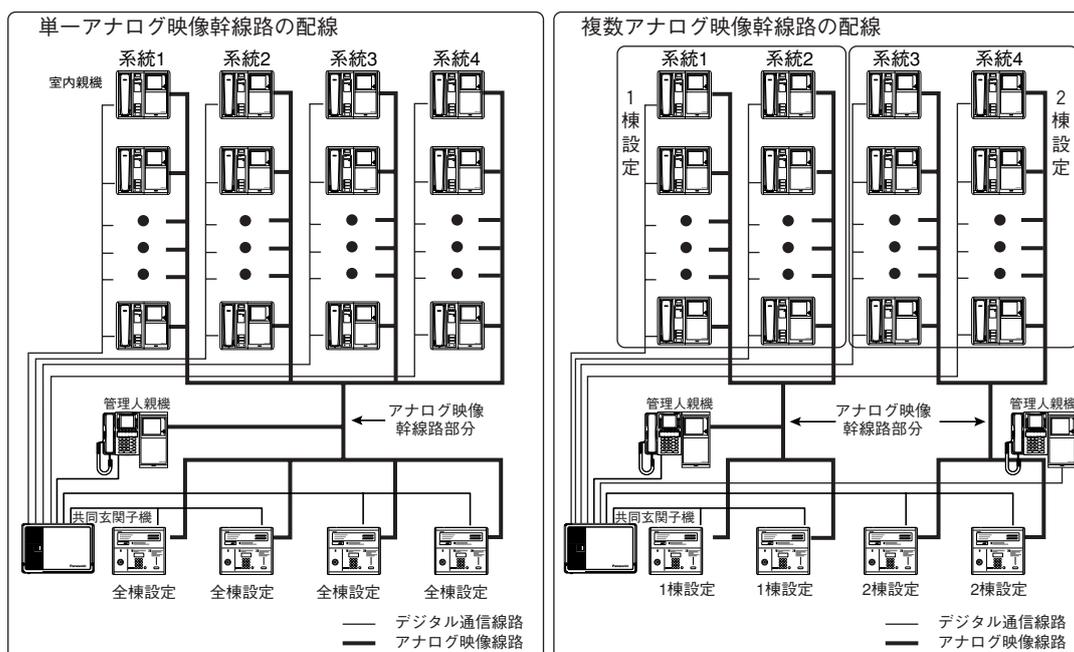
13. アナログ映像線路の配線（専用に1Pが必要）

・ 1P+1P配線

1. 概要

- ・ テレビカメラ付共同玄関子機（VL-545C「」、546C「」）を用い、アナログ映像線路を配線することで、住戸内の白黒モニターテレビに訪問者の映像を映すことができます。
- ・ カラーカメラ付共同玄関子機（VG-K547CD「」、VG-K548CD「」）を用いる場合は、映像をデジタル通信線路で伝送しますので、映像用に別配線をする必要はありません。（ただし、室内親機はカラーモニター室内親機を使用してください。また、映像はカラーコマ送りとなります。）
- ・ テレビカメラ付共同玄関子機を用いる場合は、システム全体がアナログ映像システムとして動作します。従って中央制御装置にテレビカメラ付共同玄関子機を1台でも接続する場合は、カラーカメラ付共同玄関を接続することはできません。
- ・ 集中制御装置を接続したシステムにはアナログ映像を使用することはできません。映像付きの共同玄関子機として使用する場合は、カラーカメラ付共同玄関のみ中央制御装置あるいは集中制御装置に接続可能です。
- ・ 本工事説明では、テレビカメラ付共同玄関子機からアナログ映像幹線路までの配線方法と、アナログ映像幹線路から住戸親機までの配線方法とを記載しております。
- ・ テレビカメラ付共同玄関子機からアナログ映像幹線路までの配線方法は、その幹線を用いるテレビカメラ付共同玄関子機が1台か複数台かで配線方法が異なります。（幹線に対して1台のみしかテレビカメラ付共同玄関子機を用いない場合は、カメラ切替器VL-994は使いません）
- ・ アナログ映像幹線路から住戸親機までの配線方法は、その幹線を用いる系統が1系統か複数系統かで配線方法が異なります。（幹線に対して1系統しかない場合は、系統間分配としての映像分配器VL-948は使いません）幹線は必ず1本である必要はなく、棟別に複数の幹線を配線することもできます。

アナログ映像幹線路の概念を下図に示します。



複数幹線配線の特徴は以下の通りです。

	単一幹線配線	複数幹線配線（複数棟）
テレビカメラ付共同玄関子機と室内親機との通話	全ての共同玄関子機は全ての室内親機と通話可能	同一幹線（同一棟）の共同玄関子機と室内親機の間のみ通話可能
テレビカメラ付共同玄関子機と管理事務室親機との通話	1台の管理事務室親機で全てのテレビカメラ付共同玄関子機と通話可能	同一幹線（同一棟）のテレビカメラ付共同玄関子機とのみ通話可能
テレビカメラ付共同玄関子機と住戸親機との通話接続本数の制限	全棟で同時に最大1通話のみ可能	1幹線（同一棟）ごとに同時に最大1通話可能
設定上の注意	プログラム設定21～28は、【00】（全棟設定）をする事	プログラム設定21～28は、【00】（全棟設定）をせず、幹線に応じた棟番号とする事

お知らせ ・通話路映像信号重畳方式は不可です。

2. 系統図

記号	機 器 間	線 材	配線距離
1	中央制御装置 ↔ テレビカメラ付共同玄関子機	電源線路	0.9φ以外は圧着ジョイント必要 最遠端距離計算式による
		デジタル通信線路	FCPEV 0.9φ パターン判別配線条件による
2	テレビカメラ付共同玄関子機 ↔ 映像分配器最遠端（系統間分配器）	FCPEV 0.9φ 3Por2P	200m
3	映像分配器（系統間分配器） ↔ 映像分配器最遠端（系統内分配器）	FCPEV 0.9φ 2P	200m
4	映像分配器（系統内分配器） ↔ モニターテレビユニット最遠端	FCPEV 0.9φ 2P	225m

どちらか短い方で制約されます。

※電源線路以外は必ず0.9φシールド付ツイストペアケーブルを使用してください。

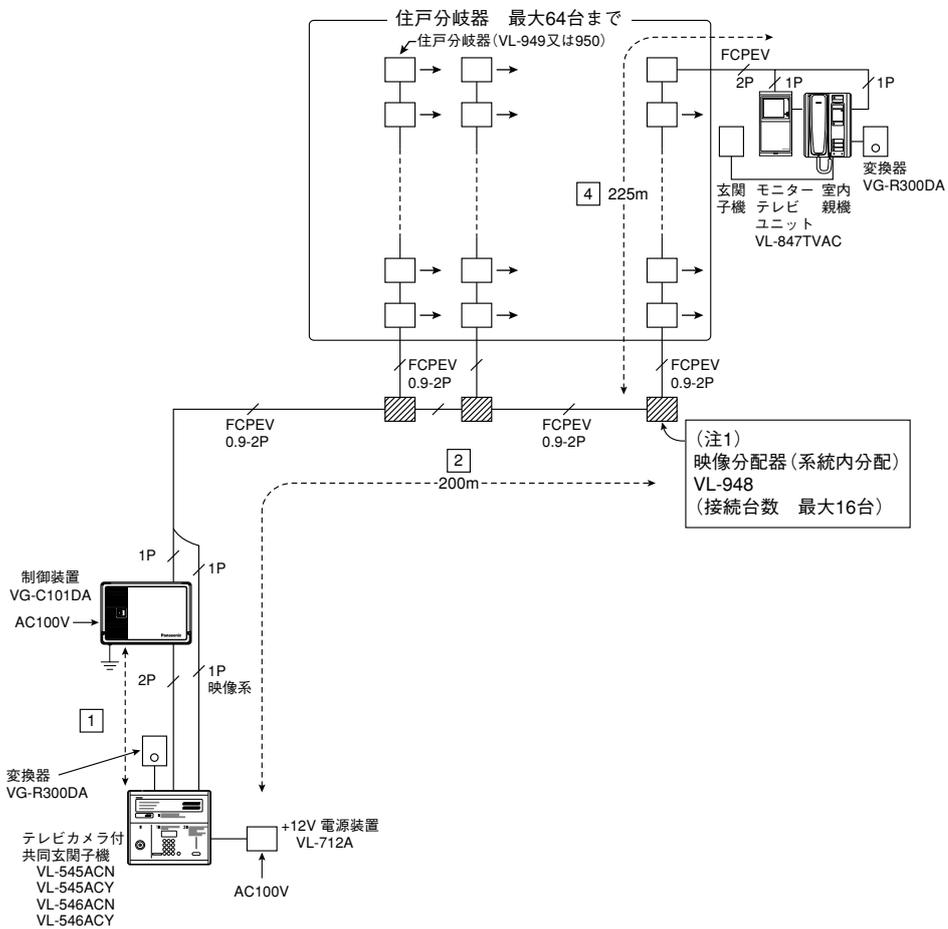
(1) 配線例1

(系統数1、テレビカメラ付共同玄関子機1台の場合)

記号	機器間	線材	配線距離
1	中央制御装置 ↔ テレビカメラ付共同玄関子機	電源線路	0.9φ以外は圧着ジョイント必要 最遠端距離計算式による
		デジタル通信線路	FCPEV 0.9φ パターン判別配線条件による
2	テレビカメラ付共同玄関子機 ↔ 映像分配器最近端(系統内分配器)	FCPEV 0.9φ 3P or 2P	200m
4	映像分配器(系統内分配器) ↔ モニターテレビユニット最遠端VL-847TVAC	FCPEV 0.9φ 2P	225m

どちらか短い方で制約されます。

※電源線路以外は必ず0.9φシールド付ツイストペアケーブルを使用してください。



(3) 配線例3

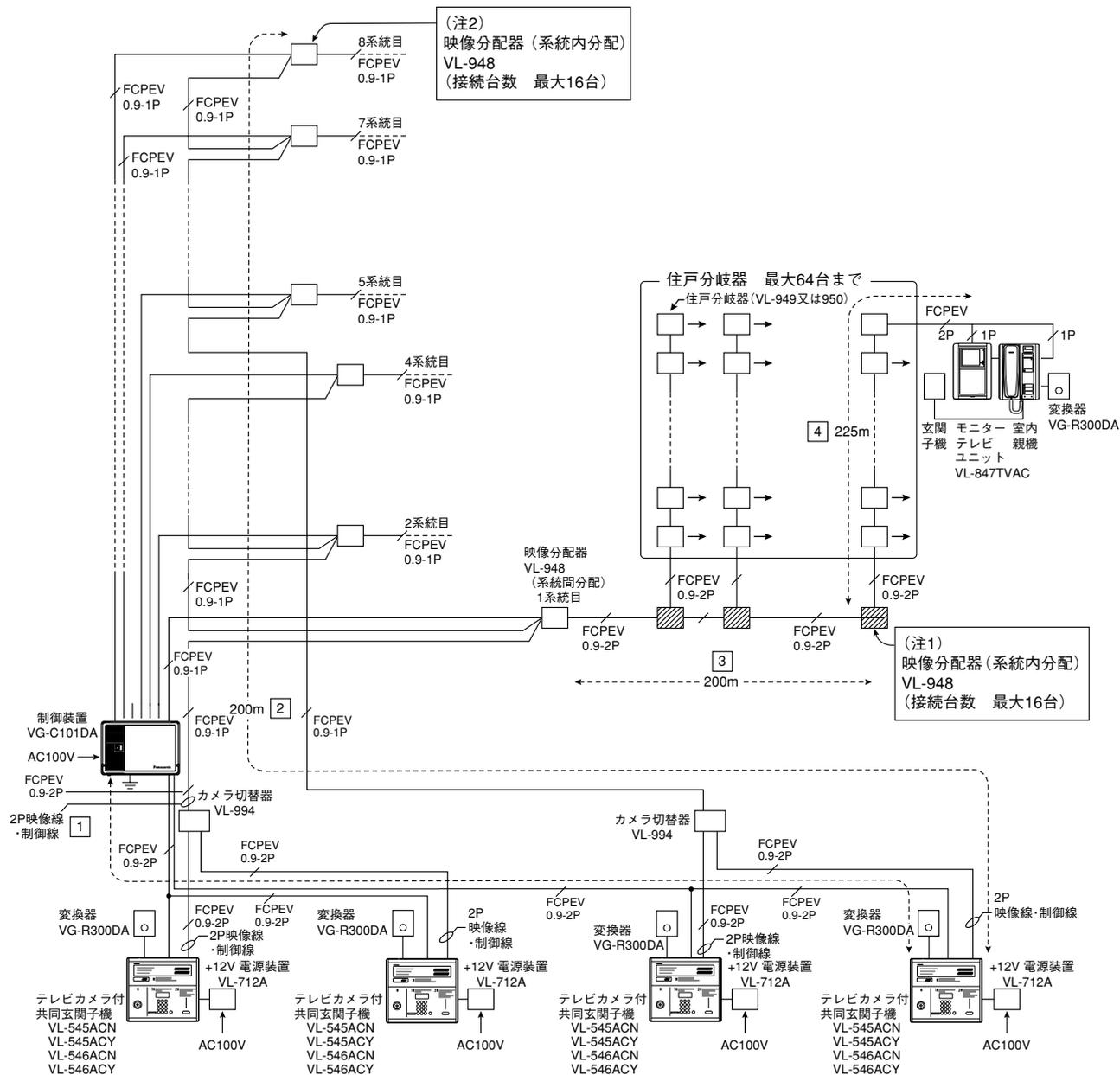
(系統数複数、テレビカメラ付共同玄関子機複数台、アナログ映像幹線路は2の場合)

記号	機 器 間	線 材	配線距離
1	中央制御装置 ↔ テレビカメラ付共同玄関子機	電源線路	0.9φ以外は圧着ジョイント必要
		デジタル通信線路	FCPEV 0.9φ
2	テレビカメラ付共同玄関子機 ↔ 映像分配器最遠端 (系統間分配器)	FCPEV 0.9φ 3Por2Por1P	200m
3	映像分配器 (系統間分配器) ↔ 映像分配器最遠端 (系統内分配器)	FCPEV 0.9φ 2P	200m
4	映像分配器 (系統内分配器) ↔ モニターテレビユニット最遠端	FCPEV 0.9φ 2P	225m

どちらか短い方で制約されます。

※電源線路以外は必ず0.9φシールド付ツイストペアケーブルを使用してください。

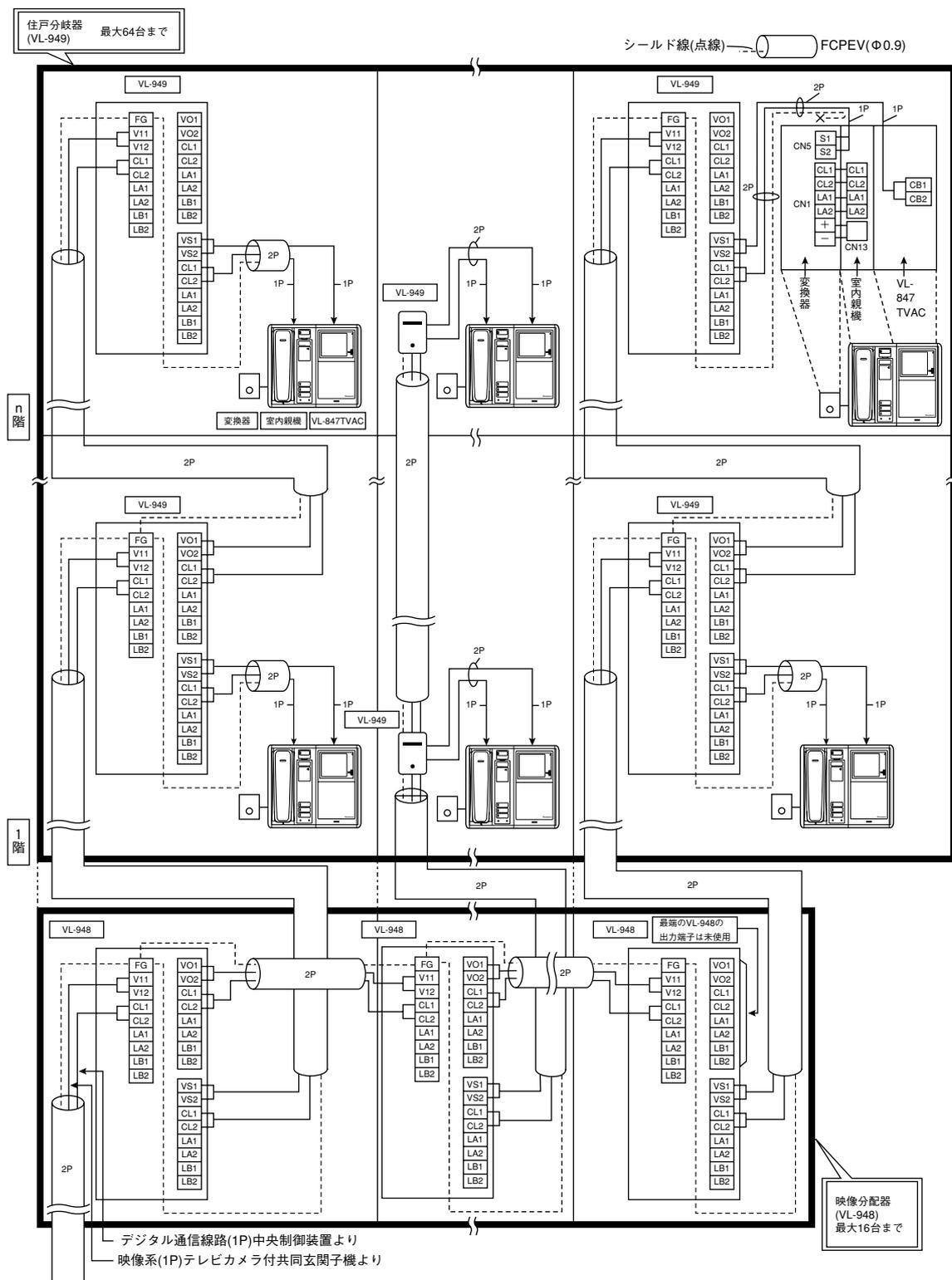
- ・プログラム番号 **21** ~ **28** は必ず **【00】** にせず、配線に応じた設定をしてください。
- ・この配線をした場合玄関からの映像は棟ごとに最大1つです。



3. 配線図

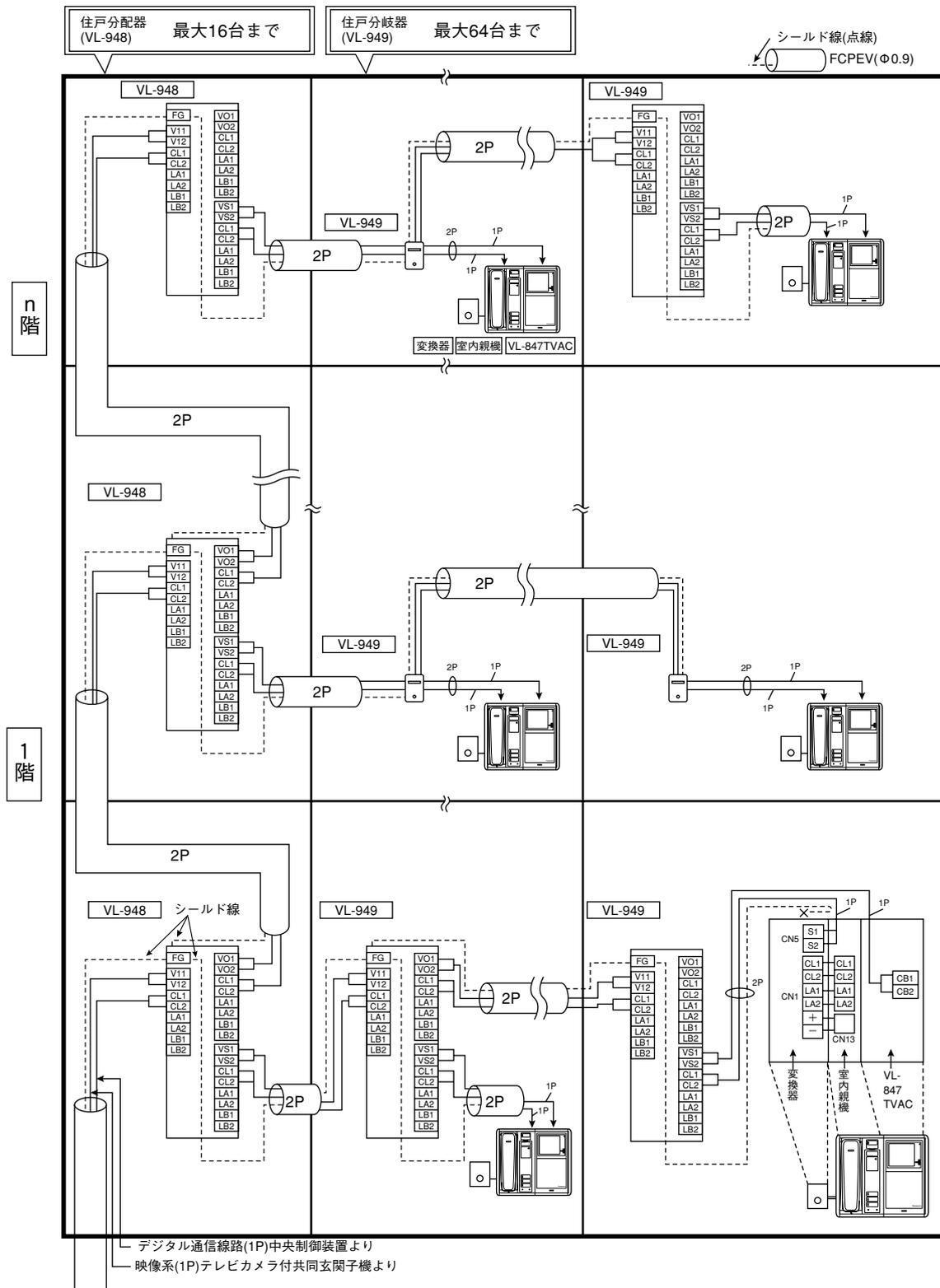
(1) 1系統 (64住戸) 縦系統の配線図 (全体図)

※2系統以上の場合、122頁を参考にしてください。



(2) 1系統 (64住戸) 横系統の配線図 (全体図)

※2系統以上の場合、122頁を参考にしてください。

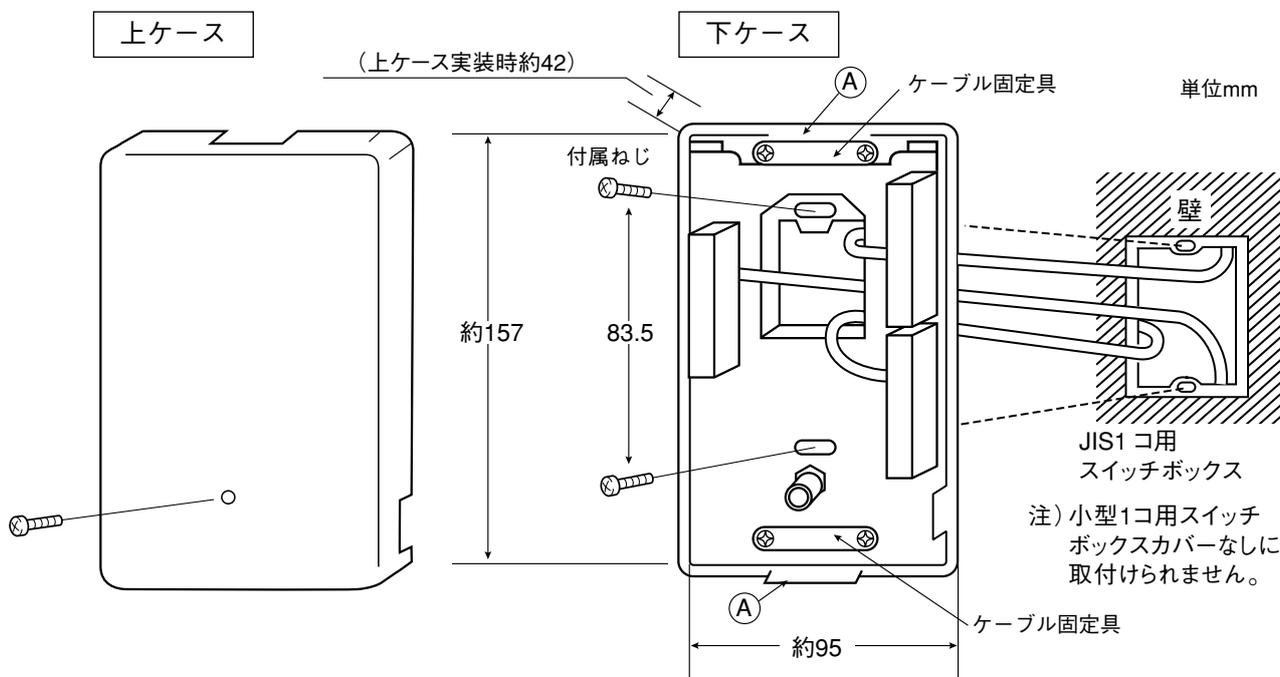


5. 取付方法

映像分配器VL-948および住戸分岐器（パイプシャフト設置タイプ）VL-949の場合

(1) JIS1コ用スイッチボックスに取付の場合

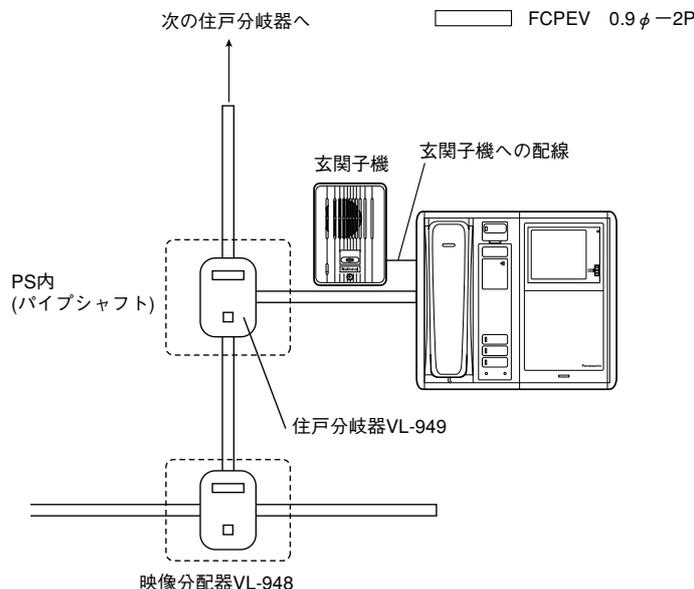
- ① 付属ねじで1コ用スイッチボックスに取付ける（図参照）。
- ② ケーブルを入線、接続する。



(2) 壁（柱）に直接取付の場合

- ① 上図A部のノックアウト（ケーブル通し）をニッパー等で切取る。
- ② ケーブル固定具のねじをゆるめてケーブルを通し、金具のねじを締める。

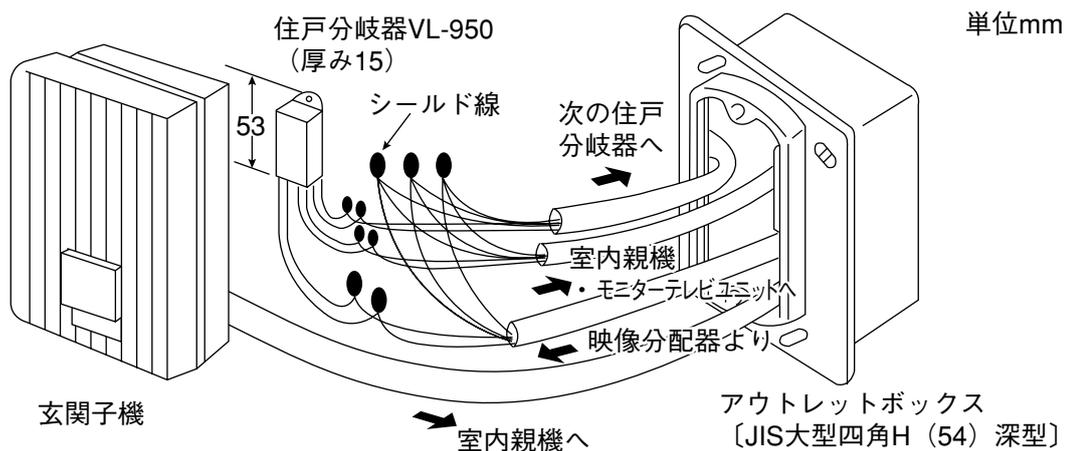
(3) 住戸分岐器（VL-948, VL-949）の設置場所



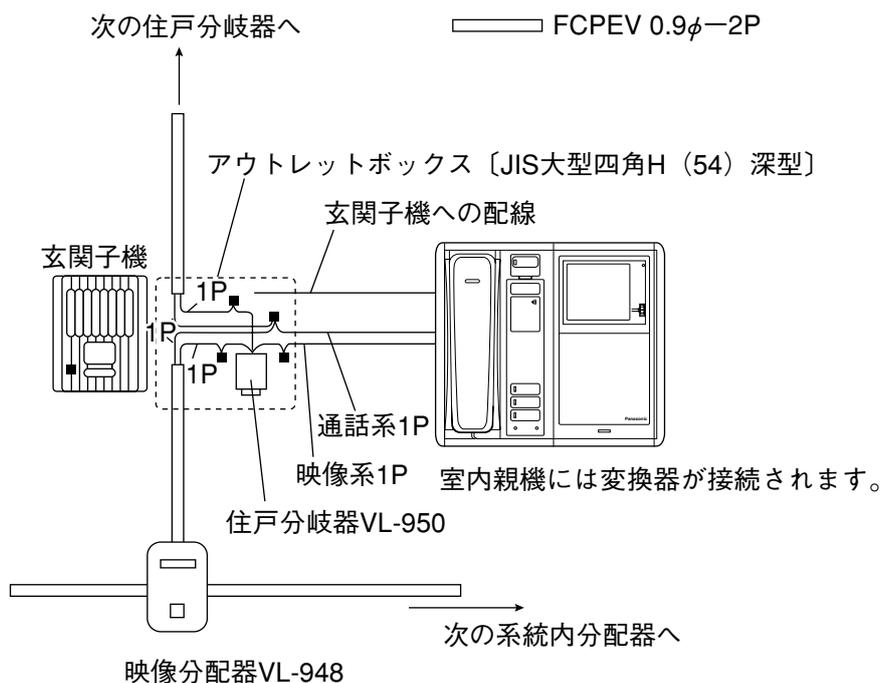
住戸分岐器（ボックス収納タイプ）VL-950の場合

(1) 住戸分岐器とペアケーブルの接続および、収納方法

- ①住戸分岐器とペアケーブルは、圧着材料で確実に接続する。
 - ・「配線の圧着接続子について」28頁および下図参照
- ②玄関子機を接続する。
- ③住戸分岐器、各ペアケーブルをアウトレットボックス内に収納する。
- ④玄関子機を取付ける。



(2) 住戸分岐器（VL-950）の設置場所



住戸玄関に玄関子機（カメラなし）を設置する場合（共同玄関子機はカメラ付）

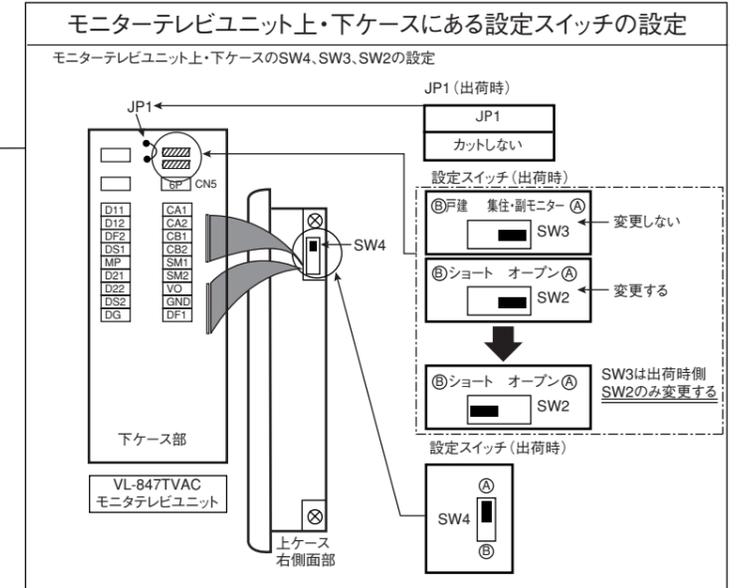
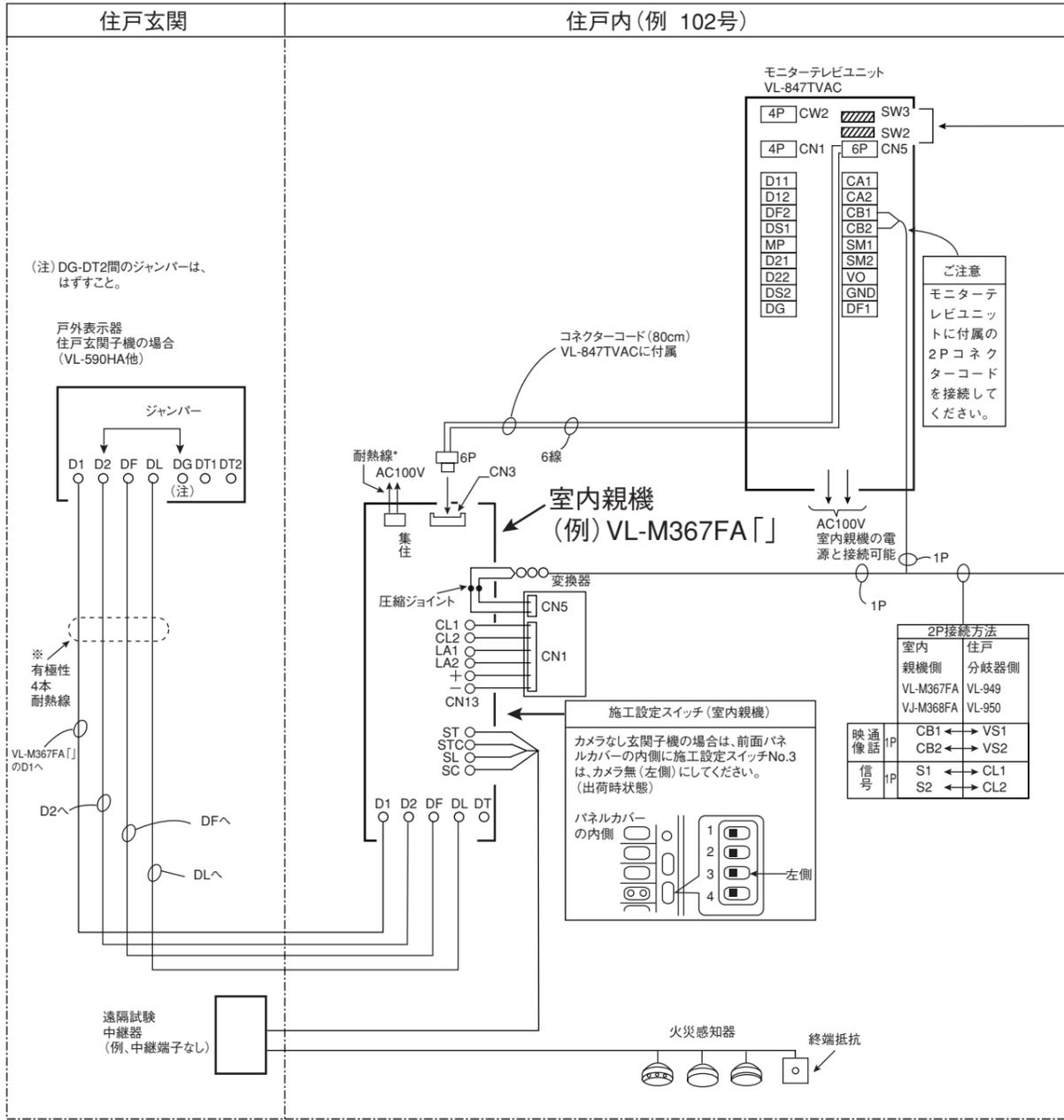
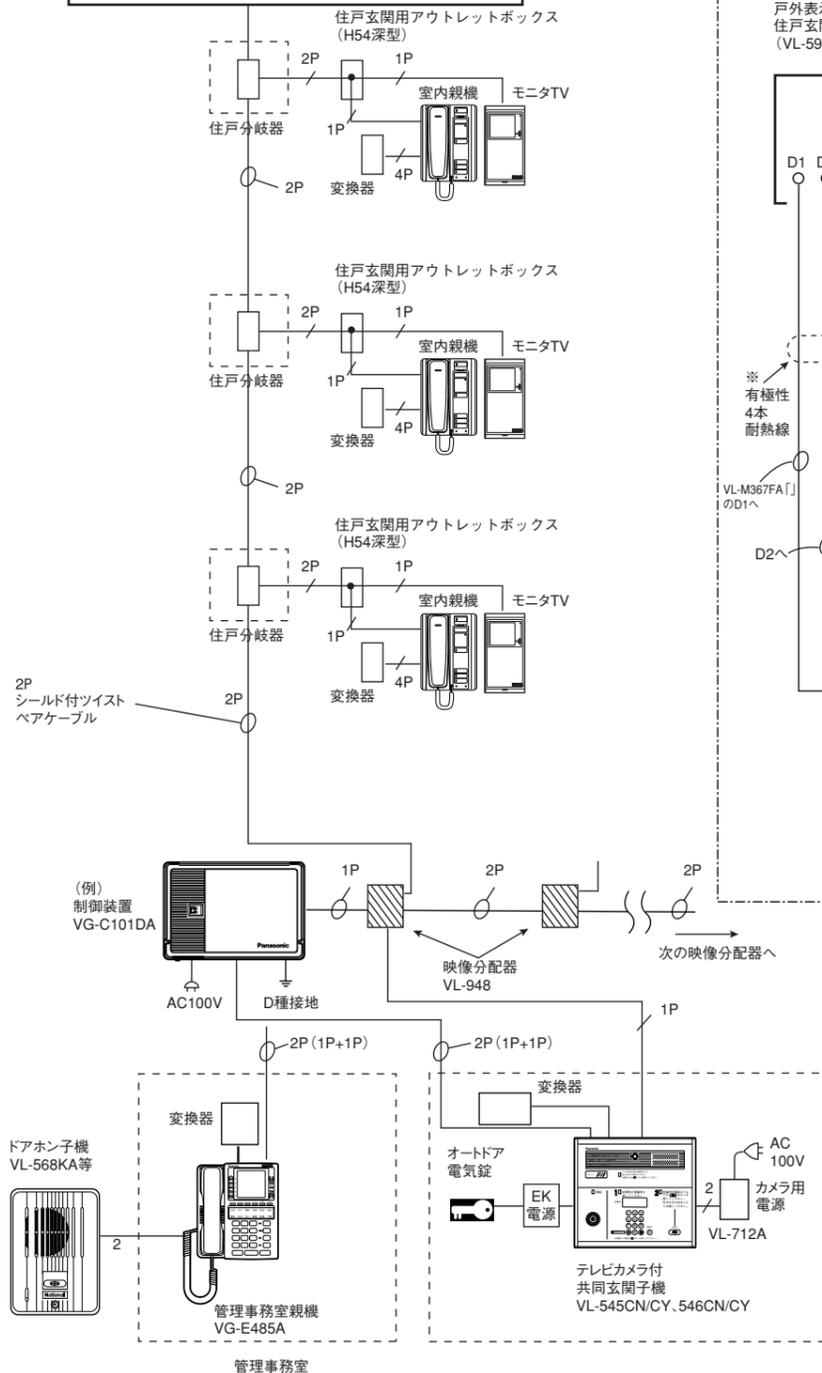
●特例基準220号通知 住戸用自火報と共同住宅用自火報に対応

お願い

※特例基準220号通知・住戸用自火報と共同住宅用自火報に対応し、指定の箇所に指定の耐熱線、耐火線による施工が必要で詳細は、室内親機に同梱の取付工事説明書を参照願います。

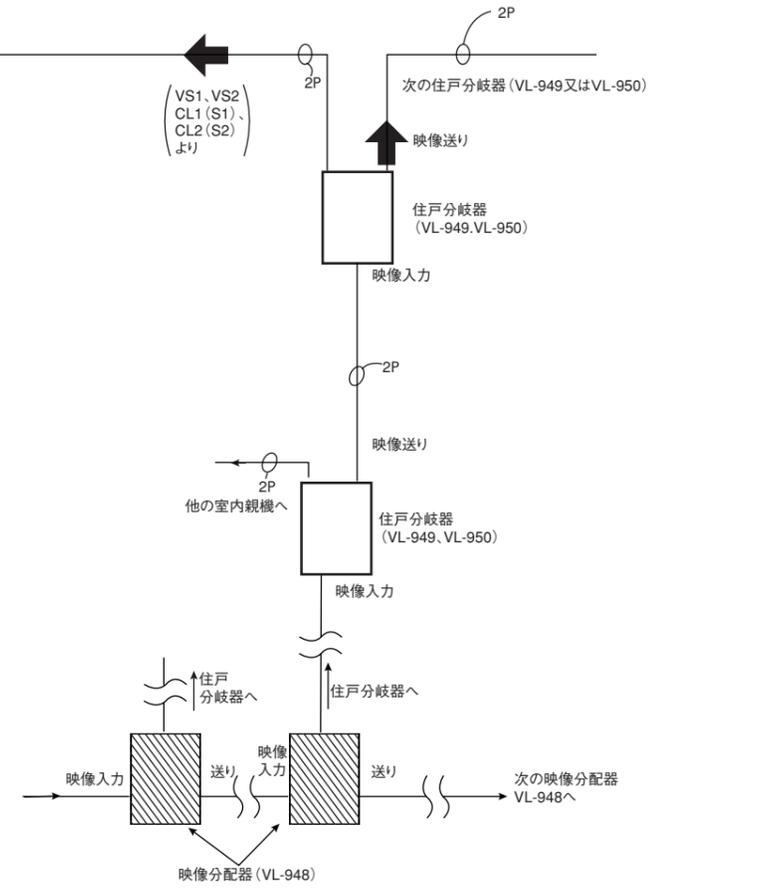
1 システム系統図

住戸分岐器は、PS（パイプスペースタイプ）VL-949を例とした場合。



2P接続方法

	室内親機側	住戸分岐器側
映通話 1P	CB1 ↔ VS1	VL-M367FA VL-949
	CB2 ↔ VS2	VJ-M368FA VL-950
信号 1P	S1 ↔ CL1	
	S2 ↔ CL2	



住戸玄関にカメラ付玄関子機 (VL-543HA)、モニターテレビユニット (VL-847TVACの場合) を設置する場合 (共同玄関子機はカメラ付)

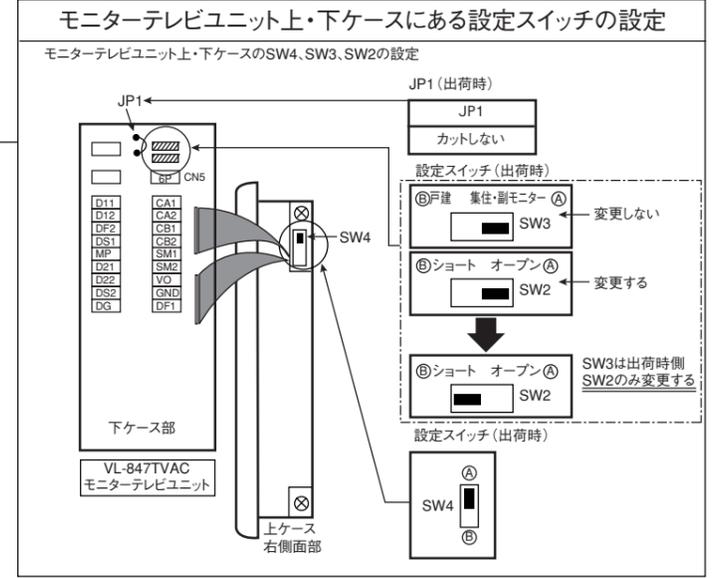
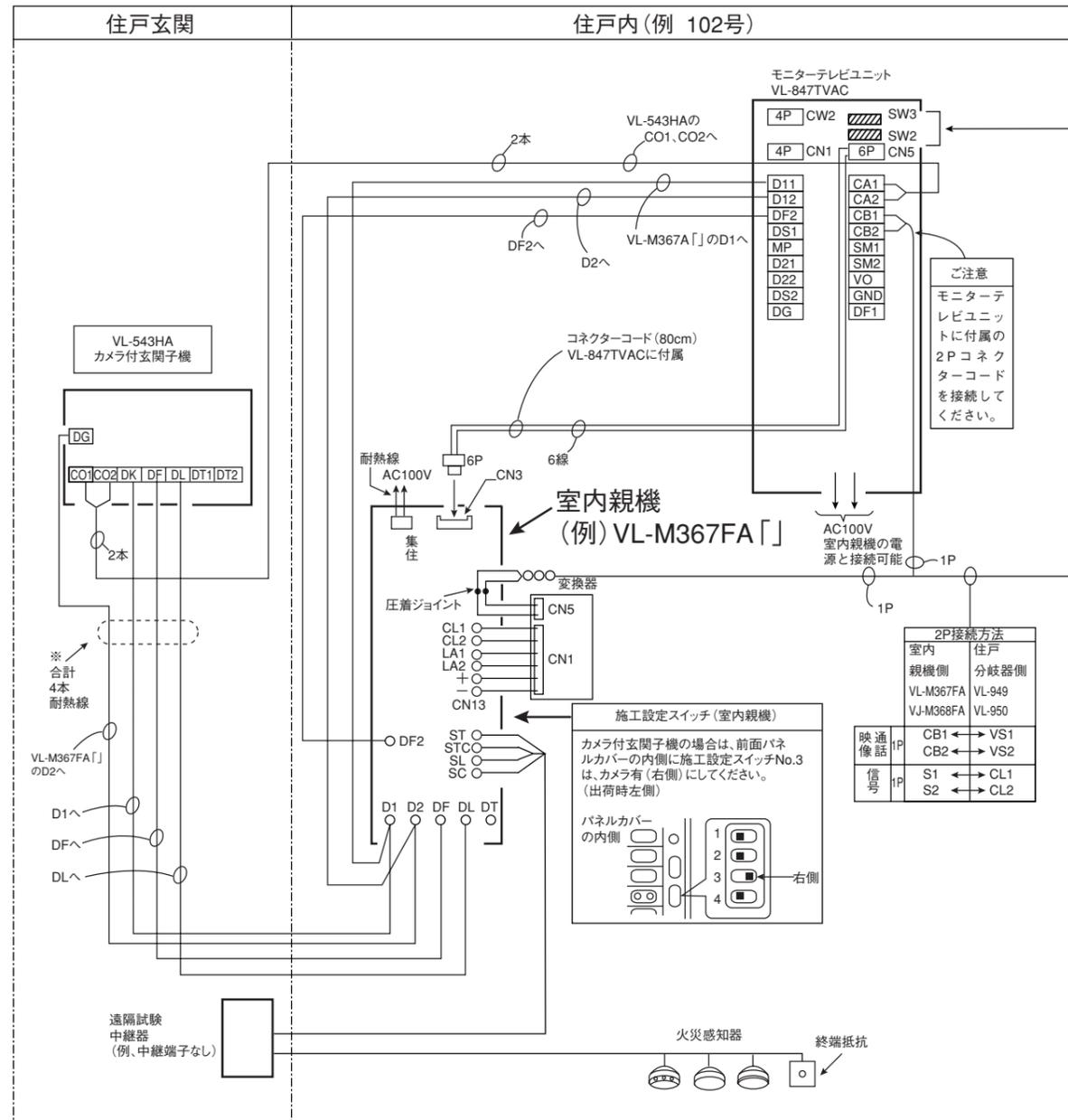
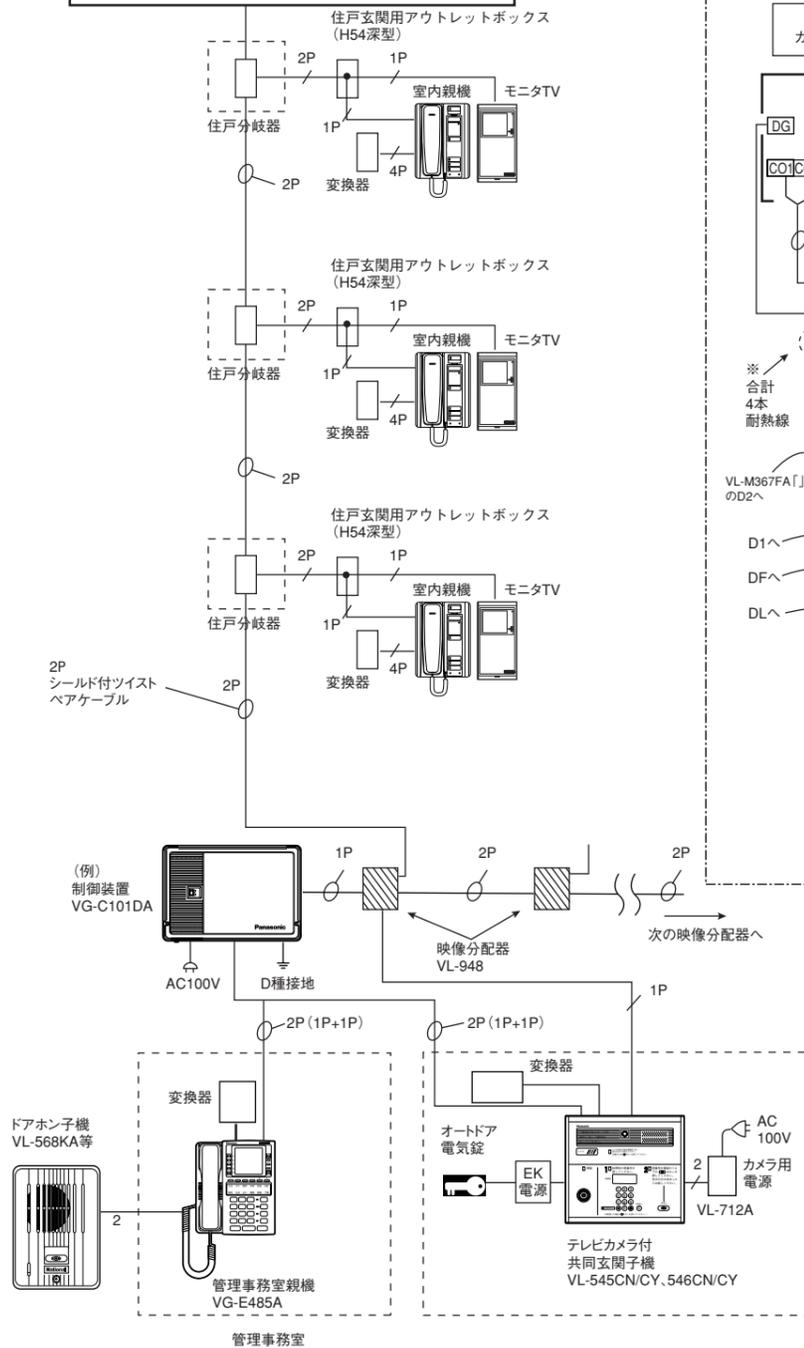
●特例基準220号通知 住戸用自火報と共同住宅用自火報に対応

お願い

※特例基準220号通知・住戸用自火報と共同住宅用自火報に対応し、指定の箇所に指定の耐熱線、耐火線による施工が必要で詳細は、室内親機に同梱の取付工事説明書を参照願います。

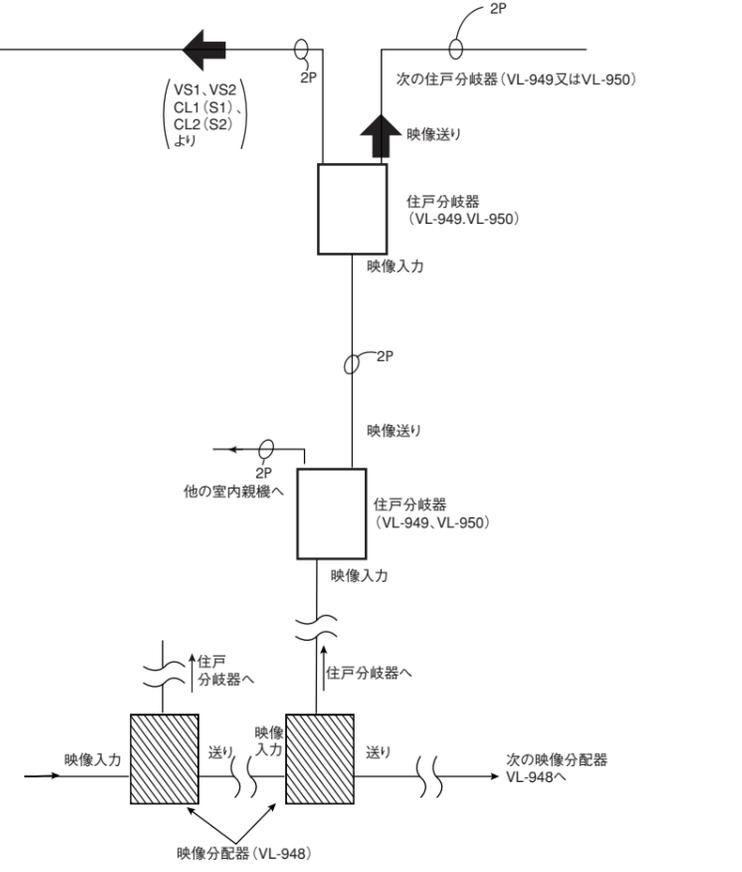
1 システム系統図

住戸分岐器は、PS (パイプスペースタイプ) VL-949を例とした場合。



2P接続方法

	室内親機側	住戸分岐器側
映通	CB1	VS1
像話	CB2	VS2
信号	S1	CL1
	S2	CL2



松下電器産業株式会社

AV&セキュリティビジネスユニット

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号 電話 フリーダイヤル 0120-878-410